

平成21年度 神奈川区区民意識調査

調査結果報告書

平成22年1月

横浜市神奈川区

平成21年度 神奈川区区民意識調査

目 次

調査概要	2
I . 回答者の属性.....	3
II . 集計分析結果.....	9
1. 中学生高校生について感じていること.....	9
2. 防災について.....	46
3. 住宅用火災警報器の設置義務について.....	53
4. 広報よこはま神奈川区版について	60
5. がん検診について.....	70
6. 環境行動について.....	84
7. 魅力あるスポットの情報発信について.....	88
調査票	90

調査概要

◆調査対象

調査対象数 3,000人(神奈川区に居住する20歳以上の人・無作為抽出による)

回収数 1,201件

回収率 40.0%

◆調査方法

郵送によるアンケート形式

◆調査期間

平成21年11月

◆調査実施機関

株式会社 地域環境計画

【注1】 図(グラフ)の中で使用されているアルファベットの意味は次の通りです。

MA :複数回答(マルチアンサー)の設問

n :その設問に対する回答者数

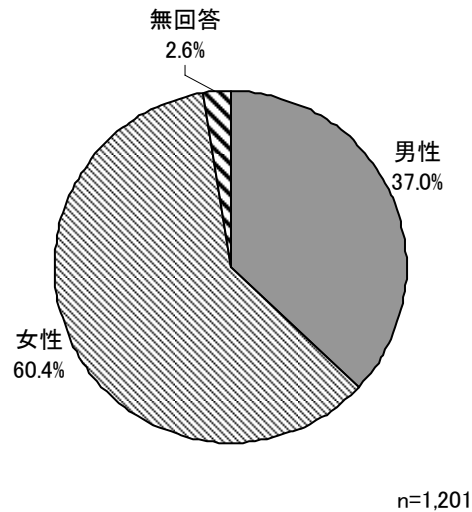
【注2】 割合(%)については、四捨五入の関係で、必ずしも合計が100.0%にならない場合があります。

I. 回答者の属性

F1 性別

- ・ 女性が 60.4%、男性が 37.0%と、女性が全体の約 6 割を占めている。

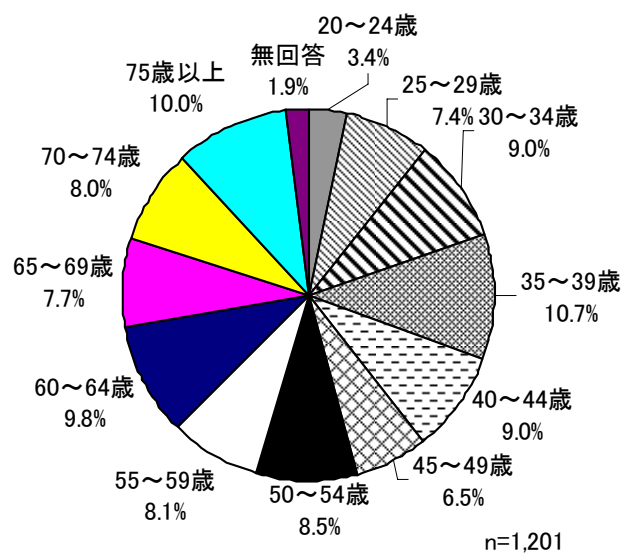
図 性別



F2 年齢

- ・ 最も多いのが 35～39 歳の 10.7%、次いで 75 歳以上が 10.0%、以下、60～64 歳 (9.8%)、40～44 歳 (9.0%)、30～34 歳 (9.0%)、50～54 歳 (8.5%) の順で、少ないのが 20～24 歳の 3.4%である。20 歳代がやや少ない以外はほぼ均等に分散している。

図 年齢



F3 居住地

- 最も多いのは「神奈川幸ヶ谷」の11.3%、最も少ないのは「神大寺」と「六角橋」で5.2%となっている。

図 居住地

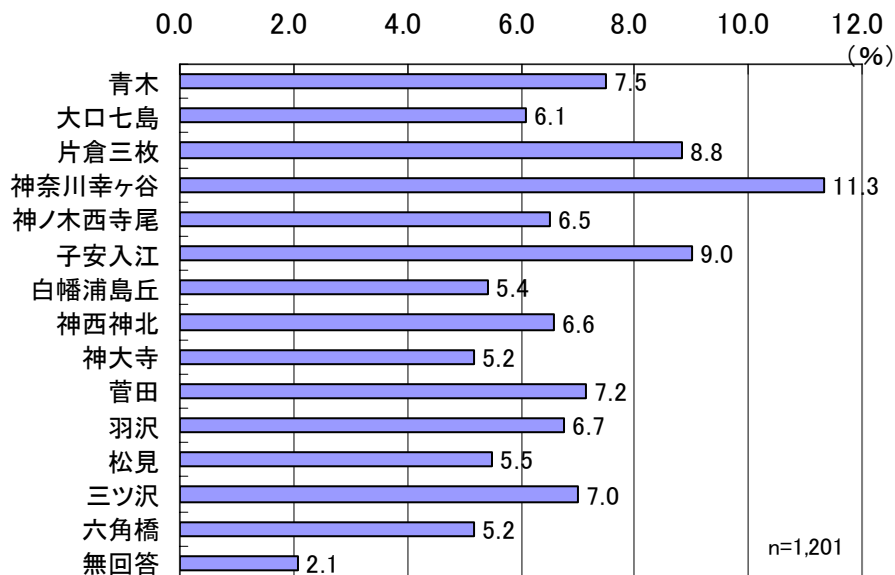


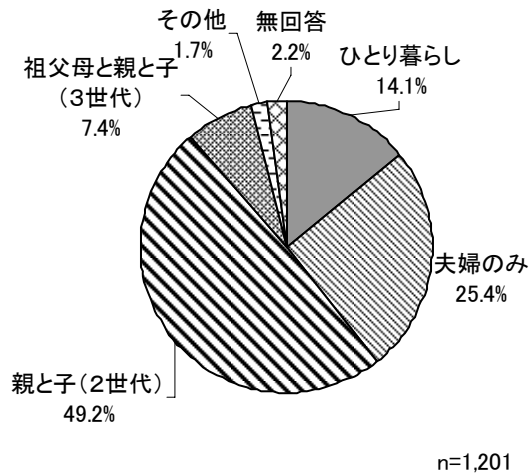
表 地区区分一覧

地区名	町名
青木	高島台, 広台太田町, 旭ヶ丘, 栗田谷, 松本町1~6丁目, 泉町, 反町1~4丁目, 沢渡, 松ヶ丘, 桐畑, 上反町1~2丁目, 鶴屋町1~3丁目, 台町,
大口七島	大口通, 大口仲町, 七島町, 西大口
片倉三枚	片倉1~5丁目, 三枚町
神奈川幸ヶ谷	神奈川1~2丁目, 神奈川本町, 東神奈川1~2丁目, 亀住町, 新町, 浦島町, 星野町, 橋本町1~3丁目, 千若町1~3丁目, 新浦島町1~4丁目, 出田町, 恵比須町, 宝町, 鈴繁町, 瑞穂町, 守屋町1~4丁目, 山内町, 幸ヶ谷, 金港町, 栄町, 大野町, 青木町
神ノ木西寺尾	神之木台, 神之木町, 西寺尾1~4丁目,
子安入江	子安通2~3丁目, 新子安1~2丁目, 子安台1~2丁目, 子安通1丁目, 入江1~2丁目
白幡浦島丘	白幡東町, 白幡南町, 白幡西町, 白幡仲町, 白幡向町, 白幡上町, 白幡町, 浦島丘
神西神北	二ツ谷町, 西神奈川1~3丁目, 富家町, 鳥越, 立町, 二本榎, 平川町, 斉藤分町, 中丸, 白楽
神大寺	神大寺1~4丁目
菅田	菅田町
羽沢	羽沢町, 羽沢南1~4丁目
松見	松見町1~4丁目
三ツ沢	三ツ沢上町, 三ツ沢下町, 三ツ沢中町, 三ツ沢東町, 三ツ沢南町, 三ツ沢西町
六角橋	六角橋1~6丁目

F4 家族構成

- 最も多いのは「親と子（2世代）」の49.2%で、全体の約半数を占める。次いで「夫婦のみ」が25.4%で全体の約4分の1、以下「ひとり暮らし」（14.1%）、「祖父母と親と子（3世代）」（7.4%）、「その他」が1.7%の順となっている。

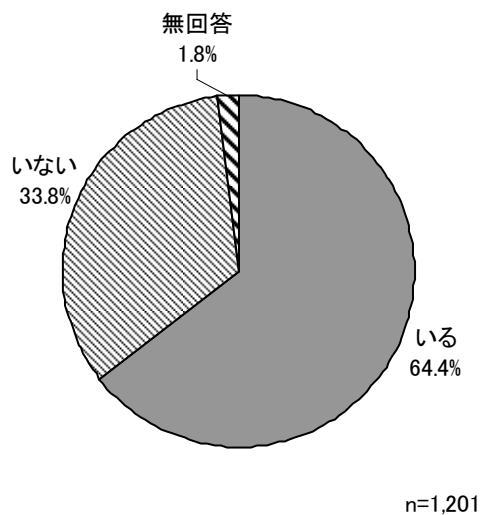
図 家族構成



F5 子どもの有無

- 「いる」が64.4%と、全体の約7割近くに達している。「いない」は33.8%と、3割程度である。

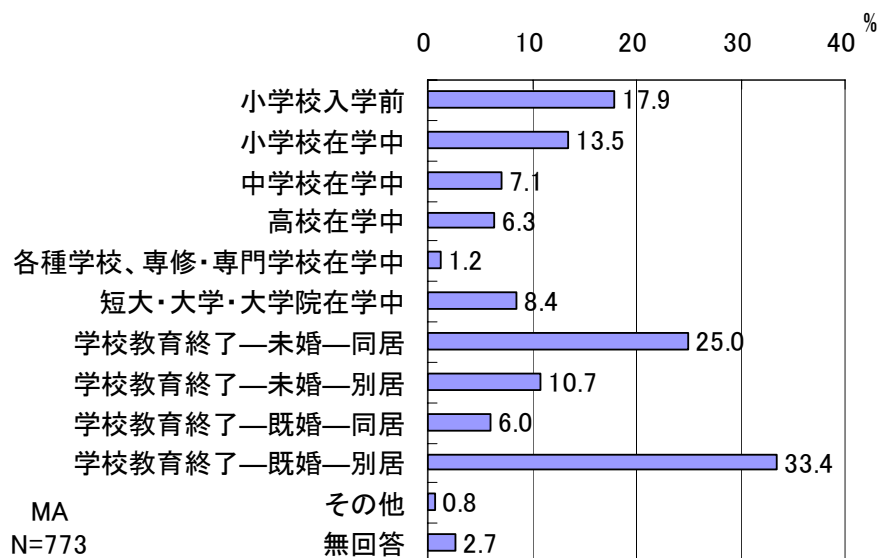
図 子どもの有無



F6 子どもの段階 (F5で「子どもがいる」と回答された方のみ)(〇はいくつでも)

- 最も多いのは「学校教育終了(既婚・別居)」の33.4%で、全体の約3分の1を占めている。次いで「学校教育終了(未婚・同居)」が25.0%、以下「小学校入学前」(17.9%)、「小学校在学中」(13.5%)、「学校教育終了(未婚・別居)」(10.7%)、「短大・大学・大学院在学中」(8.4%)、「中学校在学中」(7.1%)、「高校在学中」(6.3%)、「学校教育終了(既婚・同居)」(6.0%)、「各種学校、専修、専門学校在学中」(1.2%)、その他(0.8%)の順となっている。

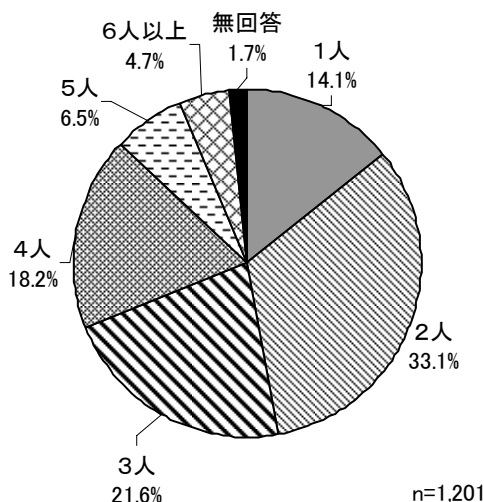
図 子どもの段階(複数回答)



F7 同居家族(本人を含む)の人数

- 最も多いのは「2人」の33.1%で、全体の約3割である。次いで「3人」が21.6%、以下「4人」(18.2%)、「1人」(14.1%)、「5人」(6.5%)、「6人以上」(4.7%)の順となっている。

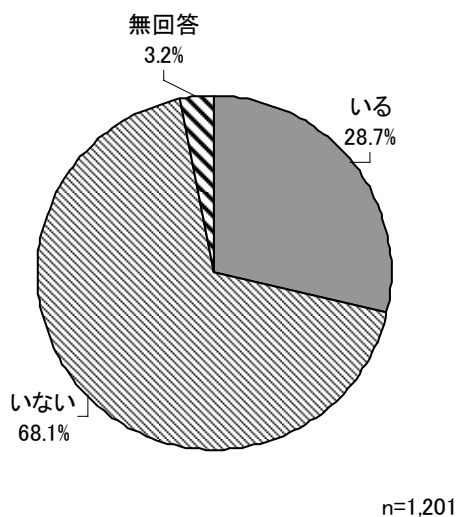
図 同居家族の人数



F8 未就学児の有無

- 「いない」が68.1%と、全体の約7割近くに達している。「いる」は28.7%と、3割弱となっている。

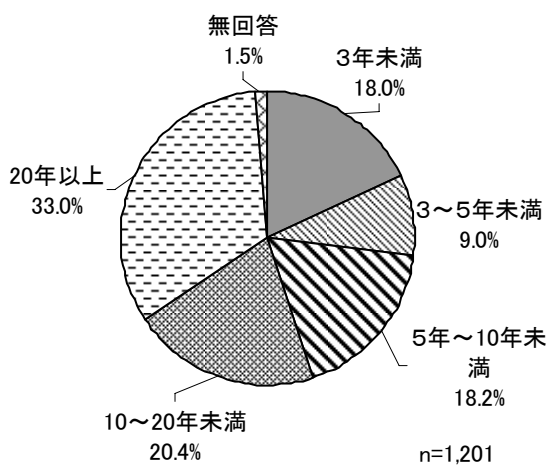
図 未就学児の有無



F9 居住年数

- 「20年以上」が最も多く33.0%と、全体の約3割に達する。次いで「10～20年未満」の20.4%、以下「5年～10年未満」(18.2%)、「3年未満」(18.0%)、「3～5年未満」(9.0%)の順となっている。

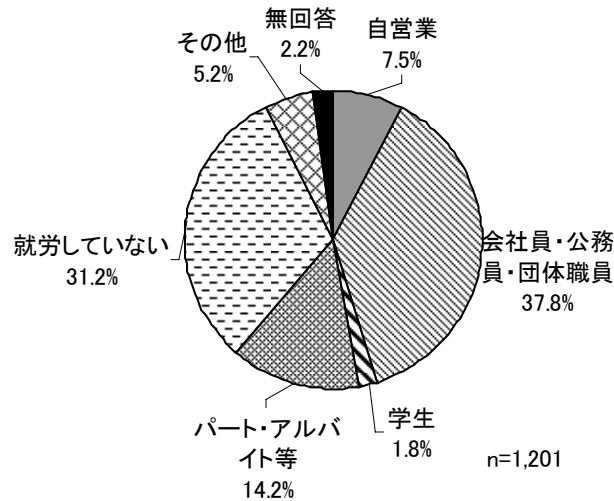
図 居住年数



F10 就労状況

- 最も多いのは「会社員・公務員・団体職員」で37.8%、次に「就労していない」が31.2%で続いている。以下「パート・アルバイト等」(14.2%)、「自営業」(7.5%)、「その他」(5.2%)、「学生」(1.8%)の順となっている。

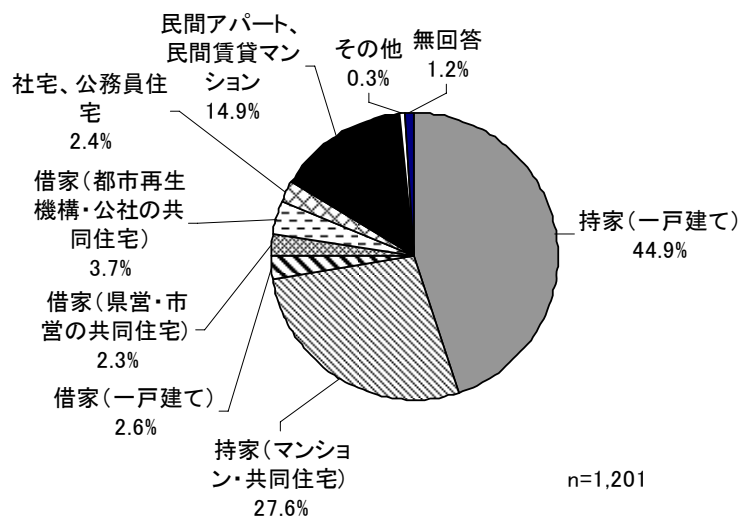
図 就労状況



F11 居住形態

- 最も多いのは「持家（一戸建て）」で44.9%、次に「持家（マンション・共同住宅）」が27.6%で続いている。以下「民間アパート・民間賃貸マンション」(14.9%)、「借家（都市再生機構・公社の共同住宅）」(3.7%)、「借家（一戸建て）」(2.6%)、「社宅・公務員住宅」(2.4%)、「借家（県営・市営の共同住宅）」(2.3%)、その他(0.3%)の順となっている。

図 居住形態



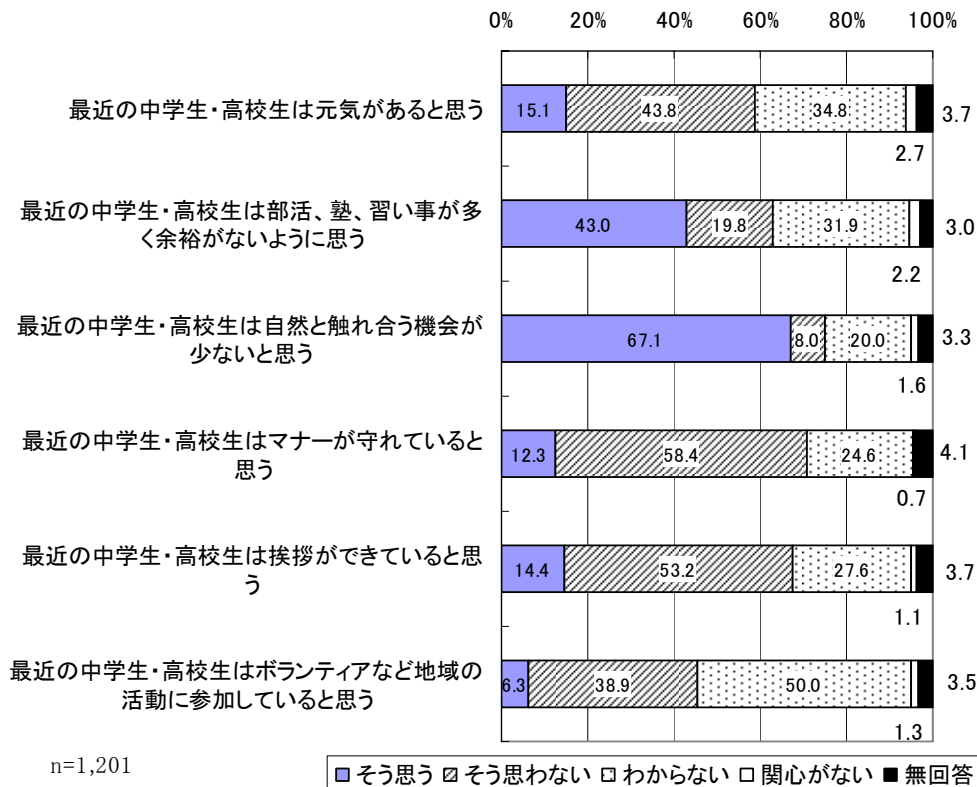
Ⅱ. 集計分析結果

1. 中学生高校生について感じていること

問1 お住まいの地域の中学生・高校生について、あなたはどのように感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

- ・ 「最近の中学生・高校生は元気があると思う」では、「そう思わない」が 43.8%と最も多く、次いで「わからない」が 34.8%、「元気がある」と感じている人は 15.1%と全体の 2 割に満たない。
- ・ 「最近の中学生・高校生は余裕がないように思う」では、「そう思う」と感じている人が 43.0%と最も多く、次いで「わからない」が 31.9%、「そう思わない」は 19.8%と全体の 2 割に満たない。
- ・ 「最近の中学生・高校生は自然と触れ合う機会が少ないと思う」では、「そう思う」が 67.1%と最も多く、次いで「わからない」が 20.0%、「そう思わない」は 8.0%と少なく、自然に触れる機会は少ないと感じられている。
- ・ 「最近の中学生・高校生はマナーが守れていると思う」は、「そう思わない」が 58.4%と最も多く、次いで「わからない」が 24.6%、「マナーが守れている」と感じている人は 12.3%と比較的少数となっている。
- ・ 「最近の中学生・高校生は挨拶ができていると思う」は、「そう思わない」が 53.2%と最も多く、次いで「わからない」が 27.6%、「挨拶ができている」と感じている人は 14.4%と比較的少数となっている。
- ・ 「最近の中学生・高校生はボランティアなど地域の活動に参加していると思う」では、「わからない」が 50.0%と半数を占め、次いで「そう思わない」が 38.9%、「地域活動に参加している」と感じている人は 6.3%と少数となっている。

図 地域の中学生・高校生について



■ 男女・年齢・地域別 地域の中学生・高校生について(問1× F1, F2, F3)

① 最近の中学生・高校生は元気があると思う

<男女別>

・男女とも「そう思わない」が4割超を占め、「そう思う」が1割超である。

<年齢別>

・30代以上の世代ではいずれも「そう思わない」が最も多くなっているが、20代では「わからない」が最も多い。いずれの年代でも3割～4割程度の人が「わからない」と答えており、20代では4割強と他の年代より数値が高く、「そう思う」も他の年代より数値が高くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「そう思わない」と「わからない」がそれぞれ3割から4割程度と多くなっており、地域による差は特にみられない。

図 男女・年齢・地域別 地域の中学生・高校生について

—① 最近の中学生・高校生は元気があると思う—

問1 地域の中学生・高校生について
最近の中学生・高校生は元気があると思う

		全体	そう思う	そう思わない	わからない	関心がない	無回答
全 体		1,201	181	526	418	32	44
		100.0	15.1	43.8	34.8	2.7	3.7
F 1 性別	男性	444	14.9	47.1	32.0	2.7	3.4
	女性	726	15.2	42.1	36.8	2.5	3.4
	無回答	31	16.1	35.5	29.0	6.5	12.9
F 2 年齢	20代	130	22.3	26.9	44.6	5.4	0.8
	30代	236	12.7	44.1	39.4	3.8	0.0
	40代	186	15.1	50.0	33.3	1.1	0.5
	50代	199	13.6	51.3	32.2	1.5	1.5
	60代	211	12.3	49.3	35.5	0.9	1.9
	70代以上	216	17.1	36.6	27.3	3.7	15.3
	無回答	23	17.4	39.1	30.4	4.3	8.7
F 3 居住地域	青木	90	14.4	38.9	41.1	3.3	2.2
	大口七島	73	24.7	39.7	30.1	1.4	4.1
	片倉三枚	106	14.2	48.1	32.1	2.8	2.8
	神奈川幸ヶ谷	136	8.1	47.1	40.4	2.2	2.2
	神ノ木西寺尾	78	19.2	37.2	34.6	6.4	2.6
	子安入江	108	15.7	41.7	36.1	2.8	3.7
	白幡浦島丘	65	12.3	46.2	27.7	4.6	9.2
	神西神北	79	8.9	43.0	40.5	1.3	6.3
	神大寺	62	21.0	46.8	27.4	0.0	4.8
	菅田	86	12.8	48.8	32.6	3.5	2.3
	羽沢	81	14.8	44.4	32.1	1.2	7.4
	松見	66	15.2	39.4	40.9	1.5	3.0
	三ツ沢	84	20.2	41.7	32.1	3.6	2.4
	六角橋	62	17.7	46.8	33.9	1.6	0.0
	無回答	25	12.0	48.0	32.0	4.0	4.0

② 最近の中学生・高校生は部活、塾、習い事が多く余裕がないように思う

<男女別>

・男女とも「そう思う」が4割超を占め、「そう思わない」が2割前後である。

<年齢別>

・30代以上の世代ではいずれも「そう思う」が最も多く、年代が高くなるほど数値が高くなる傾向にあり、「そう思わない」は若い年代ほど数値が高くなっている。20代は「わからない」が4割を超え、最も多くなっている。

<地域別>

・「神ノ木西寺尾」と「菅田」では「わからない」が最も多く、その他の地域では「そう思う」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 地域の中学生・高校生について

—② 最近の中学生・高校生は部活、塾、習い事が多く余裕がないように思う—

問1 地域の中学生・高校生について

最近の中学生・高校生は部活、塾、習い事が多く余裕がないように思う

		全体	そう思う	そう思わない	わからない	関心がない	無回答
全 体		1,201	517	238	383	27	36
		100.0	43.0	19.8	31.9	2.2	3.0
F 1 性別	男性	444	41.7	21.8	31.1	2.5	2.9
	女性	726	43.7	18.5	33.1	2.1	2.8
	無回答	31	48.4	22.6	16.1	3.2	9.7
F 2 年齢	20代	130	28.5	24.6	43.1	3.1	0.8
	30代	236	37.3	23.3	35.2	4.2	0.0
	40代	186	43.5	21.0	32.8	2.2	0.5
	50代	199	48.2	20.6	30.2	0.0	1.0
	60代	211	45.0	17.1	34.1	0.9	2.8
	70代以上	216	49.5	13.4	22.7	2.8	11.6
	無回答	23	56.5	26.1	8.7	4.3	4.3
F 3 居住地域	青木	90	41.1	16.7	36.7	2.2	3.3
	大口七島	73	39.7	28.8	26.0	1.4	4.1
	片倉三枚	106	38.7	17.0	37.7	3.8	2.8
	神奈川幸ヶ谷	136	45.6	16.9	33.8	2.2	1.5
	神ノ木西寺尾	78	30.8	26.9	38.5	1.3	2.6
	子安入江	108	39.8	20.4	33.3	2.8	3.7
	白幡浦島丘	65	55.4	9.2	23.1	6.2	6.2
	神西神北	79	41.8	22.8	29.1	1.3	5.1
	神大寺	62	48.4	19.4	27.4	1.6	3.2
	菅田	86	32.6	23.3	38.4	3.5	2.3
	羽沢	81	45.7	19.8	28.4	2.5	3.7
	松見	66	39.4	19.7	37.9	0.0	3.0
	三ツ沢	84	50.0	20.2	28.6	0.0	1.2
	六角橋	62	61.3	14.5	22.6	1.6	0.0
	無回答	25	44.0	28.0	20.0	4.0	4.0

③ 最近の中学生・高校生は自然と触れ合う機会が少ないと思う

<男女別>

・男女とも「そう思う」が7割近い高い数値となっている。

<年齢別>

・いずれの年代でも「そう思う」が最も多く、6～7割の高い数値となっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「そう思う」が最も多く、6～7割の高い数値となっており、地域による差は見られない。

図 男女・年齢・地域別 地域の中学生・高校生について

一③ 最近の中学生・高校生は自然と触れ合う機会が少ないと思う一

問1 地域の中学生・高校生について

最近の中学生・高校生は自然と触れ合う機会が少ないと思う

		全体	そう思う	そう思わない	わからない	関心がない	無回答
全 体		1,201	806	96	240	19	40
		100.0	67.1	8.0	20.0	1.6	3.3
F 1 性別	男性	444	68.2	9.9	16.7	1.8	3.4
	女性	726	66.4	6.9	22.3	1.4	3.0
	無回答	31	67.7	6.5	12.9	3.2	9.7
F 2 年齢	20代	130	69.2	6.9	20.8	2.3	0.8
	30代	236	61.9	6.4	28.4	3.4	0.0
	40代	186	72.6	9.1	17.2	0.5	0.5
	50代	199	71.4	8.0	18.1	0.5	2.0
	60代	211	64.9	10.0	21.3	0.9	2.8
	70代以上	216	64.4	7.4	14.4	1.4	12.5
	無回答	23	73.9	8.7	8.7	4.3	4.3
F 3 居住地域	青木	90	72.2	6.7	15.6	2.2	3.3
	大口七島	73	67.1	9.6	19.2	0.0	4.1
	片倉三枚	106	61.3	7.5	26.4	1.9	2.8
	神奈川幸ヶ谷	136	63.2	8.8	24.3	1.5	2.2
	神ノ木西寺尾	78	69.2	7.7	20.5	0.0	2.6
	子安入江	108	70.4	3.7	18.5	2.8	4.6
	白幡浦島丘	65	64.6	9.2	15.4	3.1	7.7
	神西神北	79	70.9	6.3	16.5	0.0	6.3
	神大寺	62	69.4	6.5	21.0	1.6	1.6
	菅田	86	65.1	7.0	23.3	2.3	2.3
	羽沢	81	64.2	9.9	19.8	1.2	4.9
	松見	66	65.2	10.6	21.2	0.0	3.0
	三ツ沢	84	66.7	10.7	20.2	1.2	1.2
	六角橋	62	75.8	9.7	11.3	3.2	0.0
	無回答	25	64.0	8.0	20.0	4.0	4.0

④ 最近の中学生・高校生はマナーが守れていると思う

<男女別>

・男女とも「そう思わない」が6割弱と高い数値となっている。

<年齢別>

・いずれの年代でも「そう思わない」が最も多く、5～6割の高い数値となっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「そう思わない」が最も多く、5～6割の高い数値となっており、地域による差は見られない。

図 男女・年齢・地域別 地域の中学生・高校生について

一④ 最近の中学生・高校生はマナーが守れていると思う一

問1 地域の中学生・高校生について

最近の中学生・高校生はマナーが守れていると思う

		全体	そう思う	そう思わない	わからない	関心がない	無回答
全 体		1,201	148	701	295	8	49
		100.0	12.3	58.4	24.6	0.7	4.1
F 1 性別	男性	444	14.2	57.9	23.2	1.4	3.4
	女性	726	11.6	58.4	25.6	0.3	4.1
	無回答	31	3.2	64.5	19.4	0.0	12.9
F 2 年齢	20代	130	12.3	53.8	32.3	0.8	0.8
	30代	236	7.6	59.3	30.9	1.7	0.4
	40代	186	12.4	60.2	26.3	0.0	1.1
	50代	199	16.6	59.3	22.6	1.0	0.5
	60代	211	15.2	61.1	19.9	0.0	3.8
	70代以上	216	11.6	53.2	18.5	0.5	16.2
	無回答	23	4.3	73.9	17.4	0.0	4.3
F 3 居住地域	青木	90	8.9	51.1	36.7	0.0	3.3
	大口七島	73	19.2	63.0	12.3	0.0	5.5
	片倉三枚	106	16.0	59.4	19.8	0.9	3.8
	神奈川幸ヶ谷	136	5.9	56.6	36.0	0.0	1.5
	神ノ木西寺尾	78	12.8	59.0	23.1	0.0	5.1
	子安入江	108	13.9	56.5	24.1	0.0	5.6
	白幡浦島丘	65	18.5	56.9	13.8	3.1	7.7
	神西神北	79	11.4	55.7	27.8	1.3	3.8
	神大寺	62	6.5	61.3	27.4	1.6	3.2
	菅田	86	14.0	54.7	24.4	2.3	4.7
	羽沢	81	17.3	60.5	16.0	0.0	6.2
	松見	66	16.7	62.1	16.7	0.0	4.5
	三ツ沢	84	4.8	64.3	28.6	0.0	2.4
	六角橋	62	14.5	54.8	29.0	1.6	0.0
	無回答	25	4.0	72.0	16.0	0.0	8.0

⑤ 最近の中学生・高校生は挨拶ができていると思う

<男女別>

・男女とも「そう思わない」が5割超となっている。

<年齢別>

・いずれの年代でも「そう思わない」が最も多く、5割前後となっている。70代以上では、他の年代に比べて「そう思う」の数値がやや高くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「そう思わない」が最も多く、4割から6割となっており、「三ツ沢」では6割を超えている。

図 男女・年齢・地域別 地域の中学生・高校生について

⑤ 最近の中学生・高校生は挨拶ができていると思う

問1 地域の中学生・高校生について

最近の中学生・高校生は挨拶ができていると思う

		全体	そう思う	そう思わない	わからない	関心がない	無回答
全 体		1,201	173	639	331	13	45
		100.0	14.4	53.2	27.6	1.1	3.7
F 1 性別	男性	444	12.8	55.6	26.8	1.6	3.2
	女性	726	15.6	51.4	28.5	0.7	3.9
	無回答	31	9.7	61.3	16.1	3.2	9.7
F 2 年齢	20代	130	10.0	52.3	34.6	2.3	0.8
	30代	236	9.3	53.8	34.3	2.1	0.4
	40代	186	16.7	54.3	28.0	0.5	0.5
	50代	199	15.6	52.3	31.7	0.0	0.5
	60代	211	15.2	58.8	22.7	0.0	3.3
	70代以上	216	19.0	46.3	17.6	1.9	15.3
	無回答	23	13.0	65.2	17.4	0.0	4.3
F 3 居住地域	青木	90	15.6	48.9	31.1	1.1	3.3
	大口七島	73	16.4	63.0	16.4	0.0	4.1
	片倉三枚	106	18.9	49.1	27.4	0.9	3.8
	神奈川幸ヶ谷	136	9.6	51.5	36.8	0.0	2.2
	神ノ木西寺尾	78	15.4	59.0	21.8	0.0	3.8
	子安入江	108	13.9	50.9	28.7	1.9	4.6
	白幡浦島丘	65	15.4	50.8	20.0	4.6	9.2
	神西神北	79	15.2	48.1	30.4	1.3	5.1
	神大寺	62	21.0	54.8	21.0	0.0	3.2
	菅田	86	12.8	53.5	29.1	2.3	2.3
	羽沢	81	17.3	51.9	23.5	0.0	7.4
	松見	66	10.6	57.6	28.8	0.0	3.0
	三ツ沢	84	8.3	60.7	28.6	1.2	1.2
	六角橋	62	16.1	46.8	33.9	3.2	0.0
		無回答	25	12.0	60.0	24.0	0.0

⑥ 最近の中学生・高校生はボランティアなど地域の活動に参加していると思う

<男女別>

・男女とも「わからない」が半数近くを占め最も多く、次いで「そう思わない」が4割程度となっている。

<年齢別>

・20代と30代と60代以上で「わからない」の回答が最も多くあったが、20代と30代で6割を超える高い数値となっている。40代と50代は、「そう思わない」が最も多くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「わからない」が最も多く半数前後を占め、「そう思わない」が3割から4割となっており、地域による差は特にみられない。

図 男女・年齢・地域別 地域の中学生・高校生について

⑥ 最近の中学生・高校生はボランティアなど地域の活動に参加していると思う

問1 地域の中学生・高校生について

最近の中学生・高校生はボランティアなど地域の活動に参加していると思う

		全体	そう思う	そう思わない	わからない	関心がない	無回答
全 体		1,201	76	467	600	16	42
		100.0	6.3	38.9	50.0	1.3	3.5
F 1 性別	男性	444	6.3	40.8	48.2	1.6	3.2
	女性	726	6.5	37.5	51.4	1.2	3.4
	無回答	31	3.2	45.2	41.9	0.0	9.7
F 2 年齢	20代	130	5.4	31.5	60.8	1.5	0.8
	30代	236	4.7	30.5	61.9	3.0	0.0
	40代	186	7.0	46.8	45.7	0.0	0.5
	50代	199	8.5	45.7	43.7	1.0	1.0
	60代	211	4.3	42.7	49.8	0.5	2.8
	70代以上	216	8.3	35.2	40.3	1.9	14.4
	無回答	23	4.3	43.5	47.8	0.0	4.3
F 3 居住地域	青木	90	5.6	31.1	58.9	1.1	3.3
	大口七島	73	6.8	42.5	46.6	0.0	4.1
	片倉三枚	106	9.4	35.8	50.9	1.9	1.9
	神奈川幸ヶ谷	136	5.1	41.2	52.2	0.0	1.5
	神ノ木西寺尾	78	9.0	42.3	43.6	2.6	2.6
	子安入江	108	5.6	38.9	50.0	0.9	4.6
	白幡浦島丘	65	4.6	36.9	43.1	4.6	10.8
	神西神北	79	7.6	38.0	49.4	1.3	3.8
	神大寺	62	9.7	40.3	45.2	1.6	3.2
	菅田	86	3.5	41.9	48.8	2.3	3.5
	羽沢	81	4.9	32.1	53.1	2.5	7.4
	松見	66	4.5	40.9	51.5	0.0	3.0
	三ツ沢	84	8.3	42.9	47.6	0.0	1.2
	六角橋	62	3.2	40.3	54.8	1.6	0.0
	無回答	25	8.0	40.0	48.0	0.0	4.0

問2 中学生・高校生を取り巻く有害な環境のうち、あなたが身近な問題と感じていることは何ですか。

(〇はいくつでも)

- ・ 「パソコン・ケータイサイトの有害情報(出会い系等)」が最も多く、67.7%と全体の7割近くの方が問題だと挙げている。次いで「ゲーム依存」が52.8%、「いじめ」が50.4%と半数の方が問題と感じており、以下「コンビニ等でのたむろ」(40.5%)、「喫煙・飲酒」(38.1%)、「ひきこもり・不登校」(34.1%)、「薬物汚染」(25.3%)、「騒音(オートバイ、公園等で騒ぐ)」(21.1%)と続き、「デートDV」は9.7%と問題と感じている人は比較的少数となっている。
- ・ 「その他」2.9%のうち、35件に具体的記述があり、計39件の意見が挙げられた。最も多かったのは「生活態度やマナー言葉遣いが悪い」8件、次いで「インターネットや携帯電話による弊害」7件、「まわりの大人の責任」「親の教育・関心」「テレビ・マスコミ・メディアによる弊害」がそれぞれ3件などとなっている。

図 中・高校生の身近な問題と感じていること(複数回答)

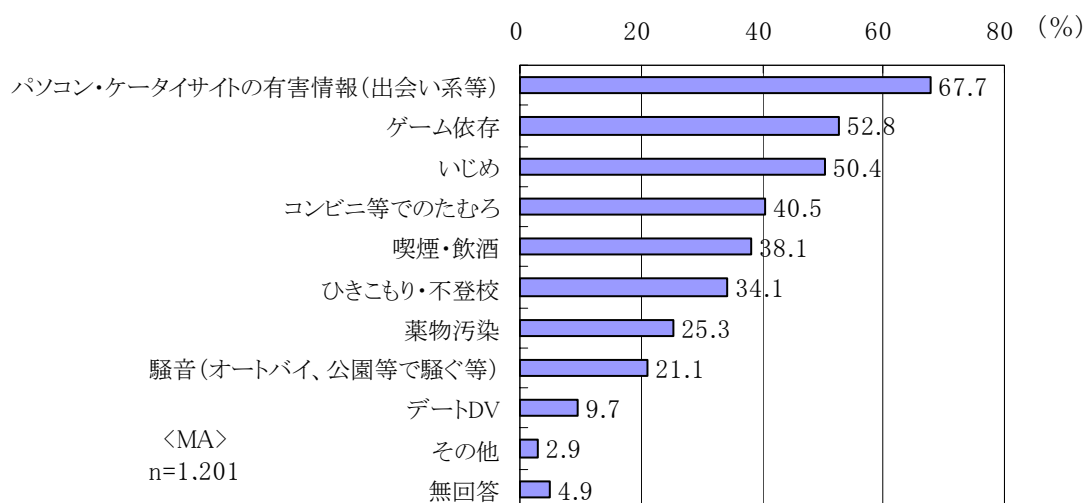


図 「その他」意見内容

意見内容	件数
生活態度やマナー言葉遣いが悪い	8
インターネットや携帯電話による弊害	7
まわりの大人の責任	3
親の教育・関心	3
テレビ、マスコミ、メディアによる弊害	3
居場所がない	2
他人への思いやりの心がないこと	2
防犯(交番がないことや万引き)	2
学校	1
勉強不足	1
成績等によるランク付け評価	1
性教育	1
家庭環境	1
食生活(ファーストフードの食べすぎ)	1
自由時間が多すぎる	1
夜の外出	1
なし	1
計	39

■ 男女・年齢・地域別 中・高校生の身近な問題と感じていること(問2× F1, F2, F3)

<男女別>

・男女とも「パソコン・ケータイサイトの有害情報（出会い系等）」が7割近くを占め最も多く、「ゲーム依存」が5割超となっている。また、「いじめ」は5割前後の数値を占め、女性は男性を8.9ポイント上回っている。

<年齢別>

・すべての年代で「パソコン・ケータイサイトの有害情報（出会い系等）」が最も多くなっている。「いじめ」と「ひきこもり・不登校」と「喫煙・飲酒」は、若い年代ほど数値が高い傾向にあり、「ゲーム依存」と「コンビニ等でのたむろ」は高い年代ほど数値が高い傾向になっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「パソコン・ケータイサイトの有害情報（出会い系等）」が6割以上あり、最も多くなっている。「青木」では「いじめ」が7割近く、「三ツ沢」では「ゲーム依存」が6割超、「大口七島」では「コンビニ等でのたむろ」が6割弱と他の地域より高い数値になっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の身近な問題と感じていること(複数回答)

問2 中学生・高校生を取り巻く有害な環境のうち、身近な問題と感じていること (複数回答)

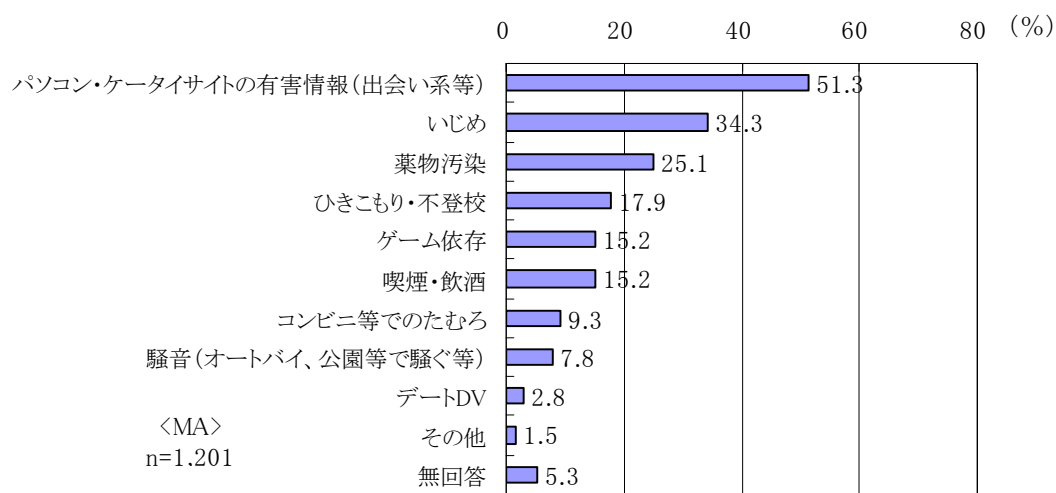
		全体	薬物汚染	パソコン・ケータイサイトの有害情報(出会い系等)	デートDV	ひきこもり・不登校	いじめ	ゲーム依存	コンビニ等でのたむろ	騒音(オートバイ、公園等で騒ぐ等)	喫煙・飲酒	その他	無回答
全体		1,201	304	813	116	410	605	634	487	253	457	35	59
		—	25.3	67.7	9.7	34.1	50.4	52.8	40.5	21.1	38.1	2.9	4.9
F 1 性別	男性	444	21.8	66.0	8.3	34.9	45.0	52.0	42.8	22.5	33.6	4.1	5.4
	女性	726	27.1	68.9	10.3	33.7	53.9	52.8	39.0	20.5	40.6	2.3	4.5
	無回答	31	32.3	64.5	12.9	32.3	45.2	64.5	45.2	12.9	41.9	0.0	6.5
F 2 年齢	20代	130	28.5	66.9	10.0	48.5	65.4	40.8	35.4	24.6	52.3	3.8	3.1
	30代	236	27.1	77.5	6.8	39.8	51.3	47.5	36.9	19.5	41.1	3.4	3.8
	40代	186	28.0	76.9	9.1	40.3	58.6	60.2	39.2	16.1	31.7	4.3	1.1
	50代	199	23.1	65.8	11.1	37.7	53.3	56.3	37.7	19.6	37.2	1.0	3.0
	60代	211	25.1	64.5	11.8	24.6	47.9	59.2	50.2	26.1	40.8	2.4	4.7
	70代以上	216	21.8	54.6	9.3	19.4	33.3	47.7	41.2	22.2	29.2	3.2	12.5
	無回答	23	21.7	65.2	13.0	39.1	47.8	73.9	47.8	13.0	43.5	0.0	4.3
F 3 居住地域	青木	90	23.3	64.4	18.9	51.1	66.7	57.8	28.9	21.1	40.0	8.9	4.4
	大口七島	73	24.7	65.8	9.6	31.5	52.1	50.7	57.5	31.5	42.5	1.4	1.4
	片倉三枚	106	30.2	66.0	9.4	30.2	48.1	50.9	45.3	19.8	38.7	2.8	5.7
	神奈川幸ヶ谷	136	30.1	65.4	8.8	34.6	48.5	46.3	26.5	11.8	36.0	2.2	8.1
	神ノ木西寺尾	78	21.8	65.4	6.4	37.2	51.3	52.6	48.7	24.4	46.2	1.3	6.4
	子安入江	108	24.1	71.3	9.3	31.5	46.3	53.7	35.2	19.4	45.4	1.9	3.7
	白幡浦島丘	65	15.4	61.5	1.5	29.2	49.2	50.8	32.3	16.9	30.8	6.2	7.7
	神西神北	79	20.3	67.1	7.6	32.9	46.8	54.4	38.0	15.2	29.1	0.0	6.3
	神大寺	62	25.8	67.7	4.8	32.3	51.6	58.1	41.9	17.7	30.6	3.2	1.6
	菅田	86	26.7	72.1	5.8	25.6	45.3	46.5	46.5	26.7	38.4	1.2	4.7
	羽沢	81	25.9	65.4	12.3	32.1	53.1	48.1	44.4	30.9	45.7	3.7	6.2
	松見	66	24.2	68.2	6.1	36.4	51.5	56.1	43.9	21.2	36.4	1.5	3.0
	三ツ沢	84	28.6	84.5	15.5	33.3	47.6	61.9	47.6	27.4	35.7	3.6	1.2
	六角橋	62	29.0	61.3	14.5	40.3	51.6	50.0	41.9	17.7	25.8	4.8	6.5
無回答	25	20.0	64.0	16.0	36.0	44.0	72.0	44.0	16.0	52.0	0.0	4.0	

問3 問2の社会問題のなかで、あなたが特に対策が必要だと思うものはどれですか

(問2の番号の中から二つまで記入)

- 「パソコン・ケータイサイトの有害情報(出会い系等)」が51.3%と最も多く、半数の人が対策が必要だと感じており、問題意識と対策の必要性の双方ともに高い結果となっている。次いで「いじめ」が34.3%、「薬物依存」が25.1%、「ひきこもり・不登校」が17.9%と続いている。「ゲーム依存」と「喫煙・飲酒」は15.2%と多くの人が問題と感じていたにもかかわらず、対策はあまり必要と感じられていないことがうかがえる。以下「コンビニ等でのたむろ」(9.3%)、「騒音(オートバイ、公園等で騒ぐ等)」(7.8%)と続き、「デートDV」は2.8%と、対策が必要と感じている人は少数となっている。

図 中・高校生に、特に対策が必要だと思うもの(2つまで回答)



■ 男女・年齢・地域別 中・高校生に、特に対策が必要だと思うもの(2つまで回答)(問3× F1, F2, F3)

<男女別>

・男女とも「パソコン・ケータイサイトの有害情報（出会い系等）」が5割前後と最も多く、女性は男性を9.9ポイント上回っている。

<年齢別>

・すべての年代で「パソコン・ケータイサイトの有害情報（出会い系等）」が5割前後と最も多くなっており、30代と40代が他の年代より高い数値となっている。「いじめ」と「ひきこもり・不登校」は、若い年代ほど数値が高い傾向にあり、「ゲーム依存」と「コンビニ等でのたむろ」は高い年代ほど数値が高い傾向になっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「パソコン・ケータイサイトの有害情報（出会い系等）」が5割前後と、最も多くなっている。「青木」では「いじめ」が5割近く、「神ノ木西寺尾」では「喫煙・飲酒」が2割超、「大口七島」と「三ツ沢」では「コンビニ等でのたむろ」が2割弱と他の地域より高い数値になっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生に、特に対策が必要だと思うもの(2つまで回答)

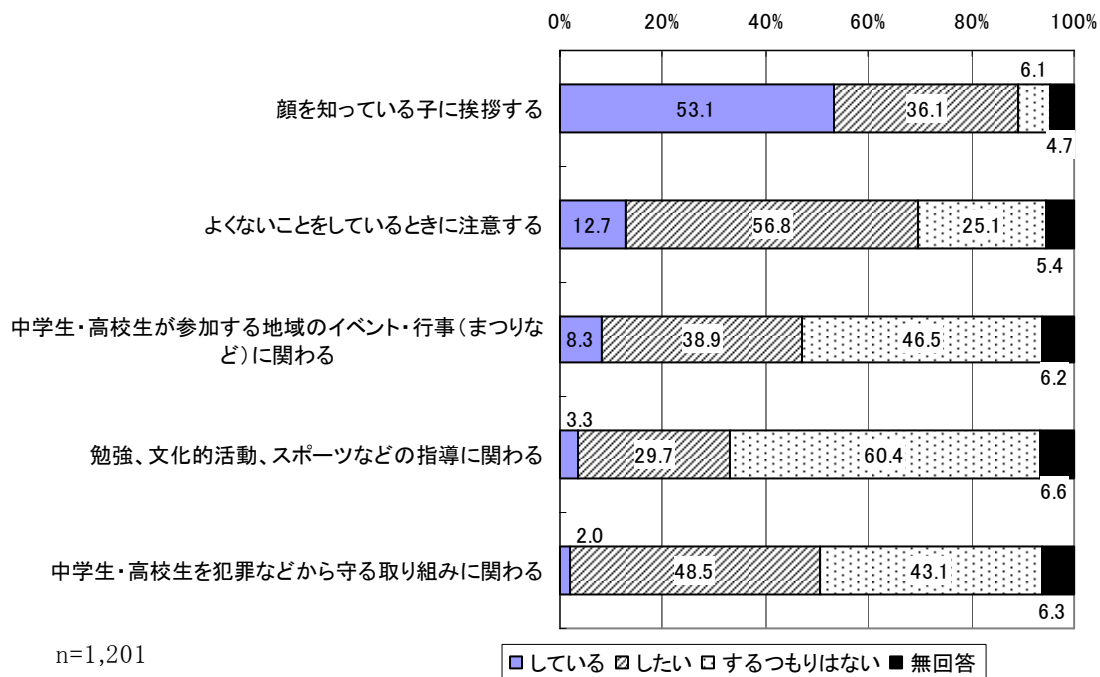
問3 中学生・高校生を取り巻く有害な環境のうち、特に対策が必要だと思うもの(2つまで回答)

		全体	薬物汚染	パソコン・ケータイサイトの有害情報(出会い系等)	デートDV	ひきこもり・不登校	いじめ	ゲーム依存	コンビニ等でのたむろ	騒音(オートバイ、公園等で騒ぐ等)	喫煙・飲酒	その他	無回答
全体		1,201	301	616	34	215	412	183	112	94	182	18	64
		—	25.1	51.3	2.8	17.9	34.3	15.2	9.3	7.8	15.2	1.5	5.3
F 1 性別	男性	444	20.3	45.3	2.9	18.7	34.9	16.0	11.5	9.7	15.8	2.5	5.6
	女性	726	28.0	55.2	2.8	17.5	34.0	14.2	8.1	7.0	14.7	1.0	4.8
	無回答	31	25.8	45.2	3.2	16.1	32.3	29.0	6.5	0.0	16.1	0.0	12.9
F 2 年齢	20代	130	22.3	46.2	3.1	26.2	43.1	10.8	6.9	9.2	21.5	1.5	1.5
	30代	236	30.1	58.9	2.5	22.0	34.7	11.9	7.2	7.2	14.0	1.7	1.3
	40代	186	27.4	58.1	1.1	18.3	38.7	16.1	8.1	4.8	10.2	2.7	1.6
	50代	199	24.6	49.2	3.0	21.1	35.7	15.1	7.5	9.5	15.1	1.0	2.5
	60代	211	21.3	51.2	3.8	16.1	31.8	19.4	10.4	8.1	19.0	0.9	5.7
	70代以上	216	24.1	42.6	3.2	6.9	25.9	15.3	14.8	9.3	12.5	1.4	17.1
	無回答	23	17.4	47.8	4.3	17.4	34.8	30.4	8.7	0.0	21.7	0.0	8.7
F 3 居住地域	青木	90	15.6	46.7	5.6	13.3	45.6	18.9	5.6	2.2	16.7	6.7	7.8
	大口七島	73	21.9	47.9	1.4	9.6	31.5	17.8	17.8	13.7	17.8	0.0	2.7
	片倉三枚	106	31.1	48.1	4.7	17.0	34.9	13.2	5.7	5.7	16.0	0.9	6.6
	神奈川幸ヶ谷	136	30.1	51.5	1.5	18.4	37.5	15.4	5.9	7.4	14.7	2.2	4.4
	神ノ木西寺尾	78	21.8	48.7	3.8	17.9	39.7	10.3	11.5	9.0	20.5	1.3	2.6
	子安入江	108	20.4	58.3	1.9	20.4	31.5	13.0	9.3	12.0	15.7	0.0	3.7
	白幡浦島丘	65	15.4	46.2	1.5	26.2	33.8	13.8	7.7	7.7	13.8	1.5	9.2
	神西神北	79	29.1	63.3	0.0	22.8	30.4	11.4	5.1	7.6	11.4	0.0	5.1
	神大寺	62	22.6	54.8	3.2	22.6	24.2	21.0	12.9	6.5	9.7	1.6	6.5
	菅田	86	26.7	50.0	3.5	16.3	32.6	11.6	10.5	7.0	15.1	0.0	8.1
	羽沢	81	22.2	48.1	1.2	16.0	38.3	14.8	9.9	9.9	16.0	3.7	6.2
	松見	66	31.8	48.5	1.5	16.7	37.9	18.2	12.1	12.1	15.2	0.0	1.5
	三ツ沢	84	28.6	59.5	2.4	13.1	27.4	17.9	15.5	7.1	14.3	1.2	2.4
	六角橋	62	33.9	46.8	8.1	22.6	30.6	14.5	6.5	4.8	9.7	1.6	6.5
	無回答	25	16.0	40.0	4.0	20.0	32.0	28.0	8.0	0.0	24.0	0.0	12.0

問4 お住まいの地域の中中学生・高校生に対する、あなたの関わり方についておたずねします。該当する欄の番号に○をつけてください。(それぞれに○は1つ)

- ・ 「顔を知っている子に挨拶する」は 53.1%の人が「している」、36.1%が「したい」と答えており、「するつもりはない」は6.1%と比較的少数となっている。
- ・ 「よくないことをしているときに注意する」は、「注意したい」が 56.8%、次いで「注意するつもりはない」が 25.1%、「注意をしている」は 12.7%と少なく、注意したいという気持ちはあるものの、実行には移していない状況がうかがわれる。
- ・ 「中学生・高校生が参加する地域のイベント・行事(まつりなど)に関わる」は、「関わるつもりはない」が 46.5%と半数近くを占め、次いで「関わりたい」が 38.9%、「関わっている」は 8.3%と中・高校生と一っしょに地域のイベントや行事に関わる人は比較的少数となっている。
- ・ 「勉強、文化的活動、スポーツなどの指導に関わる」では、「関わるつもりはない」が 60.4%と最も多く、次いで「関わりたい」が 29.7%、「関わっている」は 3.3%と比較的少数となっている。
- ・ 「中学生・高校生を犯罪などから守る取り組みに関わる」では、「関わりたい」が 48.5%、「関わるつもりはない」が 43.1%と回答の傾向は2つに分かれた。「関わっている」は 2.0%と、犯罪から守る取り組みに関わっている人は、比較的少数となっている。

図 地域の中学生・高校生に対する、関わり方



■ 男女・年齢・地域別 地域の中中学生・高校生に対する、関わり方(問4× F1, F2, F3)

① 最近の中中学生・高校生は元気があると思う

<男女別>

・男女とも「している」が5割前後と最も多く、女性は男性を8.2ポイント上回っている。また、「したい」は男性が女性を7.3ポイント上回っている。

<年齢別>

・40代以上の世代ではいずれも「している」が6割前後と最も多くなっているが、20代と30代では「したい」が5割前後を占め、挨拶をしたいがしていない状況がうかがわれる。また、「するつもりはない」は若い世代ほど数値が高い傾向にある。

<地域別>

・ほとんどの地域が「している」が4割から6割と最も多くなっているが、「神奈川幸ノ谷」は「したい」が「している」を3.7ポイント上回り最も多くなっている。また、「子安入江」では「するつもりはない」が1割程度の数値と他の地域より少し高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 地域の中中学生・高校生に対する、関わり方

—① 顔を知っている子に挨拶する—

問4 地域の中中学生・高校生に対する、関わり方
顔を知っている子に挨拶する

		全体	している	したい	するつもりはない	無回答	平均
全体		1,201	638	433	73	57	1.49
		100.0	53.1	36.1	6.1	4.7	
F1	性別						
	男性	444	48.0	40.8	6.5	4.7	1.43
	女性	726	56.2	33.5	5.8	4.5	1.53
	無回答	31	54.8	29.0	6.5	9.7	1.54
F2	年齢						
	20代	130	28.5	55.4	14.6	1.5	1.14
	30代	236	38.6	49.6	10.6	1.3	1.28
	40代	186	65.6	29.0	4.3	1.1	1.62
	50代	199	62.8	29.1	5.5	2.5	1.59
	60代	211	59.2	32.2	3.8	4.7	1.58
	70代以上	216	58.3	25.9	0.5	15.3	1.68
	無回答	23	52.2	34.8	4.3	8.7	1.52
F3	居住地域						
	青木	90	48.9	35.6	7.8	7.8	1.45
	大口七島	73	54.8	34.2	6.8	4.1	1.50
	片倉三枚	106	59.4	32.1	3.8	4.7	1.58
	神奈川幸ヶ谷	136	43.4	47.1	5.9	3.7	1.39
	神ノ木西寺尾	78	64.1	29.5	3.8	2.6	1.62
	子安入江	108	51.9	34.3	10.2	3.7	1.43
	白幡浦島丘	65	50.8	29.2	7.7	12.3	1.49
	神西神北	79	45.6	39.2	7.6	7.6	1.41
	神大寺	62	50.0	38.7	6.5	4.8	1.46
	菅田	86	59.3	29.1	3.5	8.1	1.61
	羽沢	81	59.3	27.2	7.4	6.2	1.55
	松見	66	48.5	45.5	4.5	1.5	1.45
	三ツ沢	84	50.0	46.4	3.6	0.0	1.46
	六角橋	62	62.9	30.6	6.5	0.0	1.56
	無回答	25	56.0	36.0	4.0	4.0	1.54

② よくないことをしているときに注意する

<男女別>

・男女とも「したい」が6割弱と最も多く、女性は「したい」と「するつもりはない」がそれぞれ男性を2ポイント程上回っており、男性は「している」が女性を5.5ポイント上回っており、女性は注意をしたいができない様子が見られる。

<年齢別>

・いずれの世代でも「したい」が4割から6割と最も多くなっており、「している」は高い年代ほど数値が高く、「するつもりはない」は若い年代ほど数値が高くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「したい」が4割から6割と最も多くなっているが、「神大寺」は「している」が2割を超え、他の地域より数値が高く、「三ツ沢」では「するつもりはない」が3割を超え、他の地域より数値が少し高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 地域の中学生・高校生に対する、関わり方

② よくないことをしているときに注意する

問4 地域の中学生・高校生に対する、関わり方
よくないことをしているときに注意する

		全体	している	したい	するつもりはない	無回答	平均
全 体		1,201 100.0	153 12.7	682 56.8	301 25.1	65 5.4	0.87
F 1 性別	男性	444	16.4	55.0	23.9	4.7	0.92
	女性	726	10.9	57.2	26.3	5.6	0.84
	無回答	31	3.2	74.2	12.9	9.7	0.89
F 2 年齢	20代	130	6.2	52.3	40.0	1.5	0.66
	30代	236	5.5	59.7	34.3	0.4	0.71
	40代	186	14.5	57.0	28.0	0.5	0.86
	50代	199	14.6	61.8	21.6	2.0	0.93
	60代	211	16.1	58.3	19.0	6.6	0.97
	70代以上	216	19.4	47.7	13.9	19.0	1.07
	無回答	23	0.0	78.3	13.0	8.7	0.86
F 3 居住地域	青木	90	8.9	60.0	26.7	4.4	0.81
	大口七島	73	9.6	65.8	21.9	2.7	0.87
	片倉三枚	106	10.4	62.3	23.6	3.8	0.86
	神奈川幸ヶ谷	136	8.8	58.8	27.9	4.4	0.80
	神ノ木西寺尾	78	15.4	52.6	28.2	3.8	0.87
	子安入江	108	12.0	53.7	29.6	4.6	0.82
	白幡浦島丘	65	15.4	52.3	18.5	13.8	0.96
	神西神北	79	7.6	55.7	27.8	8.9	0.78
	神大寺	62	24.2	46.8	25.8	3.2	0.98
	菅田	86	17.4	55.8	18.6	8.1	0.99
	羽沢	81	19.8	53.1	19.8	7.4	1.00
	松見	66	7.6	63.6	24.2	4.5	0.83
	三ツ沢	84	16.7	48.8	31.0	3.6	0.85
	六角橋	62	12.9	59.7	24.2	3.2	0.88
	無回答	25	4.0	68.0	20.0	8.0	0.83

③ 中学生・高校生が参加する地域のイベント・行事(まつりなど)に関わる

<男女別>

・男女とも「するつもりはない」が5割弱と最も多く、男性は女性と比べて「したい」の数値がやや高く、「している」の数値がやや低くなっており、男性は、女性に比べて関わりたいが関わっていない様子うかがわれる。

<年齢別>

・60代では「したい」が4割超と最も多くなっており、その他の年代では「するつもりがない」が5割前後と最も多く、若い年代ほど数値は高くなっている。また、40代と50代で「している」が1割を超え、他の年代より数値が高くなっている。

<地域別>

・「片倉三枚」と「神ノ木西寺尾」と「六角橋」で「したい」が最も多くなっており、「松見」では「したい」と「するつもりがない」が同率で高く、その他の地域では「するつもりはない」が最も多くなっている。また、「六角橋」と「三ツ沢」と「神大寺」では「している」が1割を超え、他の地域より数値が少し高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 地域の中学生・高校生に対する、関わり方

③ 中学生・高校生が参加する地域のイベント・行事(まつりなど)に関わる

問4 地域の中学生・高校生に対する、関わり方
中学生・高校生が参加する地域のイベント・行事(まつりなど)に関わる

		全体	している	したい	するつもりはない	無回答	平均
全 体		1,201	100	467	559	75	0.59
		100.0	8.3	38.9	46.5	6.2	
F 1 性別	男性	444	7.4	41.4	46.6	4.5	0.59
	女性	726	9.0	37.6	46.3	7.2	0.60
	無回答	31	6.5	32.3	51.6	9.7	0.50
F 2 年齢	20代	130	3.8	37.7	56.9	1.5	0.46
	30代	236	3.0	43.6	52.5	0.8	0.50
	40代	186	12.4	39.8	47.3	0.5	0.65
	50代	199	13.1	37.2	46.7	3.0	0.65
	60代	211	9.0	44.1	39.8	7.1	0.67
	70代以上	216	8.3	31.5	38.4	21.8	0.62
	無回答	23	8.7	26.1	56.5	8.7	0.48
F 3 居住地域	青木	90	6.7	35.6	51.1	6.7	0.52
	大口七島	73	8.2	41.1	47.9	2.7	0.59
	片倉三枚	106	6.6	44.3	43.4	5.7	0.61
	神奈川幸ヶ谷	136	5.1	36.8	53.7	4.4	0.49
	神ノ木西寺尾	78	9.0	51.3	37.2	2.6	0.71
	子安入江	108	3.7	36.1	53.7	6.5	0.47
	白幡浦島丘	65	7.7	27.7	49.2	15.4	0.51
	神西神北	79	8.9	35.4	44.3	11.4	0.60
	神大寺	62	12.9	38.7	43.5	4.8	0.68
	菅田	86	7.0	40.7	43.0	9.3	0.60
	羽沢	81	9.9	38.3	44.4	7.4	0.63
	松見	66	7.6	43.9	43.9	4.5	0.62
	三ツ沢	84	14.3	38.1	44.0	3.6	0.69
	六角橋	62	14.5	41.9	40.3	3.2	0.73
	無回答	25	12.0	24.0	56.0	8.0	0.52

④ 勉強、文化的活動、スポーツなどの指導に関わる

<男女別>

・男女とも「するつもりはない」が6割前後と最も多く、女性は男性と比べて9.2ポイント数値が高くなっている。男性は女性と比べて「したい」は10.6ポイント、「している」はやや数値が高くなっており、男性の方が女性より積極的に指導に関わる姿勢がうかがわれる。

<年齢別>

・いずれの年代でも「するつもりはない」が最も多くなっており、30代と40代が7割弱と特に高い数値となっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「するつもりはない」が最も多くなっている。また、「青木」では「している」が1割、「六角橋」では「したい」が4割を超え、他の地域に比べて高い数値となっている。

図 男女・年齢・地域別 地域の中中学生・高校生に対する、関わり方

—④ 勉強、文化的活動、スポーツなどの指導に関わる—

問4 地域の中中学生・高校生に対する、関わり方
勉強、文化的活動、スポーツなどの指導に関わる

		全体	している	したい	するつもりはない	無回答	平均
全 体		1,201	40	357	725	79	0.39
		100.0	3.3	29.7	60.4	6.6	
F 1 性別	男性	444	3.4	36.5	54.7	5.4	0.46
	女性	726	2.9	25.9	63.9	7.3	0.34
	無回答	31	12.9	22.6	58.1	6.5	0.52
F 2 年齢	20代	130	6.9	31.5	60.0	1.5	0.46
	30代	236	2.1	28.4	68.6	0.8	0.33
	40代	186	1.6	32.3	65.1	1.1	0.36
	50代	199	3.5	35.7	58.8	2.0	0.44
	60代	211	2.8	30.3	59.2	7.6	0.39
	70代以上	216	3.2	22.7	50.0	24.1	0.38
	無回答	23	13.0	21.7	60.9	4.3	0.50
F 3 居住地域	青木	90	10.0	26.7	57.8	5.6	0.49
	大口七島	73	5.5	27.4	64.4	2.7	0.39
	片倉三枚	106	1.9	33.0	59.4	5.7	0.39
	神奈川幸ヶ谷	136	2.2	28.7	64.0	5.1	0.35
	神ノ木西寺尾	78	5.1	29.5	61.5	3.8	0.41
	子安入江	108	1.9	26.9	63.9	7.4	0.33
	白幡浦島丘	65	1.5	23.1	60.0	15.4	0.31
	神西神北	79	2.5	31.6	54.4	11.4	0.41
	神大寺	62	6.5	27.4	61.3	4.8	0.42
	菅田	86	1.2	26.7	60.5	11.6	0.33
	羽沢	81	1.2	27.2	64.2	7.4	0.32
	松見	66	1.5	36.4	57.6	4.5	0.41
	三ツ沢	84	3.6	34.5	58.3	3.6	0.43
	六角橋	62	1.6	43.5	50.0	4.8	0.49
	無回答	25	8.0	20.0	68.0	4.0	0.38

⑤ 中学生・高校生を犯罪などから守る取り組みに関わる

<男女別>

・男性は「したい」が最も多く、女性は「するつもりはない」が最も多くなっており、男性の方が女性より積極的に取り組みたいという姿勢がうかがわれる。

<年齢別>

・20代と30代では「するつもりはない」が半数を超え最も多くなっており、40代以上では「したい」が最も多くなっている。また、「している」は50代が他の年代よりやや数値が高くなっている。

<地域別>

・「青木」と「神西神北」で「するつもりはない」が最も多く、「白幡浦島丘」では「したい」と「するつもりはない」が同率で最も多く、その他の地域では「したい」が最も多くなっている。また、「青木」と「神ノ木西寺尾」では「している」が他の地域に比べてやや高い数値となっている。

図 男女・年齢・地域別 地域の中学生・高校生に対する、関わり方
 ⑤ 中学生・高校生を犯罪などから守る取り組みに関わる

問4 地域の中学生・高校生に対する、関わり方
 中学生・高校生を犯罪などから守る取り組みに関わる

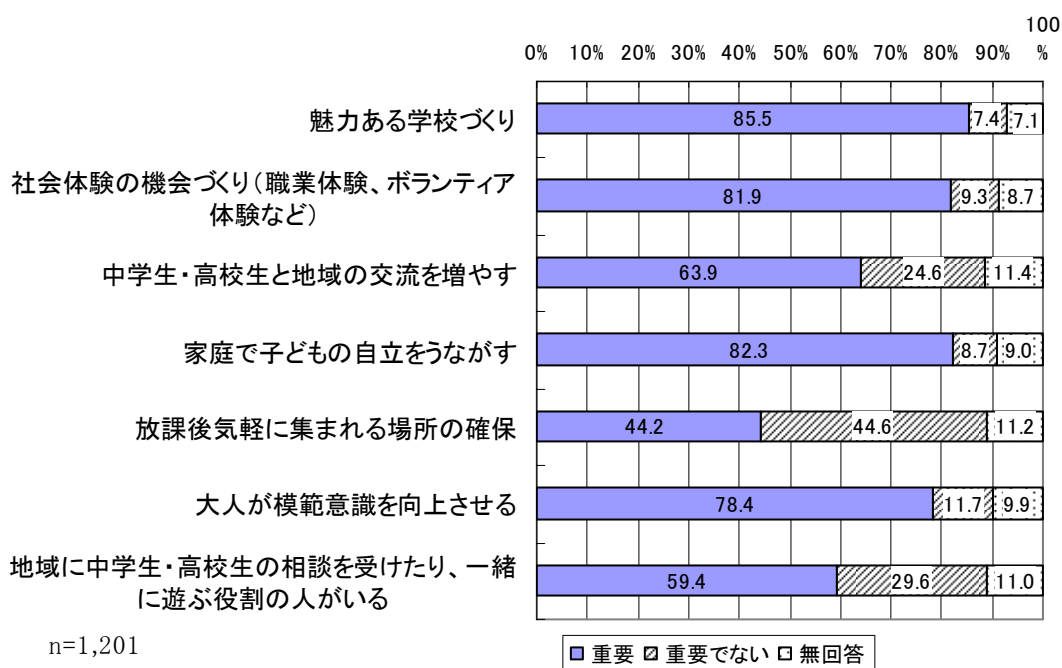
		全体	している	したい	するつもりはない	無回答	平均
全 体		1,201	24	583	518	76	0.56
		100.0	2.0	48.5	43.1	6.3	
F 1 性別	男性	444	2.0	54.5	38.7	4.7	0.61
	女性	726	1.8	45.0	46.0	7.2	0.52
	無回答	31	6.5	45.2	38.7	9.7	0.64
F 2 年齢	20代	130	0.0	43.1	55.4	1.5	0.44
	30代	236	0.4	43.6	55.1	0.8	0.45
	40代	186	1.6	55.4	42.5	0.5	0.59
	50代	199	5.0	52.8	39.2	3.0	0.65
	60代	211	1.9	53.1	38.9	6.2	0.61
	70代以上	216	2.3	43.1	31.5	23.1	0.62
	無回答	23	4.3	47.8	39.1	8.7	0.62
F 3 居住地域	青木	90	5.6	43.3	45.6	5.6	0.58
	大口七島	73	1.4	56.2	38.4	4.1	0.61
	片倉三枚	106	1.9	48.1	44.3	5.7	0.55
	神奈川幸ヶ谷	136	1.5	47.1	46.3	5.1	0.53
	神ノ木西寺尾	78	5.1	51.3	41.0	2.6	0.63
	子安入江	108	0.9	48.1	44.4	6.5	0.53
	白幡浦島丘	65	1.5	41.5	41.5	15.4	0.53
	神西神北	79	2.5	41.8	45.6	10.1	0.52
	神大寺	62	3.2	50.0	43.5	3.2	0.58
	菅田	86	3.5	46.5	40.7	9.3	0.59
	羽沢	81	0.0	50.6	43.2	6.2	0.54
	松見	66	0.0	54.5	40.9	4.5	0.57
	三ツ沢	84	0.0	53.6	41.7	4.8	0.56
	六角橋	62	0.0	51.6	41.9	6.5	0.55
	無回答	25	4.0	44.0	44.0	8.0	0.57

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、あなたが重要だと思うものはどれですか。また、その取り組みはどこが中心となって進めるべきだと思いますか。それぞれの取り組みごとに重要だと思うか重要でないと思うか、また進めるとすればどこが主体となって進めるべきだと思うか、選んで番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

A<取り組みの重要性>

- 「重要である」と思われているのは「魅力ある学校づくり」が 85.5%、「社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)」が 81.9%、「家庭で子どもの自立をうながす」が 82.3%、「大人が模範意識を向上させる」が 78.4%といずれも 8 割前後の人が重要と考えている。次いで「中学生・高校生と地域の交流を増やす」が 63.9%、「地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる」が 59.4%と、これらも 6 割前後の人が重要と考えている。「放課後気軽に集まれる場所の確保」は「重要である」が 44.2%、「重要でない」が 44.6%と回答が半々に分かれた。

図 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要性>



■ 男女・年齢・地域別 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの

(問5A× F1, F2, F3)

A<取り組みの重要性>

① 魅力ある学校づくり

<男女別>

・男女とも「重要」が多く、8割超を占める。

<年齢別>

・すべての年代で「重要」が多くなっているが、特に30代と40代では9割前後と数値が高くなっており、子育て世代の親が重要と感じているのがうかがわれる。また、20代では「重要でない」が他の年代よりやや数値が高くなっている。

<地域別>

・すべての地域で「重要」が8割から9割と多くなっている。また、「神奈川幸ノ谷」と「羽沢」と「六角橋」では「重要でない」が1割を超え、他の地域より数値がやや高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要性>

—① 魅力ある学校づくり—

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの
<重要度>

魅力ある学校づくり

		全体	重要	重要でない	無回答
全 体		1,201 100.0	1,027 85.5	89 7.4	85 7.1
F 1 性別	男性	444	83.1	9.9	7.0
	女性	726	87.2	5.9	6.9
	無回答	31	80.6	6.5	12.9
F 2 年齢	20代	130	84.6	13.8	1.5
	30代	236	89.0	8.9	2.1
	40代	186	91.4	7.0	1.6
	50代	199	85.9	10.1	4.0
	60代	211	87.2	5.7	7.1
	70代以上	216	74.5	1.9	23.6
	無回答	23	91.3	4.3	4.3
F 3 居住地域	青木	90	87.8	3.3	8.9
	大口七島	73	80.8	5.5	13.7
	片倉三枚	106	87.7	5.7	6.6
	神奈川幸ヶ谷	136	83.1	10.3	6.6
	神ノ木西寺尾	78	87.2	9.0	3.8
	子安入江	108	85.2	8.3	6.5
	白幡浦島丘	65	81.5	1.5	16.9
	神西神北	79	87.3	6.3	6.3
	神大寺	62	87.1	9.7	3.2
	菅田	86	82.6	7.0	10.5
	羽沢	81	77.8	13.6	8.6
	松見	66	87.9	9.1	3.0
	三ツ沢	84	94.0	3.6	2.4
	六角橋	62	85.5	11.3	3.2
	無回答	25	92.0	4.0	4.0

② 社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)

<男女別>

・男女とも「重要」が多く、女性は男性を9.1ポイント上回っている。

<年齢別>

・すべての年代で「重要」が多くなっており、特に30代と40代では他の年代より数値が高くなっている。また、「重要でない」は、若い年代ほど数値が高い傾向がみられる。

<地域別>

・すべての地域で「重要」が7割から9割と多くなっている。また、「青木」と「神奈川幸ノ谷」「子安入江」と「羽沢」では「重要でない」が1割を超え、他の地域より数値がやや高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生への育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要性>

－② 社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)－

問5 中学生・高校生への育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要度>

社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)

		全体	重要	重要でない	無回答
全 体		1,201	984	112	105
		100.0	81.9	9.3	8.7
F 1 性別	男性	444	76.6	15.5	7.9
	女性	726	85.7	5.6	8.7
	無回答	31	71.0	6.5	22.6
F 2 年齢	20代	130	85.4	13.1	1.5
	30代	236	87.3	11.0	1.7
	40代	186	88.7	9.1	2.2
	50代	199	85.9	8.5	5.5
	60代	211	82.9	7.1	10.0
	70代以上	216	63.9	8.3	27.8
	無回答	23	78.3	8.7	13.0
F 3 居住地域	青木	90	75.6	15.6	8.9
	大口七島	73	78.1	5.5	16.4
	片倉三枚	106	83.0	7.5	9.4
	神奈川幸ヶ谷	136	82.4	10.3	7.4
	神ノ木西寺尾	78	85.9	9.0	5.1
	子安入江	108	77.8	13.0	9.3
	白幡浦島丘	65	75.4	7.7	16.9
	神西神北	79	82.3	7.6	10.1
	神大寺	62	90.3	8.1	1.6
	菅田	86	79.1	9.3	11.6
	羽沢	81	77.8	11.1	11.1
	松見	66	86.4	9.1	4.5
	三ツ沢	84	89.3	6.0	4.8
	六角橋	62	87.1	8.1	4.8
	無回答	25	84.0	8.0	8.0

③ 中学生・高校生と地域の交流を増やす

<男女別>

・男女とも「重要」が6割超と多く、女性は男性を4.6ポイント上回っている。

<年齢別>

・すべての年代で「重要」が多くなっているが、70代以上は他の年代と比べてやや数値が低く「無回答」が他の年代に比べて高くなっている。また、「重要でない」は40代を中心に若い世代の数値がやや高くなっている。

<地域別>

・すべての地域で「重要」が5割から7割と多くなっている。また、「片倉三枚」と「子安入江」と「神大寺」と「羽沢」と「松見」では「重要でない」が3割を超え、他の地域より数値がやや高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要性>

－③ 中学生・高校生と地域の交流を増やす－

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要度>

中学生・高校生と地域の交流を増やす

		全体	重要	重要でない	無回答
全 体		1,201	768	296	137
		100.0	63.9	24.6	11.4
F 1 性別	男性	444	61.5	28.2	10.4
	女性	726	66.1	22.7	11.2
	無回答	31	48.4	19.4	32.3
F 2 年齢	20代	130	68.5	30.8	0.8
	30代	236	66.5	30.5	3.0
	40代	186	64.0	33.9	2.2
	50代	199	62.8	28.1	9.0
	60代	211	73.0	14.2	12.8
	70代以上	216	50.5	14.8	34.7
	無回答	23	65.2	13.0	21.7
F 3 居住地域	青木	90	68.9	24.4	6.7
	大口七島	73	60.3	23.3	16.4
	片倉三枚	106	57.5	32.1	10.4
	神奈川幸ヶ谷	136	66.9	23.5	9.6
	神ノ木西寺尾	78	74.4	17.9	7.7
	子安入江	108	60.2	31.5	8.3
	白幡浦島丘	65	58.5	20.0	21.5
	神西神北	79	64.6	19.0	16.5
	神大寺	62	59.7	32.3	8.1
	菅田	86	67.4	16.3	16.3
	羽沢	81	54.3	29.6	16.0
	松見	66	57.6	31.8	10.6
	三ツ沢	84	72.6	19.0	8.3
	六角橋	62	69.4	25.8	4.8
	無回答	25	68.0	16.0	16.0

④ 家庭で子どもの自立をうながす

<男女別>

・男女とも「重要」が8割前後と多く、女性は男性を6.0ポイント上回っている。

<年齢別>

・すべての年代で「重要」が多くなっているが、70代以上では他の年代と比べてやや数値が低く「無回答」が他の年代に比べて高くなっている。

<地域別>

・すべての地域で「重要」が7割から9割と多くなっている。また、「片倉三枚」と「神大寺」と「羽沢」では「重要でない」が1割を超え、他の地域より数値がやや高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要性>

－④ 家庭で子どもの自立をうながす－

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要度>

家庭で子どもの自立をうながす

		全体	重要	重要でない	無回答
全 体		1,201	989	104	108
		100.0	82.3	8.7	9.0
F 1 性別	男性	444	78.6	11.7	9.7
	女性	726	84.6	7.2	8.3
	無回答	31	83.9	0.0	16.1
F 2 年齢	20代	130	86.2	13.1	0.8
	30代	236	83.9	14.4	1.7
	40代	186	88.2	9.7	2.2
	50代	199	81.4	10.1	8.5
	60代	211	85.8	4.7	9.5
	70代以上	216	69.9	2.3	27.8
	無回答	23	91.3	0.0	8.7
F 3 居住地域	青木	90	86.7	6.7	6.7
	大口七島	73	80.8	5.5	13.7
	片倉三枚	106	75.5	14.2	10.4
	神奈川幸ヶ谷	136	85.3	7.4	7.4
	神ノ木西寺尾	78	85.9	9.0	5.1
	子安入江	108	84.3	9.3	6.5
	白幡浦島丘	65	73.8	4.6	21.5
	神西神北	79	81.0	7.6	11.4
	神大寺	62	83.9	11.3	4.8
	菅田	86	79.1	9.3	11.6
	羽沢	81	75.3	13.6	11.1
	松見	66	83.3	9.1	7.6
	三ツ沢	84	84.5	7.1	8.3
	六角橋	62	90.3	6.5	3.2
	無回答	25	92.0	4.0	4.0

⑤ 放課後気軽に集まれる場所の確保

<男女別>

・女性は「重要」、男性は「重要でない」が多くなっているが、男女とも「重要」と「重要でない」の値が4割超となっていて、男女の差はあまりみられない。

<年齢別>

・60代と70代以上は「重要」が多く、20代から50代は「重要でない」が多くなっている。

<地域別>

・「重要」が最も多い地域と「重要でない」が最も多い地域が半数ずつに分かれたが、どの数値も4割前後となっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要性>

－⑤ 放課後気軽に集まれる場所の確保－

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要度>

放課後気軽に集まれる場所の確保

		全体	重要	重要でない	無回答
全 体		1,201	531	536	134
		100.0	44.2	44.6	11.2
F 1 性別	男性	444	43.2	46.8	9.9
	女性	726	45.5	43.4	11.2
	無回答	31	29.0	41.9	29.0
F 2 年齢	20代	130	43.8	55.4	0.8
	30代	236	44.9	52.1	3.0
	40代	186	41.4	55.4	3.2
	50代	199	42.7	48.2	9.0
	60代	211	53.1	33.2	13.7
	70代以上	216	39.8	27.8	32.4
	無回答	23	34.8	52.2	13.0
F 3 居住地域	青木	90	47.8	42.2	10.0
	大口七島	73	38.4	46.6	15.1
	片倉三枚	106	44.3	44.3	11.3
	神奈川幸ヶ谷	136	38.2	52.2	9.6
	神ノ木西寺尾	78	50.0	38.5	11.5
	子安入江	108	45.4	46.3	8.3
	白幡浦島丘	65	49.2	33.8	16.9
	神西神北	79	39.2	44.3	16.5
	神大寺	62	43.5	48.4	8.1
	菅田	86	45.3	44.2	10.5
	羽沢	81	43.2	44.4	12.3
	松見	66	37.9	50.0	12.1
	三ツ沢	84	50.0	40.5	9.5
	六角橋	62	54.8	37.1	8.1
	無回答	25	32.0	60.0	8.0

⑥ 大人が模範意識を向上させる

<男女別>

・男女とも「重要」が最も多く、8割前後を占めており、女性の方が5.9ポイント高くなっている。

<年齢別>

・すべての年代で「重要」が最も多くなっており、特に若い年代ほど数値が高い傾向になっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「重要」が7割から9割と最も多くなっている。中でも「青木」と「神ノ木西寺尾」と「松見」と「三ツ沢」では「重要」が8割を超え、他の地域より数値がやや高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要性>

—⑥ 大人が模範意識を向上させる—

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要度>

大人が模範意識を向上させる

		全体	重要	重要でない	無回答
全 体		1,201	942	140	119
		100.0	78.4	11.7	9.9
F 1 性別	男性	444	75.2	15.3	9.5
	女性	726	81.1	9.2	9.6
	無回答	31	61.3	16.1	22.6
F 2 年齢	20代	130	86.9	11.5	1.5
	30代	236	86.4	11.0	2.5
	40代	186	84.4	13.4	2.2
	50代	199	79.4	11.6	9.0
	60代	211	76.8	11.8	11.4
	70代以上	216	61.1	10.2	28.7
	無回答	23	69.6	17.4	13.0
F 3 居住地域	青木	90	82.2	11.1	6.7
	大口七島	73	76.7	11.0	12.3
	片倉三枚	106	77.4	13.2	9.4
	神奈川幸ヶ谷	136	77.9	14.0	8.1
	神ノ木西寺尾	78	83.3	9.0	7.7
	子安入江	108	75.9	15.7	8.3
	白幡浦島丘	65	70.8	9.2	20.0
	神西神北	79	79.7	7.6	12.7
	神大寺	62	79.0	12.9	8.1
	菅田	86	76.7	8.1	15.1
	羽沢	81	77.8	11.1	11.1
	松見	66	80.3	12.1	7.6
	三ツ沢	84	82.1	10.7	7.1
	六角橋	62	79.0	12.9	8.1
	無回答	25	76.0	16.0	8.0

⑦ 地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる

<男女別>

・男女とも「重要」が最も多く、6割前後を占めており、女性の方が3.8ポイント高くなっている。

<年齢別>

・すべての年代で「重要」が最も多くなっており、特に20代は7割弱と他の年代より数値が高くなっている。また、70代以上は「重要」が特に低い値となっており、「無回答」は他の年代より高い値となっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「重要」が4割から6割と最も多くなっている。中でも「青木」と「大口七島」と「神ノ木西寺尾」と「神大寺」と「菅田」と「松見」では「重要」が6割を超え、他の地域よりやや数値が高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要性>

—⑦ 地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる—

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<重要度>

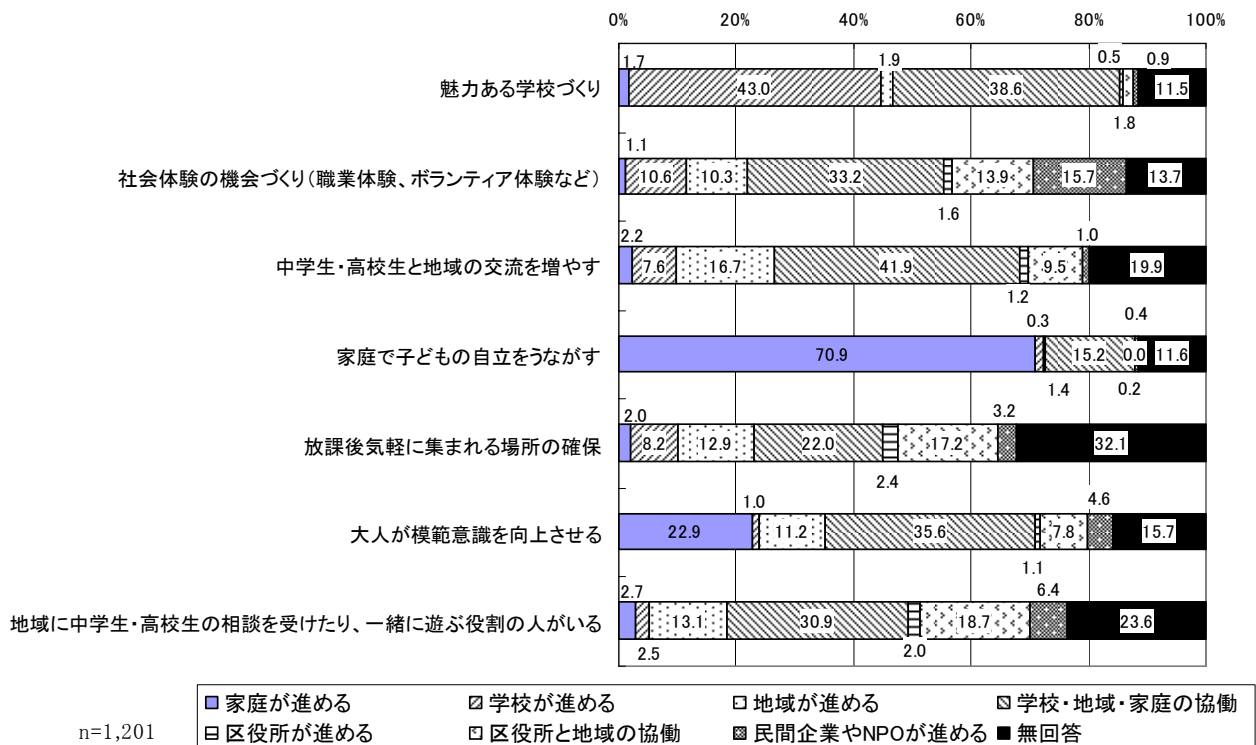
地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる

		全体	重要	重要でない	無回答
全 体		1,201	713	356	132
		100.0	59.4	29.6	11.0
F 1 性別	男性	444	57.2	31.8	11.0
	女性	726	61.0	28.5	10.5
	無回答	31	51.6	25.8	22.6
F 2 年齢	20代	130	66.9	31.5	1.5
	30代	236	61.4	35.6	3.0
	40代	186	59.7	38.2	2.2
	50代	199	59.8	32.2	8.0
	60代	211	62.1	21.8	16.1
	70代以上	216	48.6	20.8	30.6
	無回答	23	65.2	21.7	13.0
F 3 居住地域	青木	90	63.3	27.8	8.9
	大口七島	73	68.5	15.1	16.4
	片倉三枚	106	57.5	28.3	14.2
	神奈川幸ヶ谷	136	57.4	33.1	9.6
	神ノ木西寺尾	78	62.8	29.5	7.7
	子安入江	108	59.3	29.6	11.1
	白幡浦島丘	65	52.3	24.6	23.1
	神西神北	79	50.6	34.2	15.2
	神大寺	62	64.5	30.6	4.8
	菅田	86	66.3	22.1	11.6
	羽沢	81	54.3	35.8	9.9
	松見	66	68.2	27.3	4.5
	三ツ沢	84	57.1	34.5	8.3
	六角橋	62	48.4	43.5	8.1
	無回答	25	64.0	24.0	12.0

B＜取り組みの実施主体＞

- ・ 「家庭が進める」べきだと思われているのは「家庭で子どもの自立をうながす」が70.9%と最も多く、次いで「大人が模範意識を向上させる」(22.9%)となっている。
- ・ 「学校が進める」べきだと思われているのは、「魅力ある学校づくり」が43.0%と最も多く、次いで「社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)」(10.6%)、「放課後気軽に集まれる場所の確保」(8.2%)の順となっている。
- ・ 「地域が進める」べきだと思われているのは「中学生・高校生と地域の交流を増やす」(16.7%)、「地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる」(13.1%)、「放課後気軽に集まれる場所の確保」(12.9%)、「大人が模範意識を向上させる」(11.2%)、「社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)」(10.3%)の順となっている。
- ・ 「学校・地域・家庭の協働」で進めるべきだと思われているのは「中学生・高校生と地域の交流を増やす」(41.9%)、「大人が模範意識を向上させる」(35.6%)、「社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)」(33.2%)、「地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる」(30.9%)、「放課後気軽に集まれる場所の確保」(22.0%)の順となっている。
- ・ 「区役所が進める」べきだと思われているのは「放課後気軽に集まれる場所の確保」(2.4%)、「地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる」(2.0%)の順となっている。
- ・ 「区役所と地域の協働」で進めるべきだと思われているのは「地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる」(18.7%)、「放課後気軽に集まれる場所の確保」(17.2%)、「社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)」(13.9%)の順となっている。
- ・ 「民間企業やNPO」が進めるべきだと思われているのは、「社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)」が15.7%で、他の取り組みに比べてやや数値が高い。
- ・ 全体として、各取り組みともに、「学校・家庭・地域の協働」で進めるべきと考えている人の割合が多い。

図 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みは誰が進めるべきか＜実施主体＞



■ 男女・年齢・地域別 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの

(問5B× F1, F2, F3)

B<取り組みの実施主体>

① 魅力ある学校づくり

<男女別>

・男女とも「学校が進める」が最も多く、女性の方が男性より 5.4 ポイント数値が高くなっている。

<年齢別>

・20代から40代では「学校が進める」が最も多くなっており、50代から70代以上では「学校・地域・家庭の協働」が最も多くなっている。また、「家庭が進める」は70代以上で他の年代よりやや数値が高くなっている。

<地域別>

・「青木」と「菅田」と「羽沢」と「三ツ沢」では「学校・地域・家庭の協働」が最も多く、それ以外の地域では「学校が進める」が最も多くなっている。「家庭が進める」は「神ノ木西寺尾」と「菅田」と「三ツ沢」で、「地域が進める」は「六角橋」で、「区役所が進める」は「青木」と「神ノ木西寺尾」で、「区役所と地域の協働」は「松見」と「六角橋」で、「民間企業やNPOが進める」は「松見」で、他の地域よりやや数値が高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<実施主体>

—① 魅力ある学校づくり—

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの <実施主体>
魅力ある学校づくり

		全体	家庭が進める	学校が進める	地域が進める	学校・地域・家庭の協働	区役所が進める	区役所と地域の協働	民間企業やNPOが進める	無回答
全体		1,201	21	517	23	463	6	22	11	138
		100.0	1.7	43.0	1.9	38.6	0.5	1.8	0.9	11.5
F 1 性別	男性	444	2.3	40.3	2.9	38.3	0.9	2.0	1.8	11.5
	女性	726	1.5	45.7	1.4	38.0	0.3	1.5	0.4	11.2
	無回答	31	0.0	19.4	0.0	54.8	0.0	6.5	0.0	19.4
F 2 年齢	20代	130	0.8	53.1	2.3	32.3	0.8	2.3	0.8	7.7
	30代	236	1.7	58.5	1.3	27.5	0.8	2.5	1.3	6.4
	40代	186	1.1	55.4	2.2	36.6	0.0	0.5	1.6	2.7
	50代	199	1.0	38.7	3.5	43.2	0.0	1.0	1.0	11.6
	60代	211	1.9	33.2	1.9	48.8	0.9	3.3	0.5	9.5
	70代以上	216	3.7	26.4	0.9	39.4	0.5	0.5	0.5	28.2
	無回答	23	0.0	13.0	0.0	60.9	0.0	8.7	0.0	17.4
F 3 居住地域	青木	90	2.2	37.8	3.3	42.2	2.2	2.2	0.0	10.0
	大口七島	73	0.0	43.8	1.4	41.1	0.0	2.7	0.0	11.0
	片倉三枚	106	0.0	50.0	0.9	33.0	0.9	0.9	0.0	14.2
	神奈川ヶ谷	136	1.5	51.5	2.2	30.9	0.7	2.2	1.5	9.6
	神ノ木西寺尾	78	3.8	42.3	5.1	34.6	2.6	2.6	0.0	9.0
	子安入江	108	0.9	51.9	0.0	33.3	0.0	1.9	0.0	12.0
	白幡浦島丘	65	1.5	41.5	0.0	35.4	0.0	0.0	0.0	21.5
	神西神北	79	2.5	44.3	0.0	38.0	0.0	2.5	1.3	11.4
	神大寺	62	1.6	43.5	0.0	41.9	0.0	1.6	1.6	9.7
	菅田	86	3.5	34.9	2.3	45.3	0.0	1.2	1.2	11.6
	羽沢	81	2.5	37.0	0.0	39.5	0.0	0.0	1.2	19.8
	松見	66	0.0	45.5	1.5	36.4	0.0	3.0	4.5	9.1
	三ツ沢	84	3.6	36.9	3.6	51.2	0.0	0.0	0.0	4.8
	六角橋	62	1.6	41.9	8.1	33.9	0.0	3.2	3.2	8.1
	無回答	25	0.0	12.0	0.0	68.0	0.0	8.0	0.0	12.0

② 社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)

<男女別>

・男女とも「学校・地域・家庭の協働」が最も多い。「地域が進める」は男性が女性より 3.0 ポイント数値が高く、「民間企業や NPO が進める」は女性が男性より 5.1 ポイント数値が高くなっている。

<年齢別>

・いずれの世代でも「学校・地域・家庭の協働」が最も多い。「学校が進める」と「地域が進める」と「区役所が進める」は若い年代の方が数値が高い傾向にあり、「民間企業や NPO が進める」は 40 代から 50 代で他の年代よりやや数値が高くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「学校・地域・家庭の協働」が最も多くなっている。「区役所と地域の協働」は「青木」と「片倉三枚」で他の地域より値がやや高くなっており、「民間企業や NPO が進める」は「神奈川幸々谷」と「神大寺」と「三ツ沢」で、他の地域よりやや数値が高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<実施主体>

－② 社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)－

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの
社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)

		全体	家庭が進める	学校が進める	地域が進める	学校・地域・家庭の協働	区役所が進める	区役所と地域の協働	民間企業やNPOが進める	無回答
全体		1,201	13	127	124	399	19	167	188	164
		100.0	1.1	10.6	10.3	33.2	1.6	13.9	15.7	13.7
F 1 性別	男性	444	0.9	10.4	12.4	32.7	1.8	14.4	12.8	14.6
	女性	726	1.2	10.5	9.4	33.5	1.5	13.5	17.9	12.5
	無回答	31	0.0	16.1	3.2	35.5	0.0	16.1	3.2	25.8
F 2 年齢	20代	130	0.8	10.0	12.3	37.7	2.3	13.1	16.2	7.7
	30代	236	0.0	12.7	15.3	31.8	3.4	14.0	16.1	6.8
	40代	186	1.6	13.4	5.9	36.0	0.5	14.5	19.4	8.6
	50代	199	2.0	9.0	8.5	35.7	0.5	13.6	18.6	12.1
	60代	211	0.0	8.5	8.5	34.1	2.4	18.5	15.6	12.3
	70代以上	216	2.3	9.3	12.0	25.9	0.5	9.3	10.2	30.6
	無回答	23	0.0	13.0	0.0	39.1	0.0	17.4	4.3	26.1
F 3 居住地域	青木	90	1.1	6.7	8.9	26.7	2.2	22.2	15.6	16.7
	大口七島	73	1.4	15.1	12.3	35.6	0.0	13.7	11.0	11.0
	片倉三枚	106	1.9	6.6	12.3	32.1	0.0	20.8	16.0	10.4
	神奈川幸々谷	136	1.5	8.1	13.2	31.6	1.5	11.8	20.6	11.8
	神ノ木西寺尾	78	1.3	12.8	6.4	44.9	1.3	6.4	14.1	12.8
	子安入江	108	0.0	13.0	11.1	32.4	2.8	14.8	12.0	13.9
	白幡浦島丘	65	3.1	13.8	9.2	33.8	1.5	10.8	7.7	20.0
	神西神北	79	0.0	11.4	7.6	36.7	2.5	17.7	10.1	13.9
	神大寺	62	0.0	8.1	8.1	27.4	1.6	16.1	25.8	12.9
	菅田	86	0.0	5.8	11.6	30.2	2.3	11.6	17.4	20.9
	羽沢	81	1.2	16.0	11.1	29.6	0.0	11.1	13.6	17.3
	松見	66	0.0	16.7	12.1	36.4	1.5	9.1	15.2	9.1
	三ツ沢	84	2.4	10.7	7.1	32.1	2.4	15.5	21.4	8.3
	六角橋	62	1.6	8.1	14.5	35.5	3.2	8.1	19.4	9.7
無回答	25	0.0	8.0	0.0	44.0	0.0	16.0	8.0	24.0	

③ 中学生・高校生と地域の交流を増やす

<男女別>

・男女とも「学校・地域・家庭の協働」が4割を超え最も多く、次いで「地域が進める」が多く、どちらも女性が男性より3.1ポイント数値が高くなっている。

<年齢別>

・いずれの世代でも「学校・地域・家庭の協働」が最も多くなっており、40代から60代の数値がやや高くなっている。また、「地域が進める」は若い年代の方が数値が高い傾向にある。

<地域別>

・いずれの地域でも「学校・地域・家庭の協働」が最も多くなっている。「地域が進める」は「神西神北」と「六角橋」で他の地域より値がやや高くなっており、「区役所と地域の協働」は「神ノ木西寺尾」と「神大寺」で、他の地域より数値がやや高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<実施主体>

－③ 中学生・高校生と地域の交流を増やす－

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの

中学生・高校生と地域の交流を増やす

		全体	家庭が進める	学校が進める	地域が進める	学校・地域・家庭の協働	区役所が進める	区役所と地域の協働	民間企業やNPOが進める	無回答
全体		1,201	27	91	200	503	15	114	12	239
		100.0	2.2	7.6	16.7	41.9	1.2	9.5	1.0	19.9
F 1 性別	男性	444	1.8	11.7	15.1	40.1	1.4	9.2	1.1	19.6
	女性	726	2.5	4.8	18.2	43.0	1.2	9.6	0.7	20.0
	無回答	31	3.2	12.9	3.2	41.9	0.0	9.7	6.5	22.6
F 2 年齢	20代	130	2.3	3.8	20.0	39.2	3.1	11.5	1.5	18.5
	30代	236	3.0	6.4	22.0	38.6	1.7	10.2	3.0	15.3
	40代	186	1.1	7.5	17.7	44.1	1.1	9.7	0.5	18.3
	50代	199	3.0	9.0	16.1	43.2	0.0	9.5	0.0	19.1
	60代	211	1.4	7.6	14.7	48.3	1.4	10.4	0.5	15.6
	70代以上	216	2.8	9.3	11.6	37.5	0.9	6.0	0.0	31.9
	無回答	23	0.0	13.0	4.3	43.5	0.0	13.0	4.3	21.7
F 3 居住地域	青木	90	3.3	10.0	13.3	42.2	2.2	11.1	0.0	17.8
	大口七島	73	1.4	8.2	17.8	42.5	1.4	8.2	1.4	19.2
	片倉三枚	106	1.9	6.6	18.9	40.6	0.0	8.5	0.9	22.6
	神奈川幸ヶ谷	136	5.1	4.4	19.9	39.0	2.9	8.8	1.5	18.4
	神ノ木西寺尾	78	3.8	9.0	15.4	41.0	1.3	14.1	1.3	14.1
	子安入江	108	3.7	3.7	16.7	37.0	0.9	13.9	0.0	24.1
	白幡浦島丘	65	0.0	6.2	18.5	44.6	1.5	3.1	3.1	23.1
	神西神北	79	0.0	7.6	20.3	44.3	1.3	5.1	1.3	20.3
	神大寺	62	0.0	4.8	19.4	37.1	0.0	16.1	1.6	21.0
	菅田	86	0.0	11.6	14.0	43.0	1.2	9.3	1.2	19.8
	羽沢	81	6.2	8.6	14.8	33.3	1.2	6.2	0.0	29.6
	松見	66	1.5	10.6	12.1	45.5	3.0	10.6	0.0	16.7
	三ツ沢	84	0.0	10.7	11.9	56.0	0.0	8.3	0.0	13.1
	六角橋	62	1.6	4.8	22.6	43.5	0.0	9.7	1.6	16.1
	無回答	25	0.0	12.0	8.0	44.0	0.0	8.0	4.0	24.0

④ 家庭で子どもの自立をうながす

<男女別>

・男女とも「家庭が進める」が7割を超え最も多く、男性が女性よりやや数値が高くなっている。
次いで「学校・地域・家庭の協働」が多く、女性が男性よりやや数値が高くなっている。

<年齢別>

・いずれの世代でも「家庭が進める」が最も多くなっており、30代から50代の数値がやや高くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「家庭が進める」が最も多くなっており、特に「青木」と「神大寺」と「三ツ沢」と「六角橋」で他の地域より値がやや高くなっている。「学校・地域・家庭の協働」は「神ノ木西寺尾」と「松見」で、他の地域よりやや数値が高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<実施主体>

－④ 家庭で子どもの自立をうながす－

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの
家庭で子どもの自立をうながす

		全体	家庭が進める	学校が進める	地域が進める	学校・地域・家庭の協働	区役所が進める	区役所と地域の協働	民間企業やNPOが進める	無回答
全体		1,201	851	17	4	182	0	3	5	139
		100.0	70.9	1.4	0.3	15.2	0.0	0.2	0.4	11.6
F 1 性別	男性	444	72.5	2.0	0.5	13.1	0.0	0.5	0.5	11.0
	女性	726	70.4	1.1	0.3	16.4	0.0	0.1	0.3	11.4
	無回答	31	58.1	0.0	0.0	16.1	0.0	0.0	3.2	22.6
F 2 年齢	20代	130	68.5	3.8	0.0	17.7	0.0	0.0	2.3	7.7
	30代	236	75.4	0.4	0.4	14.0	0.0	0.8	0.0	8.9
	40代	186	78.5	0.5	0.5	14.5	0.0	0.0	0.0	5.9
	50代	199	72.9	2.0	0.5	15.1	0.0	0.0	0.5	9.0
	60代	211	68.7	1.4	0.5	18.5	0.0	0.5	0.0	10.4
	70代以上	216	61.1	1.4	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	25.5
	無回答	23	69.6	0.0	0.0	17.4	0.0	0.0	4.3	8.7
F 3 居住地域	青木	90	78.9	0.0	0.0	8.9	0.0	0.0	2.2	10.0
	大口七島	73	65.8	4.1	1.4	17.8	0.0	0.0	0.0	11.0
	片倉三枚	106	73.6	0.0	0.0	13.2	0.0	0.9	0.0	12.3
	神奈川幸ヶ谷	136	66.9	2.9	0.0	18.4	0.0	0.7	0.7	10.3
	神ノ木西寺尾	78	66.7	1.3	0.0	21.8	0.0	0.0	0.0	10.3
	子安入江	108	71.3	0.0	0.0	15.7	0.0	0.0	0.0	13.0
	白幡浦島丘	65	63.1	4.6	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	16.9
	神西神北	79	69.6	1.3	0.0	11.4	0.0	0.0	0.0	17.7
	神大寺	62	75.8	1.6	0.0	11.3	0.0	0.0	0.0	11.3
	菅田	86	68.6	1.2	1.2	11.6	0.0	0.0	1.2	16.3
	羽沢	81	69.1	1.2	2.5	9.9	0.0	0.0	0.0	17.3
	松見	66	69.7	1.5	0.0	22.7	0.0	1.5	0.0	4.5
	三ツ沢	84	77.4	1.2	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1
	六角橋	62	79.0	0.0	0.0	17.7	0.0	0.0	0.0	3.2
	無回答	25	64.0	0.0	0.0	24.0	0.0	0.0	4.0	8.0

⑤ 放課後気軽に集まれる場所の確保

<男女別>

・男女とも「学校・地域・家庭の協働」が2割を超え最も多く、男性が女性よりやや数値が高くなっている。次いで「区役所と地域の協働」が多く、女性が男性よりやや数値が高くなっている。

<年齢別>

・いずれの世代でも「学校・地域・家庭の協働」が2割前後で多くなっているが、30代では「地域が進める」の方が数値がやや高くなっている。また「学校で進める」は、高い年代で数値が高い傾向にある。

<地域別>

・「区役所と地域の協働」が「片倉三枚」と「白幡浦島丘」と「神大寺」と「菅田」と「三ツ沢」で最も多くなっており、それ以外の地域は「学校・地域・家庭の協働」が最も多くなっている。また、「学校が進める」は「神西神北」が他の地域より値がやや高く、「地域が進める」は「六角橋」で、他の地域よりやや数値が高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<実施主体>

－⑤ 放課後気軽に集まれる場所の確保－

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの
放課後気軽に集まれる場所の確保

		全体	家庭が進める	学校が進める	地域が進める	学校・地域・家庭の協働	区役所が進める	区役所と地域の協働	民間企業やNPOが進める	無回答
全体		1,201	24	98	155	264	29	207	38	386
		100.0	2.0	8.2	12.9	22.0	2.4	17.2	3.2	32.1
F 1 性別	男性	444	2.9	10.4	12.6	23.4	3.2	15.1	3.8	28.6
	女性	726	1.5	6.3	13.4	20.9	2.1	19.0	2.9	33.9
	無回答	31	0.0	19.4	6.5	25.8	0.0	6.5	0.0	41.9
F 2 年齢	20代	130	3.8	3.8	13.8	23.1	3.8	15.4	4.6	31.5
	30代	236	2.1	2.5	20.8	19.9	1.7	19.5	4.7	28.8
	40代	186	3.2	6.5	9.7	22.6	6.5	15.1	4.3	32.3
	50代	199	3.0	10.6	9.0	19.6	1.5	19.1	3.0	34.2
	60代	211	0.9	10.0	14.7	26.1	0.5	19.9	0.9	27.0
	70代以上	216	0.0	13.0	9.3	21.3	1.9	14.4	2.3	38.0
	無回答	23	0.0	21.7	4.3	21.7	0.0	8.7	0.0	43.5
F 3 居住地域	青木	90	1.1	6.7	15.6	20.0	3.3	18.9	1.1	33.3
	大口七島	73	2.7	9.6	9.6	20.5	2.7	15.1	0.0	39.7
	片倉三枚	106	1.9	5.7	14.2	19.8	0.9	24.5	1.9	31.1
	神奈川幸ヶ谷	136	2.2	3.7	13.2	19.9	2.9	19.1	5.1	33.8
	神ノ木西寺尾	78	2.6	9.0	17.9	30.8	1.3	14.1	1.3	23.1
	子安入江	108	2.8	7.4	11.1	22.2	2.8	13.0	4.6	36.1
	白幡浦島丘	65	1.5	9.2	7.7	23.1	0.0	24.6	4.6	29.2
	神西神北	79	2.5	11.4	8.9	29.1	5.1	8.9	3.8	30.4
	神大寺	62	3.2	9.7	12.9	12.9	6.5	22.6	4.8	27.4
	菅田	86	1.2	8.1	9.3	19.8	1.2	19.8	3.5	37.2
	羽沢	81	4.9	6.2	12.3	21.0	1.2	14.8	3.7	35.8
	松見	66	1.5	9.1	15.2	27.3	3.0	10.6	1.5	31.8
	三ツ沢	84	0.0	9.5	15.5	20.2	2.4	21.4	2.4	28.6
	六角橋	62	0.0	9.7	21.0	24.2	0.0	16.1	6.5	22.6
	無回答	25	0.0	24.0	4.0	20.0	4.0	4.0	0.0	44.0

⑥ 大人が模範意識を向上させる

＜男女別＞

・男女とも「学校・地域・家庭の協働」が3割を超え最も多く、女性が男性より7.5ポイント高くなっている。次いで「家庭が進める」が多く、男性が女性よりやや数値が高くなっている。

＜年齢別＞

・どの世代でも「学校・地域・家庭の協働」が3割前後で多くなっているが、次いで「家庭が進める」が多くなっている。どちらも若い年代ほど数値が高い傾向にある。

＜地域別＞

・いずれの地域でも「学校・地域・家庭の協働」が最も多くなっており、特に「神ノ木西寺尾」と「松見」で、他の地域よりやや数値が高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの＜実施主体＞

－⑥ 大人が模範意識を向上させる－

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの
大人が模範意識を向上させる

		全体	家庭が進める	学校が進める	地域が進める	学校・地域・家庭の協働	区役所が進める	区役所と地域の協働	民間企業やNPOが進める	無回答
全体		1,201	275	12	135	428	13	94	55	189
		100.0	22.9	1.0	11.2	35.6	1.1	7.8	4.6	15.7
F 1 性別	男性	444	25.7	1.6	14.4	31.1	0.7	7.4	4.1	15.1
	女性	726	20.8	0.7	9.5	38.6	1.4	8.4	4.8	15.8
	無回答	31	32.3	0.0	6.5	32.3	0.0	0.0	6.5	22.6
F 2 年齢	20代	130	29.2	0.8	7.7	39.2	3.1	6.2	3.8	10.0
	30代	236	26.7	2.1	11.0	39.0	0.8	6.8	5.5	8.1
	40代	186	23.7	1.1	11.8	38.7	1.1	7.0	4.8	11.8
	50代	199	20.6	0.5	10.1	37.2	1.0	10.6	5.0	15.1
	60代	211	17.5	0.5	15.6	36.0	0.9	10.0	4.7	14.7
	70代以上	216	19.4	0.9	10.6	25.5	0.5	6.9	3.2	32.9
	無回答	23	43.5	0.0	4.3	34.8	0.0	0.0	4.3	13.0
F 3 居住地域	青木	90	23.3	0.0	13.3	34.4	0.0	12.2	6.7	10.0
	大口七島	73	16.4	1.4	11.0	38.4	1.4	8.2	2.7	20.5
	片倉三枚	106	25.5	0.0	14.2	30.2	2.8	7.5	2.8	17.0
	神奈川ヶ谷	136	25.0	0.0	8.8	37.5	0.7	8.8	5.9	13.2
	神ノ木西寺尾	78	23.1	1.3	14.1	42.3	0.0	7.7	2.6	9.0
	子安入江	108	22.2	0.0	9.3	37.0	0.0	6.5	7.4	17.6
	白幡浦島丘	65	26.2	0.0	10.8	26.2	0.0	7.7	3.1	26.2
	神西神北	79	19.0	1.3	16.5	32.9	0.0	10.1	3.8	16.5
	神大寺	62	25.8	1.6	12.9	35.5	1.6	8.1	3.2	11.3
	菅田	86	23.3	2.3	9.3	36.0	0.0	8.1	2.3	18.6
	羽沢	81	22.2	2.5	7.4	35.8	1.2	4.9	4.9	21.0
	松見	66	15.2	1.5	12.1	42.4	3.0	7.6	4.5	13.6
	三ツ沢	84	23.8	2.4	9.5	38.1	2.4	6.0	6.0	11.9
	六角橋	62	21.0	1.6	12.9	32.3	3.2	8.1	6.5	14.5
	無回答	25	40.0	0.0	4.0	32.0	0.0	0.0	4.0	20.0

⑦ 地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる

<男女別>

・男女とも「学校・地域・家庭の協働」が3割前後で最も多く、女性が男性より4.7ポイント高くなっている。次いで「区役所と地域の協働」が多くなっている。

<年齢別>

・どの世代でも「学校・地域・家庭の協働」が3割前後で多くっており、年齢による差はない。

<地域別>

・「青木」で「区役所と地域の協働」が最も多く、「子安入江」で「区役所と地域の協働」と「学校・地域・家庭の協働」が同率で高く、その他の地域では「学校・地域・家庭の協働」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの<実施主体>

一⑦ 地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、重要だと思うもの
地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる

		全体	家庭が進める	学校が進める	地域が進める	学校・地域・家庭の協働	区役所が進める	区役所と地域の協働	民間企業やNPOが進める	無回答
全体		1,201 100.0	33 2.7	30 2.5	157 13.1	371 30.9	24 2.0	225 18.7	77 6.4	284 23.6
F 1 性別	男性	444	2.9	3.4	18.0	27.9	1.8	18.5	5.6	21.8
	女性	726	2.8	1.9	9.8	32.6	2.1	19.1	6.9	24.8
	無回答	31	0.0	3.2	19.4	32.3	3.2	12.9	6.5	22.6
F 2 年齢	20代	130	3.1	3.1	16.9	29.2	3.1	19.2	6.9	18.5
	30代	236	4.2	1.7	13.1	32.2	1.3	22.9	6.4	18.2
	40代	186	3.2	2.7	10.2	29.6	3.8	22.6	7.0	21.0
	50代	199	2.0	3.0	8.0	34.2	1.5	19.6	7.5	24.1
	60代	211	2.4	1.9	17.1	35.1	1.9	16.1	4.7	20.9
	70代以上	216	1.9	2.8	13.4	24.5	0.9	12.5	6.0	38.0
	無回答	23	0.0	4.3	17.4	30.4	4.3	17.4	8.7	17.4
F 3 居住地域	青木	90	2.2	3.3	15.6	23.3	0.0	24.4	10.0	21.1
	大口七島	73	1.4	2.7	6.8	30.1	1.4	20.5	9.6	27.4
	片倉三枚	106	0.9	2.8	9.4	34.0	0.9	21.7	9.4	20.8
	神奈川ヶ谷	136	2.2	3.7	11.8	31.6	3.7	18.4	5.1	23.5
	神ノ木西寺尾	78	5.1	2.6	16.7	34.6	2.6	14.1	2.6	21.8
	子安入江	108	3.7	0.0	13.0	25.0	1.9	25.0	5.6	25.9
	白幡浦島丘	65	6.2	3.1	9.2	23.1	0.0	18.5	9.2	30.8
	神西神北	79	2.5	3.8	17.7	26.6	2.5	17.7	3.8	25.3
	神大寺	62	0.0	1.6	19.4	33.9	0.0	22.6	1.6	21.0
	菅田	86	1.2	3.5	15.1	33.7	2.3	12.8	7.0	24.4
	羽沢	81	6.2	0.0	9.9	29.6	2.5	17.3	7.4	27.2
	松見	66	0.0	3.0	12.1	37.9	1.5	22.7	6.1	16.7
	三ツ沢	84	7.1	0.0	10.7	40.5	1.2	14.3	3.6	22.6
	六角橋	62	0.0	4.8	16.1	29.0	6.5	11.3	8.1	24.2
	無回答	25	0.0	4.0	20.0	32.0	4.0	12.0	8.0	20.0

問6 問5の③「中学生・高校生と地域の交流」についておたずねします。中学生・高校生に、地域で担って欲しいと思う役割や行って欲しいことは何ですか。(〇はいくつでも)

- ・ 「公園の清掃等の美化活動」が52.6%、「福祉ボランティア（高齢者のためのごみ出しなど）」が52.0%と多く、「まつりなど地域の行事」（47.3%）、「高齢者との交流」（45.9%）、「災害時のボランティア」（44.9%）と続く。以下、「障害児者との交流」（32.8%）、「小学生・未就学児との交流」（26.6%）、「防犯活動（防犯パトロールなど）」（18.2%）、「その他」（2.1%）となっている。
- ・ 「その他」2.1%のうち、22件に具体的記述があり、計22件の意見が挙げられた。最も多かったのは「職業体験（社会の仕組みが理解できるような区役所や企業へ）」と「老人ホーム訪問やボランティアへの参加」が3件ずつ、次いで「自分が楽しんで自主性を出せるものを見つけること」「地域活動への参加（町内会の行事・運動会・スポーツ大会）」「部活や勉強など普通にやること」「犯罪・薬物・性について学ぶ機会」がそれぞれ2件ずつなどとなっている。

図 中学生・高校生に、地域で担って欲しいと思う役割や行って欲しいこと(複数回答)

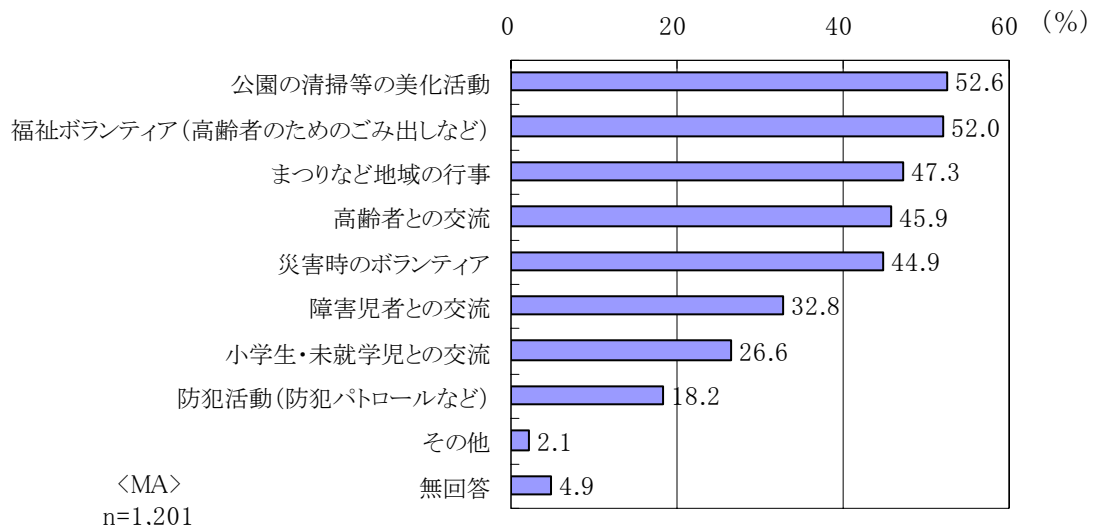


図 「その他」意見内容

意見内容	件数
職業体験（社会の仕組みが理解できるような区役所や企業へ）	3
老人ホーム訪問やボランティアへの参加	3
自分が楽しんで自主性を出せるものを見つけること	2
地域活動への参加（町内会の行事・運動会・スポーツ大会）	2
部活や勉強など普通にやること	2
犯罪・薬物・性について学ぶ機会	2
色々な人との交流	1
海外交流	1
学校周り、通学路の清掃	1
自然体でいい	1
スポーツ等のクラブチームに参加	1
農作業など達成感の得られるもの	1
福祉サービスのポスター作り等	1
母校の行事に参加させて欲しい	1
計	22

■ 男女・年齢・地域別 中・高校生に、地域で担って欲しいと思う役割や行って欲しいこと(複数回答)

(問6× F1, F2, F3)

<男女別>

・男性は「公園の清掃等の美化活動」が最も多く 52.7%、次いで「まつりなど、地域の行事」が 48.4%、「福祉ボランティア (高齢者のためのごみ出し)」45.3%の順に続く。女性は「福祉ボランティア (高齢者のためのごみ出し)」が最も多く 56.2%、次いで「公園の清掃等の美化活動」が 52.3%、「高齢者との交流」48.3%の順に続く。

<年齢別>

・20代と40代と70代以上では「公園の清掃等の美化活動」が最も多く、30代と50代と60代では「福祉ボランティア (高齢者のためのごみ出し)」が最も多くなっている。また、「災害時のボランティア」は高い年代ほど、「高齢者との交流」は若い年代ほど数値が高い傾向にある。

<地域別>

・「まつりなど地域の行事」は「三ツ沢」が、「公園の清掃等の美化活動」は「神西神北」と「神大寺」が、「災害時のボランティア」は「神ノ木西寺尾」が、「防犯活動 (防犯パトロールなど)」は「白幡浦島丘」が、「福祉ボランティア (高齢者のためのごみ出し)」は「三ツ沢」が、「高齢者との交流」は「神奈川幸ヶ谷」が、「小学生・未就学児との交流」は「神奈川幸ヶ谷」と「神西神北」と「松見」が、「障害児との交流」は「三ツ沢」と「六角橋」で、他の地域よりやや高い数値となっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生に、地域で担って欲しいと思う役割や行って欲しいこと(複数回答)

問6 中学生・高校生に、地域で担って欲しいと思う役割や行って欲しいこと (複数回答)

	全体	まつりなど地域の行事	公園の清掃等の美化活動	災害時のボランティア	防犯活動 (防犯パトロールなど)	福祉ボランティア (高齢者のためのごみ出し)	高齢者との交流	小学生・未就学児との交流	障害児との交流	その他	無回答	
全体	1,201	568	632	539	219	624	551	319	394	25	59	
	—	47.3	52.6	44.9	18.2	52.0	45.9	26.6	32.8	2.1	4.9	
F1	男性	444	48.4	52.7	39.9	16.9	45.3	42.6	24.1	30.2	2.3	5.6
性別	女性	726	47.2	52.3	47.7	18.7	56.2	48.3	28.2	34.2	1.9	4.3
	無回答	31	32.3	58.1	51.6	25.8	48.4	35.5	22.6	38.7	3.2	9.7
F2	20代	130	51.5	53.1	39.2	10.8	44.6	52.3	29.2	30.8	3.8	3.1
年齢	30代	236	45.8	53.0	32.6	14.8	53.8	50.8	34.7	30.9	3.0	1.3
	40代	186	48.4	54.8	38.7	14.5	51.6	45.7	31.2	32.8	3.2	1.1
	50代	199	45.7	51.3	47.2	18.1	56.3	42.7	23.1	32.2	0.5	4.0
	60代	211	52.1	52.1	55.0	27.5	58.3	47.4	21.8	37.9	0.5	5.2
	70代以上	216	43.1	50.5	53.2	19.0	44.4	39.4	19.4	31.0	1.9	13.9
	無回答	23	39.1	65.2	60.9	34.8	52.2	34.8	30.4	39.1	4.3	4.3
F3	青木	90	52.2	53.3	42.2	15.6	46.7	42.2	26.7	37.8	0.0	4.4
居住地域	大口七島	73	50.7	53.4	47.9	20.5	56.2	37.0	27.4	35.6	2.7	4.1
	片倉三枚	106	41.5	53.8	48.1	20.8	54.7	39.6	26.4	32.1	2.8	5.7
	神奈川幸ヶ谷	136	45.6	54.4	34.6	15.4	51.5	59.6	30.1	33.8	2.2	5.9
	神ノ木西寺尾	78	53.8	51.3	55.1	21.8	51.3	52.6	26.9	34.6	3.8	2.6
	子安入江	108	50.0	50.0	36.1	15.7	52.8	48.1	24.1	28.7	1.9	5.6
	白幡浦島丘	65	40.0	47.7	41.5	26.2	53.8	36.9	23.1	35.4	0.0	13.8
	神西神北	79	43.0	58.2	46.8	11.4	48.1	41.8	30.4	24.1	2.5	6.3
	神大寺	62	45.2	59.7	46.8	11.3	43.5	50.0	22.6	25.8	3.2	4.8
	菅田	86	47.7	52.3	38.4	15.1	48.8	45.3	30.2	34.9	1.2	4.7
	羽沢	81	45.7	45.7	50.6	21.0	49.4	28.4	16.0	24.7	2.5	7.4
	松見	66	51.5	53.0	45.5	16.7	54.5	48.5	30.3	24.2	1.5	1.5
	三ツ沢	84	56.0	53.6	52.4	21.4	61.9	51.2	27.4	40.5	3.6	0.0
	六角橋	62	43.5	46.8	50.0	21.0	53.2	56.5	29.0	45.2	1.6	1.6
	無回答	25	32.0	60.0	56.0	32.0	52.0	40.0	24.0	40.0	0.0	4.0

問7 問5の⑦「地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる」についておたずねします。地域でこうした役割を担う人は、どのように中学生・高校生に関わるのが望ましいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 「まつりなど地域の行事と一緒に参加する」が最も多く 48.9%の人が挙げている。次いで「通学時のほか日常生活の中での見守りや積極的な声かけを行う」(42.8%)、「遊びや活動のリーダーとして関わる」(33.8%)、「青少年指導員や体育指導員として関わる」(32.2%)、「その他」(3.9%)の順となっている。
- 「その他」3.9%のうち、44件に具体的記述があり、計45件の意見が挙げられた。最も多かったのは「指導ではなく、話を聞く関わり方」とする意見で10件であった。次いで「スクールカウンセラー」が5件などとなっている。

図 中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人の関わり方(複数回答)

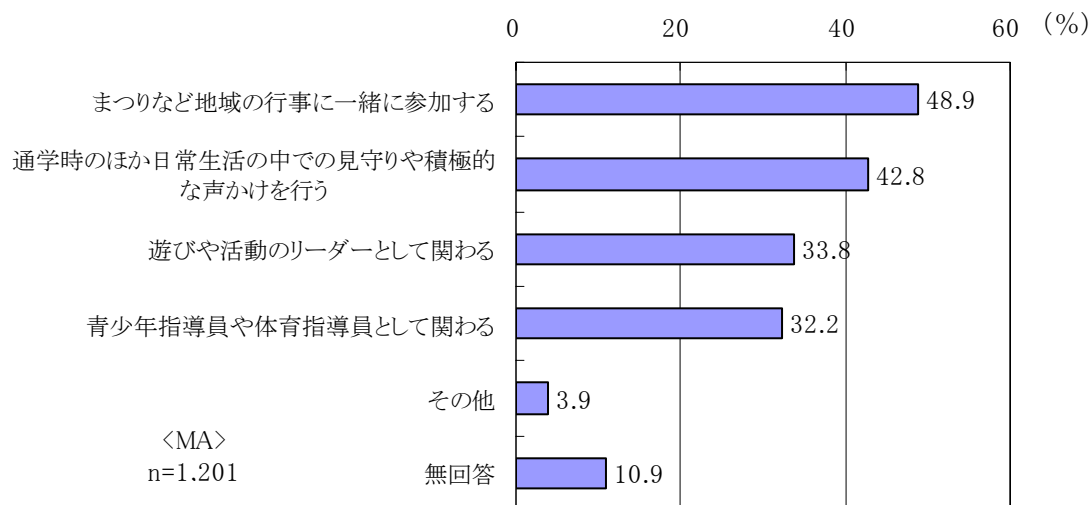


図 「その他」意見内容

意見内容	件数	意見内容	件数
指導ではなく、話を聞く関わり方	10	学校の中で地域の人が相談にのる	1
スクールカウンセラー	5	近所のお店の人	1
学校	2	形式ではなく家庭的に付き合える人	1
学校の授業に取り入れ関わる	2	叱れる親を育てる教育を区がするべき	1
経験豊か、優れた技術を持つ人達との交流	2	伝承できるような職業体験	1
地域のシニアが相談員として話を聞く場を作る	2	特に必要ない	1
電話やメールでの相談ボランティア	2	ネットが相談場になっていることが問題	1
ボランティア	2	話したい時に話せること	1
まずは挨拶ができるようにする	2	話を聞いてあげ方のセミナー開催	1
精神面、家庭面の相談窓口	2	部活・スポーツがよい	1
医療関係者	1	良識のない大人を正す	1
親の責任	1	労働の意義を教える	1
		計	45

■ 男女・年齢・地域別 中・高校生に、地域で担って欲しいと思う役割や行って欲しいこと(複数回答)

(問7× F1, F2, F3)

<男女別>

・男女とも「まつりなど地域の行事と一緒に参加する」が最も多く、次いで「通学時のほか日常生活の中での見守りや積極的な声かけを行う」が多くなっており、男女による大きな差はみられない。

<年齢別>

・いずれの年代でも「まつりなど地域の行事と一緒に参加する」が4割から5割を占め多く、次いで「通学時のほか日常生活の中での見守りや積極的な声かけを行う」が多くなっており、年齢による大きな差はみられない。

<地域別>

・いずれの地域でも「まつりなど地域の行事と一緒に参加する」が最も多く、次いで「通学時のほか日常生活の中での見守りや積極的な声かけを行う」が多くなっている。また「青少年指導員や体育指導員として関わる」は「片倉三枚」で、「遊びや活動のリーダーとして関わる」は「神奈川幸ヶ谷」と「松見」と「六角橋」で、他の地域よりやや数値が高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 中・高校生に、地域で担って欲しいと思う役割や行って欲しいこと(複数回答)

問7 中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人の関わり方 (複数回答)

		全体	まつりなど地域の行事と一緒に参加する	遊びや活動のリーダーとして関わる	青少年指導員や体育指導員として関わる	通学時のほか日常生活の中での見守りや積極的な声かけを行う	その他	無回答
全 体		1,201	587	406	387	514	47	131
		—	48.9	33.8	32.2	42.8	3.9	10.9
F 1 性別	男性	444	49.8	30.2	32.0	39.4	4.3	10.4
	女性	726	48.3	36.2	32.6	44.8	3.9	10.9
	無回答	31	48.4	29.0	25.8	45.2	0.0	19.4
F 2 年齢	20代	130	59.2	33.1	29.2	37.7	6.2	4.6
	30代	236	50.4	33.9	31.4	38.6	5.1	4.7
	40代	186	44.1	30.6	32.8	43.0	6.5	8.1
	50代	199	44.7	36.7	29.1	45.2	3.5	10.1
	60代	211	55.0	36.5	39.3	46.9	1.9	10.9
	70代以上	216	43.1	31.5	31.5	43.1	1.9	24.5
	無回答	23	47.8	34.8	21.7	52.2	0.0	13.0
F 3 居住地域	青木	90	50.0	36.7	35.6	38.9	7.8	13.3
	大口七島	73	43.8	38.4	37.0	50.7	5.5	8.2
	片倉三枚	106	43.4	29.2	42.5	40.6	6.6	8.5
	神奈川幸ヶ谷	136	49.3	39.7	30.1	38.2	2.9	10.3
	神ノ木西寺尾	78	52.6	24.4	32.1	43.6	2.6	12.8
	子安入江	108	52.8	25.9	38.0	37.0	2.8	11.1
	白幡浦島丘	65	47.7	27.7	27.7	46.2	0.0	16.9
	神西神北	79	46.8	27.8	29.1	39.2	3.8	15.2
	神大寺	62	50.0	37.1	21.0	56.5	4.8	8.1
	菅田	86	54.7	39.5	29.1	44.2	4.7	8.1
	羽沢	81	40.7	30.9	33.3	44.4	3.7	14.8
	松見	66	56.1	39.4	34.8	39.4	3.0	7.6
	三ツ沢	84	52.4	38.1	31.0	48.8	3.6	8.3
	六角橋	62	45.2	40.3	25.8	35.5	3.2	8.1
無回答	25	44.0	32.0	20.0	56.0	0.0	16.0	

2. 防災について

問8 あなたの家庭では、地震災害に対してどのような備えを行っていますか。(〇はいくつでも)

- ・ 「ラジオ、懐中電灯等の防災グッズを備蓄している」が66.2%と最も多く、次いで「消火器を設置している」が53.3%、「水・食料を備蓄している」50.4%と半数以上の人が挙げており、この3点が多くなっている。以下「指定されている地域防災拠点を確認している」(39.7%)、「医薬品を備蓄している」(35.6%)、「家具の転倒防止のための器具等を設置している」(34.4%)、「家族等の中で集合場所を決めている」(28.4%)、「自宅を耐震化している、または耐震構造の住宅に住んでいる」(28.2%)、「通勤・通学先からの帰宅ルートを確認している」(16.7%)、「災害時に助け合えるような近所との関係をつくっている」(15.1%)、「家族等の中で安否確認の方法を決めている」(13.3%)、「ガラスに飛散防止フィルムを貼っている」(7.3%)、「特に備えは行っていない」は6.8%、「その他」(0.4%)の順となっている。
- ・ 「その他」0.4%のうち、具体的記述があった件数は5件であった。内容としては「高さのある家具を置かない」が2件、「耐震を考えて家を建替える」「消火器の使い方を指導する」「犬用のえさの備蓄」が挙げられた。

図 地震災害に対する備え(複数回答)

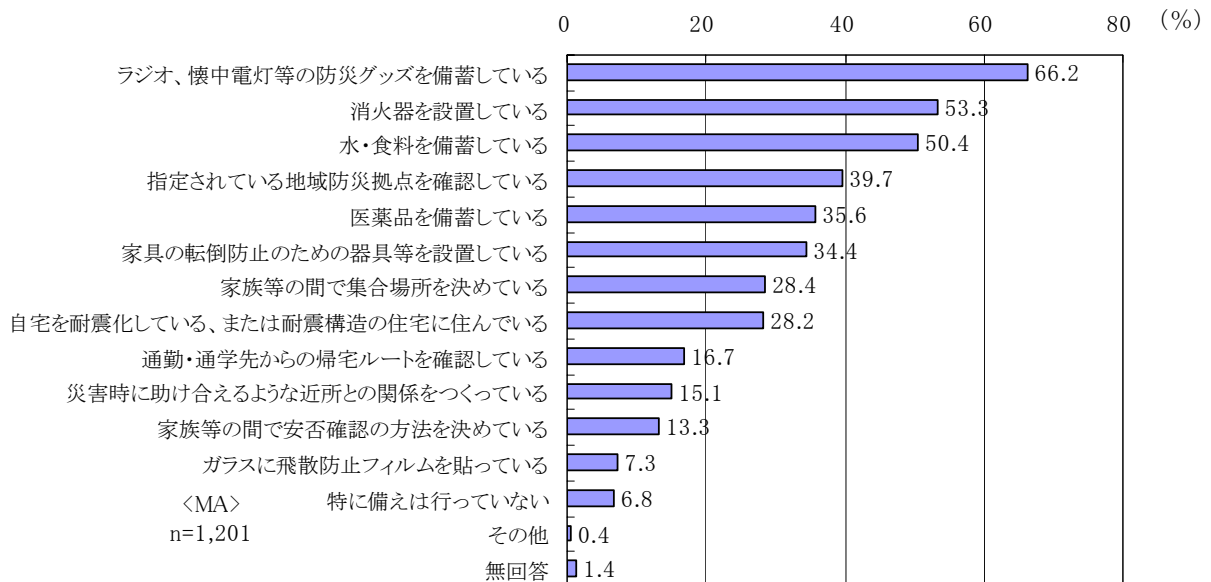


図 「その他」意見内容

意見内容	件数
高さのある家具を置かない	2
耐震を考えて家の建替えをする	1
消火器の使い方を指導する	1
犬用のえさの備蓄	1
計	5

■ 男女・年齢・地域別 地震災害に対するの備え(複数回答) (問8× F1, F2, F3)

<男女別>

・男女とも「ラジオ、懐中電灯等の防災グッズを備蓄している」が最も多く、次いで「消火器を設置している」、「水・食料を備蓄している」、「指定されている地域防災拠点を確認している」、「家具の転倒防止のための器具等を設置している」の順となっているが、全体的に男性より女性の方が数値が高い傾向にある。

<年齢別>

・いずれの年代でも「ラジオ、懐中電灯等の防災グッズを備蓄している」が最も多く、どの災害に対する備えも高い年代ほど数値が高い傾向になっている。また、「特に備えは行っていない」は、若い年代ほど数値が高い傾向にある。

<地域別>

・「消火器を設置している」は「大口七島」と「神奈川幸ヶ谷」で、「水・食料を備蓄している」は「白幡浦島丘」と「神大寺」で、「ラジオ、懐中電灯等の防災グッズを備蓄している」は「神奈川幸ヶ谷」で、「指定されている地域防災拠点を確認している」は「三ツ沢」と「六角橋」で他の地域より数値がやや高くなっている。

・「羽沢」では、「家具の転倒防止のための器具等を設置している」「消火器を設置している」「水・食料を備蓄している」「自宅を耐震化している、または耐震構造の住宅に住んでいる」「通勤・通学先からの帰宅ルートを確認している」の備えが他の地域より数値が低くなっている。

図 男女・年齢・地域別 地震災害に対するの備え(複数回答)

問8 地震災害に対するの備え(複数回答)

		全体	家具の転倒防止のための器具等設置している	ガラスに飛散防止フィルムを貼っている	消火器を設置している	水・食料を備蓄している	医薬品を備蓄している	ラジオ、懐中電灯等の防災グッズを備蓄している	自宅を耐震化している、または耐震構造の住宅に住んでいる	通勤・通学先からの帰宅ルートを確認している	家族等の間で集合場所を決めている	指定されている地域防災拠点を確認している	家族等の間で安否確認の方法を決めている	災害時に助け合えるような近所との関係をつくっている	特に備えは行っていない	その他	無回答
全体		1,201	413	88	640	605	428	795	339	201	341	477	160	181	82	5	17
		—	34.4	7.3	53.3	50.4	35.6	66.2	28.2	16.7	28.4	39.7	13.3	15.1	6.8	0.4	1.4
F1 性別	男性	444	33.3	7.0	52.7	45.9	32.7	65.3	25.0	17.8	24.8	35.1	11.3	11.5	8.3	0.2	1.6
	女性	726	35.3	7.7	54.0	53.6	37.7	66.5	30.2	16.3	30.4	43.1	14.9	16.9	5.9	0.6	1.0
	無回答	31	29.0	3.2	45.2	38.7	29.0	71.0	29.0	12.9	32.3	25.8	6.5	22.6	6.5	0.0	9.7
F2 年齢	20代	130	26.9	3.8	40.0	40.0	35.4	52.3	26.2	23.1	16.2	30.0	10.0	13.8	10.8	0.0	0.8
	30代	236	30.5	4.7	35.2	48.7	32.6	51.3	30.5	17.8	24.2	29.7	8.9	6.4	11.9	0.8	0.0
	40代	186	37.6	9.1	48.4	48.9	36.0	64.0	30.1	19.4	29.6	38.2	12.9	16.1	7.0	0.5	1.6
	50代	199	36.2	8.0	56.8	51.3	33.7	69.3	29.1	18.1	33.2	40.7	15.1	15.6	4.5	0.5	0.5
	60代	211	37.9	9.0	66.8	50.2	39.3	74.9	27.5	17.5	35.1	47.9	19.4	18.5	5.7	0.5	0.9
	70代以上	216	36.1	9.3	70.4	60.6	37.5	81.5	25.0	7.9	28.2	50.9	13.4	20.4	1.9	0.0	3.2
	無回答	23	26.1	0.0	39.1	34.8	30.4	65.2	30.4	13.0	30.4	21.7	8.7	17.4	8.7	0.0	13.0
F3 居住地域	青木	90	34.4	7.8	58.9	46.7	34.4	58.9	24.4	21.1	30.0	35.6	14.4	15.6	5.6	1.1	1.1
	大口七島	73	41.1	9.6	65.8	47.9	34.2	65.8	17.8	21.9	34.2	42.5	19.2	15.1	6.8	0.0	4.1
	片倉三枚	106	33.0	10.4	49.1	51.9	37.7	61.3	21.7	15.1	28.3	33.0	10.4	13.2	13.2	0.0	1.9
	神奈川幸ヶ谷	136	34.6	8.1	62.5	47.1	32.4	61.0	55.1	11.8	18.4	25.0	8.1	7.4	2.9	0.0	0.0
	神ノ木西寺尾	78	39.7	6.4	51.3	59.0	33.3	78.2	32.1	21.8	32.1	52.6	10.3	28.2	5.1	0.0	0.0
	子安入江	108	29.6	5.6	46.3	45.4	30.6	56.5	25.9	15.7	21.3	39.8	10.2	10.2	10.2	0.0	1.9
	白幡浦島丘	65	29.2	7.7	44.6	58.5	33.8	70.8	23.1	20.0	38.5	44.6	16.9	18.5	12.3	0.0	1.5
	神西神北	79	32.9	7.6	54.4	44.3	34.2	67.1	24.1	12.7	20.3	44.3	11.4	15.2	5.1	1.3	2.5
	神大寺	62	30.6	6.5	54.8	59.7	43.5	61.3	30.6	17.7	32.3	48.4	14.5	16.1	6.5	0.0	1.6
	菅田	86	36.0	4.7	45.3	53.5	39.5	74.4	19.8	17.4	29.1	39.5	18.6	14.0	5.8	1.2	1.2
	羽沢	81	29.6	4.9	45.7	39.5	33.3	67.9	17.3	11.1	25.9	42.0	18.5	23.5	7.4	0.0	0.0
	松見	66	39.4	7.6	53.0	51.5	43.9	66.7	28.8	13.6	27.3	28.8	10.6	10.6	6.1	0.0	1.5
	三ツ沢	84	34.5	4.8	58.3	56.0	34.5	72.6	26.2	22.6	36.9	50.0	17.9	21.4	3.6	2.4	0.0
	六角橋	62	40.3	14.5	59.7	59.7	41.9	75.8	30.6	16.1	40.3	53.2	12.9	8.1	4.8	0.0	0.0
無回答	25	32.0	0.0	36.0	32.0	32.0	64.0	36.0	16.0	20.0	20.0	8.0	16.0	8.0	0.0	12.0	

< 参考:19年度 区民意識調査との比較 >

- ・ 神奈川県区民意識調査（平成19年度）の結果と比較すると、一部設問内容は異なるものの、「家具の転倒防止」のみ平成19年度より2.5ポイント値が高くなっており、その他の取り組みは全て数値が低くなっている。特に、「通勤・通学先からの帰宅ルートを確認している」はポイントが27.8%も低くなり、4割超だった取り組み率が16.7%と2割を下回っている。また、「医薬品を備蓄している」は20.3ポイント、「家族等の間で集合場所を決めている」は19.9ポイント、「家族等の間で安否確認の方法を決めている」は15.2ポイントと、いずれも取り組みの割合の数値が低くなっており、災害時に備えた取り組み意識は19年度に比べて21年度では下がってきていることがうかがわれる。

図 災害時に備えた取り組みについて(平成19年度区民意識調査との比較)

	割合 (%)		ポイント差
	H21年度調査 N=1,201	H19年度調査 N=1,700	
家具の転倒防止のための器具等を設置している	34.4	31.9	2.5
ガラスに飛散防止フィルムを貼っている	7.3	8.3	-1.0
消火器を設置している	53.3	63.0	-9.7
水・食料を備蓄している	50.4	51.1	-0.7
医薬品を備蓄している	35.6	55.9	-20.3
ラジオ、懐中電灯等の防災グッズを備蓄している	66.2	71.9	-5.7
自宅を耐震化している、または耐震構造の住宅に住んでいる	28.2	34.6	-6.4
通勤・通学先からの帰宅ルートを確認している	16.7	44.5	-27.8
家族等の間で集合場所を決めている	28.4	48.3	-19.9
指定されている地域防災拠点を確認している	39.7	—	—
家族等の間で安否確認の方法を決めている	13.3	28.5	-15.2
災害時に助け合えるような近所との関係をつくっている	15.1	—	—

※平成19年度神奈川県区民意識調査の調査項目にないものは「—」で表示している。

問9 区役所が取り組む防災対策で、特に重点的に実施すべきと考えられるのは何ですか。(〇は2つまで)

- 最も多いのは「災害時にも機能する医療体制の整備」の62.4%、次いで、「地域の要援護者（お年寄りや障害のある方等）を救う仕組みづくり」(33.9%)、「地域へ緊急情報を伝達する屋外スピーカーの設置」(31.7%)、「区役所の初動体制の強化」(26.9%)、「広報紙等による防災関連情報の周知」(26.8%)、「地域で行う防災訓練への支援」(17.2%)、「地域のリーダー役の育成」(13.7%)、「地域の要望に応じて行う出前講座」(3.8%)、「その他」(1.1%)の順となっている。
- 「その他」1.1%のうち、13件に具体的記述があり、計14件の意見が挙げられた。内容は「水・食料の備蓄」と「安全な避難場所の確保」がそれぞれ2件ずつなどとなっている。

図 区役所が重点的に実施すべき防災対策(複数回答)

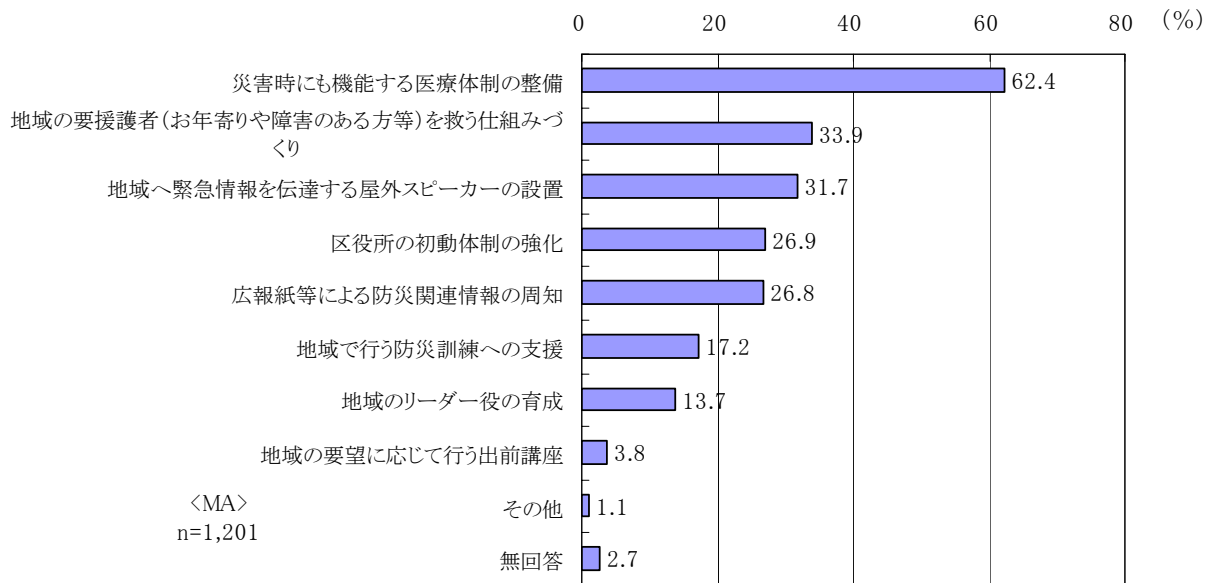


図 「その他」意見内容

意見内容	件数
水・食料の備蓄	2
安全な避難場所の確保	2
区画整理	1
災害時の動ける人材の確保	1
災害時の住民のスキルアップ	1
災害時の情報発信	1
住民の意識改革	1
トイレの整備	1
道路を広く、電線の地中化	1
マンション等の建築許可の発行	1
皆が助け合える設備	1
路上駐車を取り締まり(緊急車両通行のため)	1
計	14

■ 男女・年齢・地域別 区役所が重点的に実施すべき防災対策(複数回答) (問9× F1, F2, F3)

<男女別>

・男女とも「災害時にも機能する医療体制の整備」が最も多く、次いで「地域の要援護者(お年寄りや障害のある方等)を救う仕組みづくり」の順となっており、男女による差はみられない。

<年齢別>

・いずれの年代でも「災害時にも機能する医療体制の整備」が最も多く、若い年代ほど数値が高い傾向になっている。また、「地域のリーダー役の育成」と「地域の要援護者(お年寄りや障害のある方等)を救う仕組みづくり」は、30代で数値が低くなっている一方で、70代以上で最も数値が高くなっており、その差はそれぞれ17.1ポイントと13.1ポイントとなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「災害時にも機能する医療体制の整備」が最も多いが、最も数値が高い「神西神北」(70.9%)と、最も低い「白幡浦島丘」(50.8%)の差は20.1ポイントとかなり開いている。また、「地域の要援護者(お年寄りや障害のある方等)を救う仕組みづくり」については、「神大寺」と「六角橋」で他の地域より数値がやや高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 男女・年齢・地域別 区役所が重点的に実施すべき防災対策(複数回答)

問9 区役所が重点的に実施すべき防災対策(複数回答)

		全体	広報紙等による防災関連情報への周知	地域の要望に応じて行う出前講座	地域で行う防災訓練への支援	地域のリーダー役の育成	地域へ緊急情報を伝える屋外スピーカーの設置	地域の要援護者(お年寄りや障害のある方等)を救う仕組みづくり	災害時にも機能する医療体制の整備	区役所の初動体制の強化	その他	無回答
全体		1,201	322	46	207	164	381	407	749	323	13	33
		-	26.8	3.8	17.2	13.7	31.7	33.9	62.4	26.9	1.1	2.7
F1 性別	男性	444	27.5	3.8	18.2	14.2	26.6	32.7	61.3	29.7	1.1	2.3
	女性	726	27.1	3.7	16.8	13.2	34.2	34.6	63.4	25.5	1.1	2.8
	無回答	31	9.7	6.5	12.9	16.1	48.4	35.5	54.8	19.4	0.0	9.7
F2 年齢	20代	130	29.2	4.6	13.8	11.5	35.4	37.7	73.1	22.3	1.5	0.0
	30代	236	27.1	3.4	23.3	5.1	33.5	26.7	67.8	24.2	1.7	0.8
	40代	186	25.3	3.8	13.4	11.3	34.4	31.2	68.3	25.8	2.2	1.6
	50代	199	26.1	3.0	17.1	13.6	26.1	31.2	61.3	32.7	1.0	1.5
	60代	211	28.9	6.2	19.0	18.0	24.6	38.4	56.4	31.8	0.5	2.4
	70代以上	216	27.3	1.9	15.7	22.2	35.2	39.8	52.3	24.1	0.0	7.9
	無回答	23	4.3	8.7	4.3	13.0	52.2	34.8	56.5	21.7	0.0	13.0
F3 居住地域	青木	90	30.0	3.3	22.2	15.6	30.0	33.3	62.2	32.2	1.1	3.3
	大口七島	73	24.7	8.2	17.8	9.6	28.8	32.9	57.5	21.9	1.4	4.1
	片倉三枚	106	28.3	2.8	16.0	10.4	33.0	27.4	62.3	31.1	0.9	3.8
	神奈川ヶ谷	136	25.7	4.4	18.4	8.1	29.4	30.9	72.8	28.7	0.7	1.5
	神ノ木西寺尾	78	20.5	9.0	25.6	14.1	32.1	39.7	55.1	25.6	2.6	1.3
	子安入江	108	25.9	0.9	14.8	11.1	32.4	39.8	59.3	27.8	0.9	1.9
	白幡浦島丘	65	27.7	3.1	13.8	16.9	36.9	29.2	50.8	21.5	0.0	7.7
	神西神北	79	26.6	1.3	17.7	15.2	34.2	30.4	70.9	26.6	1.3	2.5
	神大寺	62	35.5	3.2	4.8	16.1	25.8	41.9	62.9	35.5	1.6	1.6
	菅田	86	29.1	1.2	14.0	10.5	20.9	39.5	62.8	25.6	2.3	3.5
	羽沢	81	19.8	3.7	14.8	17.3	34.6	30.9	60.5	21.0	0.0	2.5
	松見	66	33.3	3.0	28.8	19.7	28.8	28.8	65.2	16.7	1.5	3.0
	三ツ沢	84	27.4	6.0	14.3	19.0	36.9	28.6	64.3	32.1	0.0	0.0
	六角橋	62	32.3	3.2	21.0	17.7	33.9	45.2	58.1	25.8	1.6	0.0
無回答	25	4.0	8.0	8.0	8.0	56.0	36.0	60.0	24.0	0.0	12.0	

問 10 災害が起きたときにあなたが特に心配なことは何ですか。(〇は2つまで)

- ・ 「食料・水の確保」が 36.4%と最も多く、次いで「火災」(34.8%)、「避難場所での生活」(34.5%)、「家屋の倒壊」(33.5%)、「トイレ」(31.5%)「怪我・病気の治療」(27.2%)、「要援護者(お年寄りや障害のある方等)の避難」11.9%、「その他」(2.2%)の順となっている。
- ・ 「その他」2.2%のうち、具体的な記述は 26 件挙げられた。内容は、最も多いのが「家族の安否」で 11 件、次いで「ペットのこと」(4 件)、「通信の確保」(3 件)、「災害後の生活」「避難経路の確保」(各 2 件ずつ) などとなっている。

図 災害が起きたときに特に心配なこと(複数回答)

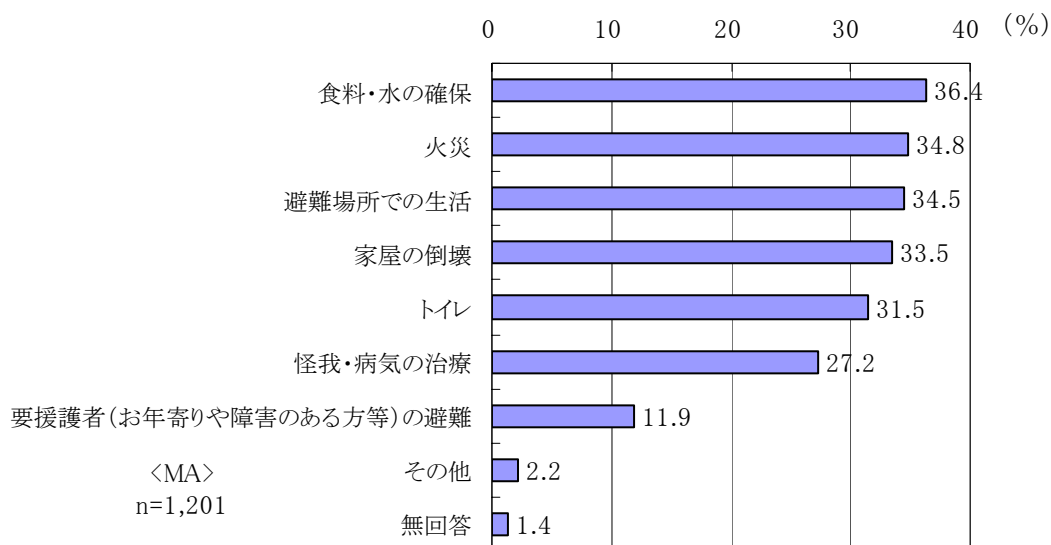


図 「その他」意見内容

意見内容	件数
家族の安否	11
ペットのこと	4
通信の確保	3
災害後の生活	2
避難経路の確保	2
医療が必要な障害者への対応	1
正確な情報の確保	1
相談できる人	1
避難場所が安全か	1
計	26

■ 男女・年齢・地域別 災害が起きたときに特に心配なこと(複数回答) (問 10× F1, F2, F3)

<男女別>

・男性は「食料・水の確保」が最も多く、次いで「火災」「家屋の倒壊」の順になっている。一方、女性は「避難場所での生活」が最も多く、次いで「トイレ」「食料・水の確保」「家屋の倒壊」の順となっており、男性は家の心配、女性は生活面の心配が大きいという男女の差がみられた。

<年齢別>

・20代から40代は「食料・水の確保」が最も多く、若い年代ほど数値は高い。50代から70代以上は「火災」が最も多く、高い年代ほど数値は高くなっている。次いで多かったのが、20代と60代以上は「家屋と倒壊」、30代と40代は「避難所での生活」、50代は「トイレ」となっている。

<地域別>

・「家屋と倒壊」「火災」「トイレ」は「神西神北」が最も数値が高く、「松見」が最も数値が低く、その差はいずれも20ポイントほど差がある。また、「食料・水の確保」は「松見」が最も数値が高く、「大口七島」と「神大寺」が数値が低くなっている。

図 男女・年齢・地域別 災害が起きたときに特に心配なこと(複数回答)

問10 災害が起きたときに特に心配なこと (複数回答)

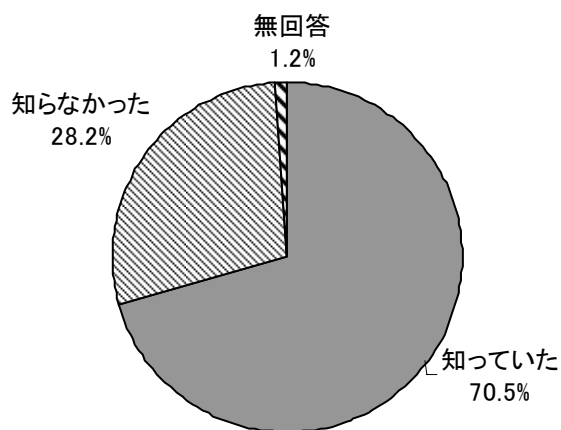
		全体	家屋の倒壊	火災	食料・水の確保	トイレ	怪我・病気の治療	要援護者(お年寄りや障害のある方等)の避難	避難場所での生活	その他	無回答
全体		1,201	402	418	437	378	327	143	414	26	17
		—	33.5	34.8	36.4	31.5	27.2	11.9	34.5	2.2	1.4
F 1 性別	男性	444	32.7	38.1	39.6	25.0	29.1	14.2	29.5	1.4	1.1
	女性	726	34.0	33.5	34.2	35.7	26.2	10.6	37.9	2.8	1.2
	無回答	31	32.3	19.4	41.9	25.8	25.8	9.7	25.8	0.0	9.7
F 2 年齢	20代	130	35.4	27.7	50.8	29.2	25.4	13.1	31.5	3.1	0.0
	30代	236	33.1	29.7	44.1	28.8	29.7	6.4	36.9	5.9	0.0
	40代	186	25.8	30.1	40.3	35.5	28.5	8.6	38.7	2.2	1.1
	50代	199	29.6	37.7	36.7	37.2	28.1	13.6	34.7	1.0	0.5
	60代	211	37.9	40.8	27.5	29.9	23.7	9.0	36.0	0.9	0.5
	70代以上	216	38.9	42.1	24.5	30.1	27.3	21.3	28.7	0.0	4.6
	無回答	23	30.4	17.4	34.8	17.4	26.1	13.0	30.4	0.0	13.0
F 3 居住地域	青木	90	28.9	46.7	41.1	31.1	20.0	13.3	35.6	1.1	1.1
	大口七島	73	37.0	31.5	26.0	35.6	26.0	13.7	31.5	2.7	4.1
	片倉三枚	106	34.0	34.9	40.6	37.7	26.4	7.5	30.2	0.9	0.9
	神奈川幸ヶ谷	136	27.2	31.6	41.9	33.1	35.3	10.3	37.5	1.5	1.5
	神ノ木西寺尾	78	35.9	39.7	35.9	35.9	32.1	9.0	28.2	5.1	0.0
	子安入江	108	25.9	33.3	34.3	28.7	25.9	14.8	34.3	3.7	0.9
	白幡浦島丘	65	29.2	32.3	30.8	26.2	18.5	12.3	41.5	1.5	1.5
	神西神北	79	45.6	46.8	30.4	40.5	24.1	12.7	35.4	2.5	1.3
	神大寺	62	40.3	38.7	27.4	29.0	27.4	16.1	40.3	0.0	1.6
	菅田	86	34.9	29.1	32.6	27.9	24.4	11.6	39.5	3.5	1.2
	羽沢	81	33.3	39.5	37.0	25.9	32.1	9.9	35.8	0.0	0.0
	松見	66	25.8	25.8	48.5	25.8	30.3	10.6	27.3	1.5	1.5
	三ツ沢	84	40.5	31.0	41.7	31.0	25.0	14.3	35.7	1.2	1.2
	六角橋	62	40.3	33.9	33.9	32.3	29.0	12.9	29.0	6.5	0.0
	無回答	25	28.0	12.0	36.0	20.0	28.0	12.0	32.0	0.0	12.0

3. 住宅用火災警報器の設置義務について

問 11 あなたは、消防法等により、平成 23 年6月1日までに全ての住宅(戸建・店舗併用及び共同住宅)に住宅用火災警報器の設置が必要となることを知っていましたか。(○は1つ)

- ・ 「知っていた」が70.5%で、「知らなかった」が28.2%と、認知度は割程度となっている。

図 住宅用火災警報器の設置義務の認知



n=1,201

■ 男女・年齢・地域別 住宅用火災警報器の設置義務の認知（問 11× F1, F2, F3, F11）

<男女別>

・男女とも「知っていた」が7割前後で最も多く、男女の差はあまりみられない。

<年齢別>

・いずれの世代でも「知っていた」が最も多くなっている。特に、40代以上は7割を超えるが、30代以下は若いほど数値が低くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「知っていた」が7割前後と最も多くなっており、地域による差はみられない。

<居住形態別>

・「持ち家（一戸建て）」「社宅、公務員住宅」「借家（県営・市営の共同住宅）」「持家（マンション・共同住宅）」「借家（都市再生機構・公社の共同住宅）」において「知っていた」が7割を超えている一方、「借家（一戸建て）」「民間アパート、民間賃貸マンション」では「知らなかった」の数値が他の居住形態に比べて高くなっている。

図 男女・年齢・地域・居住形態別 住宅用火災警報器の設置義務の認知

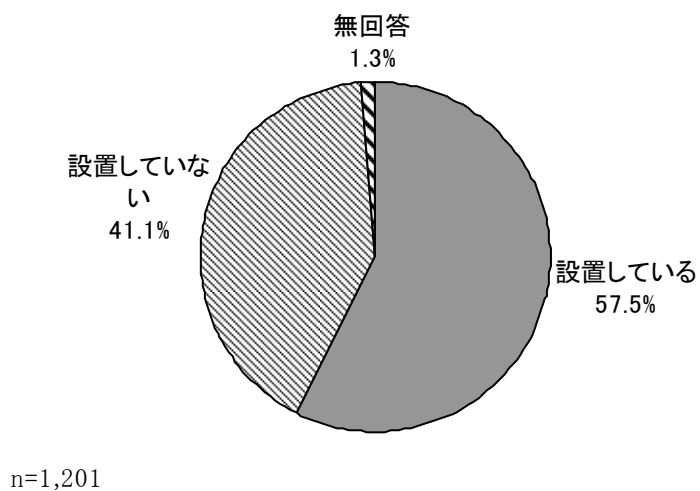
問11 住宅用火災警報器の設置義務の認知

		全体	知っていた	知らなかった	無回答
全 体		1,201	847	339	15
		100.0	70.5	28.2	1.2
F 1 性別	男性	444	68.5	30.4	1.1
	女性	726	72.0	27.0	1.0
	無回答	31	64.5	25.8	9.7
F 2 年齢	20代	130	56.2	43.8	0.0
	30代	236	64.8	35.2	0.0
	40代	186	76.3	22.6	1.1
	50代	199	77.9	21.6	0.5
	60代	211	71.6	28.0	0.5
	70代以上	216	73.1	23.1	3.7
	無回答	23	65.2	21.7	13.0
F 3 居住地域	青木	90	64.4	35.6	0.0
	大口七島	73	78.1	16.4	5.5
	片倉三枚	106	70.8	28.3	0.9
	神奈川幸ヶ谷	136	69.1	30.9	0.0
	神ノ木西寺尾	78	69.2	30.8	0.0
	子安入江	108	71.3	27.8	0.9
	白幡浦島丘	65	70.8	26.2	3.1
	神西神北	79	74.7	24.1	1.3
	神大寺	62	62.9	35.5	1.6
	菅田	86	76.7	22.1	1.2
	羽沢	81	71.6	28.4	0.0
	松見	66	71.2	27.3	1.5
	三ツ沢	84	65.5	34.5	0.0
	六角橋	62	75.8	24.2	0.0
無回答	25	60.0	28.0	12.0	
F 11 居住形態	持家（一戸建て）	539	72.5	26.5	0.9
	持家（マンション・共同住宅）	332	71.4	27.1	1.5
	借家（一戸建て）	31	58.1	38.7	3.2
	借家（県営・市営の共同住宅）	28	71.4	28.6	0.0
	借家（都市再生機構・公社の共同住宅）	44	70.5	22.7	6.8
	社宅、公務員住宅	29	72.4	27.6	0.0
	民間アパート、民間賃貸マンション	179	64.2	35.8	0.0
	その他	4	75.0	25.0	0.0
	無回答	15	73.3	20.0	6.7

問 12 あなたのお住まいには住宅用火災警報器や自動火災報知設備など、火災を自動的に感知する設備が設置されていますか。(○は1つ)

- ・ 「設置している」が57.5%で、「設置していない」が41.1%と、設置率は6割近くとなっている。

図 火災を自動的に感知する設備の設置有無



■ 男女・年齢・地域・居住形態別 火災を自動的に感知する設備の設置有無（問12× F1, F2, F3, F11）

<男女別>

・男女とも「設置している」が6割前後で最も多く、男女の差はあまりみられない。

<年齢別>

・60代で「設置している」と「設置していない」が同率だった他は、いずれの年代も「設置している」が最も多くなっている。特に20代30代の若い世代は7割前後が設置しており、他の年代が5割前後であるのに比べて高い数値となっている。

<地域別>

・「片倉三枚」「白幡浦島丘」「神西神北」「三ツ沢」では、「設置していない」がやや多く、「羽沢」は「設置している」と「設置していない」が同率となっている。その他の地域では「設置している」が半数以上と最も多くなっており、「神奈川幸ヶ谷」では8割を超え、設置率が最も高い。

<居住形態別>

・「持家（マンション・共同住宅）」で「設置している」が8割を超え最も多く、次いで「借家（県営・市営の共同住宅）」「借家（都市再生機構・公社の共同住宅）」「社宅、公務員住宅」が7割を超えている。一方「設置していない」は「借家（一戸建て）」が8割弱と最も多く、次いで「持家（一戸建て）」で6割弱と、一戸建てでは設置率が低くなっていることがうかがわれる。

図 男女・年齢・地域・居住形態別 火災を自動的に感知する設備の設置有無

問12 火災を自動的に感知する設備の設置有無

		全体	設置している	設置していない	無回答
全体		1,201	691	494	16
		100.0	57.5	41.1	1.3
F 1 性別	男性	444	54.5	44.1	1.4
	女性	726	60.1	39.0	1.0
	無回答	31	41.9	48.4	9.7
F 2 年齢	20代	130	66.2	33.8	0.0
	30代	236	70.8	29.2	0.0
	40代	186	56.5	42.5	1.1
	50代	199	54.3	45.2	0.5
	60代	211	49.3	49.3	1.4
	70代以上	216	50.5	46.3	3.2
	無回答	23	52.2	34.8	13.0
F 3 居住地域	青木	90	57.8	42.2	0.0
	大口七島	73	57.5	38.4	4.1
	片倉三枚	106	48.1	50.9	0.9
	神奈川幸ヶ谷	136	86.8	13.2	0.0
	神ノ木西寺尾	78	65.4	34.6	0.0
	子安入江	108	63.9	35.2	0.9
	白幡浦島丘	65	40.0	56.9	3.1
	神西神北	79	43.0	55.7	1.3
	神大寺	62	50.0	46.8	3.2
	菅田	86	62.8	36.0	1.2
	羽沢	81	49.4	49.4	1.2
	松見	66	54.5	43.9	1.5
	三ツ沢	84	47.6	52.4	0.0
	六角橋	62	54.8	45.2	0.0
無回答	25	52.0	36.0	12.0	
F 11 居住形態	持家（一戸建て）	539	39.7	59.2	1.1
	持家（マンション・共同住宅）	332	81.9	16.9	1.2
	借家（一戸建て）	31	19.4	77.4	3.2
	借家（県営・市営の共同住宅）	28	75.0	25.0	0.0
	借家（都市再生機構・公社の共同住宅）	44	72.7	18.2	9.1
	社宅、公務員住宅	29	72.4	27.6	0.0
	民間アパート、民間賃貸マンション	179	64.8	35.2	0.0
	その他	4	75.0	25.0	0.0
	無回答	15	40.0	53.3	6.7

問 13 問 12 で「2 設置していない」と回答された方におたずねします。あなたのお住まいに住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・ 「設置期限までに時間があるから」が最も多く 48.0%の人が挙げている。次いで「設置義務を知らなかったから」(26.1%)、「賃貸住宅の家主が設置していないから」(18.4%)、「まだ安くなると思うから」(17.6%)の順に続き、「設置するつもりはない」は1.2%、「その他」(9.1%)となっている。
- ・ 「その他」9.1%のうち、具体的な記述が 43 件挙げられた。最も多かった内容は「検討中(町内・集合住宅で設置検討中)」が 11 件、次いで「高価で購入できない(安くして欲しい)」(6 件)、「必要ない(意味がない)」「警報器の機能や種類等、よくわからない」(各 4 件ずつ)などとなっている。

図 火災を自動的に感知する設備を設置していない理由(複数回答)

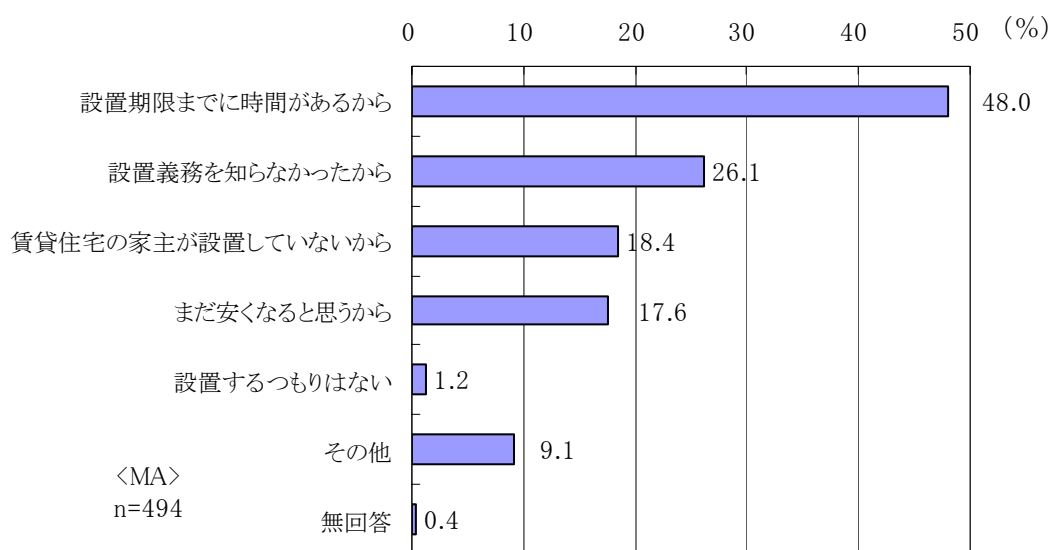


図 「その他」意見内容

意見内容	件数
検討中(町内・集合住宅で設置検討中)	11
高価で購入できない(安くして欲しい)	6
必要ない(意味がない)	4
警報器の機能や種類等、よくわからない	4
ガス漏れ探知機と勘違い	2
義務意識が薄れている	2
購入しているが設置していない	2
設置しているのかわからない	2
引越し予定	2
機能の優れたものを待っている	1
検討していない	1
台所以外は必要ない	1
頻繁に作動するから	1
マンションで一括設置	1
申し込んであるのに連絡がない	1
家主が設置していない	1
次の改築時に実施	1
計	43

■ 男女・年齢・地域・居住形態別 火災を自動的に感知する設備を設置していない理由(複数回答)

(問 13× F1, F2, F3, F11)

<男女別>

- ・男女とも「設置期限までに時間があるから」が5割前後で最も多い。その次は、男性は「設置義務を知らなかったから」が3割超で続き、女性は「設置義務を知らなかったから」と「賃貸住宅の家主が設置していないから」が2割超で同率の数値となっている。

<年齢別>

- ・40代以上で「設置期限までに時間があるから」が最も多く半数以上を占め、30代は「賃貸住宅の家主が設置していないから」が最も多く、20代では「設置義務を知らなかったから」が3割超で最も多くなっている。また、70代以上でも20代同様「設置義務を知らなかったから」が3割超とやや数値が高くなっている。
- ・「まだ安くなると思うから」は高い年代ほど数値は高くなり、「設置するつもりはない」は若い年代ほど数値は高くなる傾向になっている。

<地域別>

- ・「菅田」では、「設置義務を知らなかったから」が最も多く、それ以外の地域では「設置期限までに時間があるから」が最も多くなっている。

<居住形態別>

- ・「設置義務を知らなかったから」を理由に挙げているのは、「持家（一戸建て）」が3割超で最も多く、次いで「借家（一戸建て）」「持家（マンション・共同住宅）」の順となっている。
- ・賃貸住宅の家主が設置していないから」を理由に挙げているのは、「民間アパート、民間賃貸マンション」が最も多く8割を超え、次いで「借家（都市再生機構・公社の共同住宅）」「社宅、公務員住宅」が同率で6割超となっている。
- ・「設置期限までに時間があるから」を理由に挙げているのは、「持家（マンション・共同住宅）」で最も多くなっており、次いで「持ち家（一戸建て）」で持ち家の方に多くなっている。
- ・「まだ安くなると思うから」を理由に挙げているのは、「持ち家（一戸建て）」が最も多いが、2割程度に留まっている。

図 男女・年齢・地域・居住形態別 火災を自動的に感知する設備を設置していない理由(複数回答)

問13 火災を自動的に感知する設備を設置していない理由(複数回答)

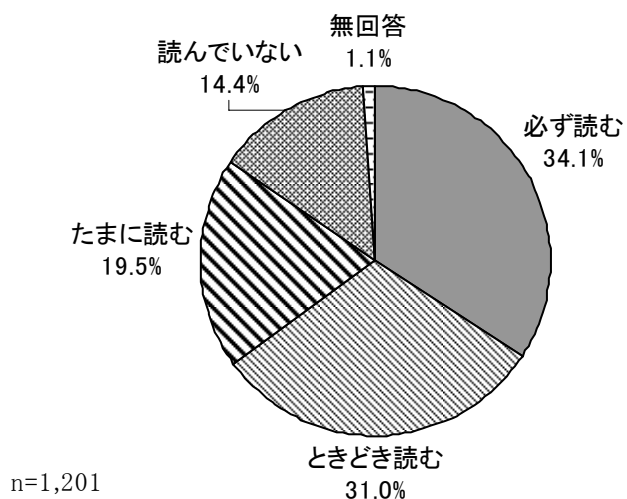
		全体	設置義務を 知らなかつ たから	賃貸住宅の 家主が設置 していない から	設置期限ま でに時間が あるから	まだ安くな らと思うか ら	設置するつ もりはない	その他	無回答
全 体		494	129	91	237	87	6	45	2
		—	26.1	18.4	48.0	17.6	1.2	9.1	0.4
F 1 性別	男性	196	31.1	14.8	46.9	20.9	1.5	7.1	0.5
	女性	283	21.6	21.6	48.4	15.5	1.1	11.0	0.4
	無回答	15	46.7	6.7	53.3	13.3	0.0	0.0	0.0
F 2 年齢	20代	44	34.1	27.3	20.5	13.6	6.8	13.6	0.0
	30代	69	23.2	44.9	24.6	15.9	1.4	10.1	0.0
	40代	79	19.0	20.3	51.9	16.5	1.3	11.4	0.0
	50代	90	18.9	13.3	65.6	17.8	0.0	5.6	0.0
	60代	104	26.0	14.4	54.8	19.2	0.0	9.6	1.0
	70代以上	100	34.0	5.0	50.0	20.0	1.0	8.0	1.0
	無回答	8	62.5	0.0	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0
F 3 居住 地域	青木	38	36.8	26.3	50.0	7.9	0.0	2.6	0.0
	大口七島	28	10.7	17.9	60.7	17.9	0.0	3.6	3.6
	片倉三枚	54	24.1	16.7	50.0	13.0	3.7	13.0	0.0
	神奈川幸ヶ谷	18	33.3	16.7	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0
	神ノ木西寺尾	27	40.7	22.2	44.4	18.5	3.7	11.1	0.0
	子安入江	38	28.9	23.7	42.1	26.3	0.0	7.9	0.0
	白幡浦島丘	37	18.9	18.9	43.2	18.9	0.0	8.1	0.0
	神西神北	44	15.9	13.6	52.3	18.2	0.0	13.6	2.3
	神大寺	29	24.1	13.8	75.9	13.8	0.0	0.0	0.0
	菅田	31	35.5	19.4	32.3	19.4	0.0	16.1	0.0
	羽沢	40	22.5	17.5	35.0	20.0	2.5	22.5	0.0
	松見	29	6.9	27.6	48.3	20.7	0.0	6.9	0.0
	三ツ沢	44	38.6	11.4	47.7	15.9	4.5	6.8	0.0
	六角橋	28	17.9	17.9	53.6	28.6	0.0	7.1	0.0
無回答	9	66.7	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	
F 11 居住 形態	持家 (一戸建て)	319	30.7	1.6	55.2	22.9	1.6	9.7	0.6
	持家 (マンション・共同住宅)	56	23.2	5.4	60.7	12.5	0.0	14.3	0.0
	借家 (一戸建て)	24	25.0	54.2	25.0	4.2	0.0	12.5	0.0
	借家 (県営・市営の共同住宅)	7	14.3	57.1	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
	借家 (都市再生機構・公社の共同住宅)	8	12.5	62.5	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	社宅、公務員住宅	8	12.5	62.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	民間アパート、 民間賃貸マンション	63	14.3	84.1	12.7	4.8	1.6	3.2	0.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	8	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0

4. 広報よこはま神奈川区版について

問 14 あなたは、広報よこはま神奈川区版を読んでいますか。(○は1つ)

- ・ 「必ず読む」が 34.1%、「ときどき読む」が 31.0%、「たまに読む」が 19.5%となっており、これらを合わせると 84.6%と、8 割以上の人に読まれている。「読んでいない」と答えた人は 14.4%となっている。

図 広報よこはま神奈川区版を読んでいるか



■ 男女・年齢・地域別 広報よこはま神奈川区版を読んでいますか（問 14× F1, F2, F3）

<男女別>

・女性が「必ず読む」が4割弱、男性は「ときどき読む」が3割とそれぞれ最も多くなっており、女性の方が男性よりやや読んでいる率が高くなっている。

<年齢別>

・20代では「読んでいない」が4割超、30代から50代では「ときどき読む」が3割超、60代以上では「必ず読む」が5割前後と最も多くなっており、高い世代ほど読んでいる率は高くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも、「必ず読む」と「ときどき読む」が3割から4割程度の数値で多くなっており、地域による差は特にみられない。

図 男女・年齢・地域別 男女・年齢・地域別 広報よこはま神奈川区版を読んでいますか

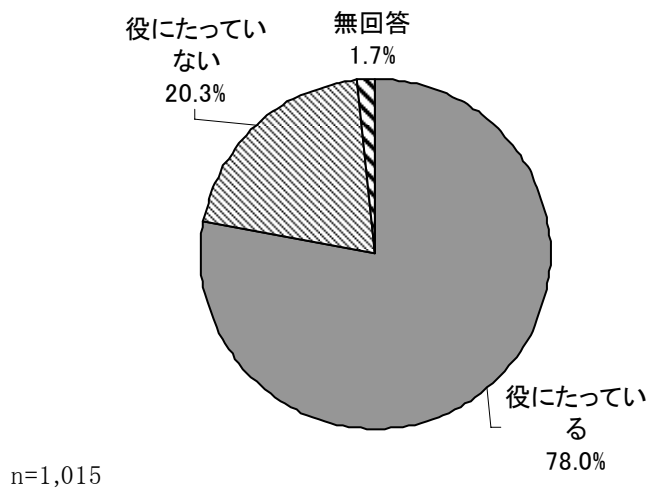
問14 広報よこはま神奈川区版を読んでいますか

		全体	必ず読む	ときどき読む	たまに読む	読んでいない	無回答
全 体		1,201	409	372	234	173	13
		100.0	34.1	31.0	19.5	14.4	1.1
F 1 性別	男性	444	27.3	30.0	20.7	20.7	1.4
	女性	726	37.7	31.7	19.0	10.7	0.8
	無回答	31	45.2	29.0	12.9	9.7	3.2
F 2 年齢	20代	130	8.5	23.1	26.9	41.5	0.0
	30代	236	24.2	32.2	19.1	24.6	0.0
	40代	186	31.2	32.8	22.6	13.4	0.0
	50代	199	30.7	37.7	22.6	7.5	1.5
	60代	211	46.0	31.3	17.5	4.7	0.5
	70代以上	216	53.2	26.4	12.5	4.2	3.7
	無回答	23	43.5	30.4	13.0	8.7	4.3
F 3 居住地	青木	90	28.9	30.0	18.9	21.1	1.1
	大口七島	73	41.1	31.5	20.5	6.8	0.0
	片倉三枚	106	30.2	29.2	19.8	19.8	0.9
	神奈川幸ヶ谷	136	30.1	33.8	19.9	14.7	1.5
	神ノ木西寺尾	78	34.6	34.6	12.8	17.9	0.0
	子安入江	108	37.0	26.9	16.7	19.4	0.0
	白幡浦島丘	65	40.0	27.7	16.9	10.8	4.6
	神西神北	79	36.7	25.3	24.1	12.7	1.3
	神大寺	62	41.9	37.1	9.7	11.3	0.0
	菅田	86	37.2	33.7	20.9	8.1	0.0
	羽沢	81	34.6	22.2	28.4	13.6	1.2
	松見	66	33.3	30.3	18.2	16.7	1.5
	三ツ沢	84	25.0	36.9	23.8	13.1	1.2
	六角橋	62	33.9	33.9	21.0	9.7	1.6
	無回答	25	32.0	36.0	16.0	12.0	4.0

問 15 問 14 で「必ず読む」「ときどき読む」「たまに読む」と回答した方におたずねします。広報よこはま神奈川区版はあなたのお役にたっていますか。(〇は1つ)

- ・ 「役にたっている」が 78.0%、「役にたっていない」が 20.3%となっており、8 割近くの方が役に立っていると感じている。

図 広報よこはま神奈川区版は役にたっているか



■ 男女・年齢・地域別 広報よこはま神奈川区版は役にたっていますか（問 15× F1, F2, F3）

<男女別>

・男女とも「役にたっている」が8割弱と同率で、男女とも役に立っていると感じている。

<年齢別>

・いずれの年代でも「役にたっている」が最も多く、特に60代は8割を超え、他の年代より数値が高くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「役にたっている」が最も多くなっており、地域による差はあまりみられない。

図 男女・年齢・地域別 広報よこはま神奈川区版は役にたっていますか

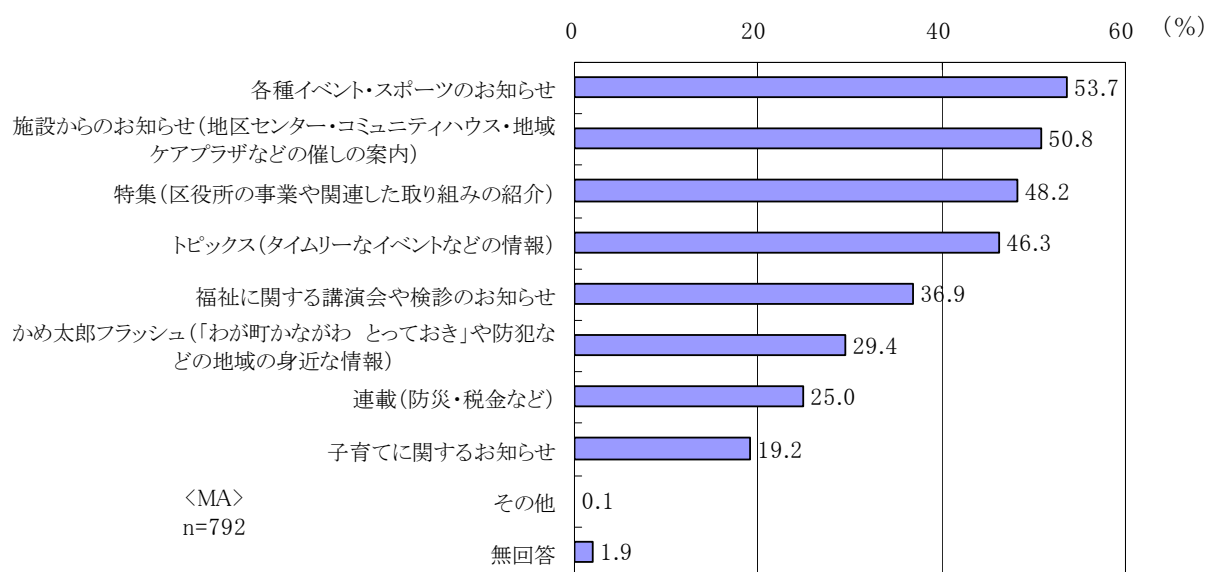
問15 広報よこはま神奈川区版は役にたっていますか

		全体	役にたっている	役にたっていない	無回答
全 体		1,015	792	206	17
		100.0	78.0	20.3	1.7
F 1 性別	男性	346	78.0	20.2	1.7
	女性	642	78.0	20.4	1.6
	無回答	27	77.8	18.5	3.7
F 2 年齢	20代	76	77.6	21.1	1.3
	30代	178	79.8	19.1	1.1
	40代	161	75.2	24.2	0.6
	50代	181	71.3	26.5	2.2
	60代	200	83.5	16.0	0.5
	70代以上	199	79.4	16.6	4.0
	無回答	20	80.0	20.0	0.0
F 3 居住地域	青木	70	75.7	20.0	4.3
	大口七島	68	80.9	17.6	1.5
	片倉三枚	84	76.2	22.6	1.2
	神奈川幸ヶ谷	114	72.8	25.4	1.8
	神ノ木西寺尾	64	82.8	17.2	0.0
	子安入江	87	79.3	19.5	1.1
	白幡浦島丘	55	81.8	16.4	1.8
	神西神北	68	82.4	17.6	0.0
	神大寺	55	85.5	10.9	3.6
	菅田	79	81.0	19.0	0.0
	羽沢	69	76.8	18.8	4.3
	松見	54	74.1	25.9	0.0
	三ツ沢	72	68.1	29.2	2.8
	六角橋	55	81.8	16.4	1.8
	無回答	21	76.2	23.8	0.0

問 16 問 15 で「役にたっている」と回答した方におたずねします。広報よこはま神奈川区版で、あなたが主に読むのはどこですか。(〇はいくつでも)

- ・ 「各種イベント・スポーツのお知らせ」が 53.7%、「施設からのお知らせ(地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザなどの催しの案内)」が 50.8%と半数以上の方が挙げている。次いで「特集(区役所の事業や関連した取り組みの紹介)」(48.2%)、「トピックス(タイムリーなイベントなどの情報)」(46.3%)、「福祉に関する講演会や検診のお知らせ」(36.9%)、「かめ太郎フラッシュ(「わが町かながわ とっておき」や防犯などの地域の身近な情報)」(29.4%)、「連載(防災・税金など)」(25.0%)、「子育てに関するお知らせ」(19.2%)、「その他」(0.1%)の順に続き、どれも比較的均等に読まれている。
- ・ 「その他」0.1%のうち、具体的な記述は1件あり、「市の歳出、歳入、市債の返済具合」が挙げられている。

図 広報よこはま神奈川区版で、主に読むのはどこか(複数回答)



■ 男女・年齢・地域別 広報よこはま神奈川区版で、主に読むのはどこか(複数回答)(問 16×F1, F2, F3)

<男女別>

・男性は「特集（区役所の事業や関連した取り組みの紹介）」が最も多く、女性は「施設からのお知らせ（地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザなどの催しの案内）」が最も多い。次いで、男女とも「各種イベント・スポーツのお知らせ」「トピックス（タイムリーなイベントなどの情報）」の順となっている。

<年齢別>

・20代は「トピックス（タイムリーなイベントなどの情報）」、30代は「子育てに関するお知らせ」、40代から60代までは「各種イベント・スポーツのお知らせ」、70代以上は「特集（区役所の事業や関連した取り組みの紹介）」が最も多く、年代による興味に差があらわれている。

<地域別>

・地域によって、読まれている部分は数値が分かれているが、「各種イベント・スポーツのお知らせ」や「施設からのお知らせ」がよく読まれている傾向にある。

図 男女・年齢・地域別 広報よこはま神奈川区版で、主に読むのはどこか(複数回答)

問16 広報よこはま神奈川区版で、主に読むのはどこですか(複数回答)

		全体	特集 (区役所の事業や関連した取り組みの紹介)	トピックス (タイムリーなイベントなどの情報)	かめ太郎フラッシュ (「わが町かながわとっておき」や防犯などの地域の身近な情報)	連載 (防災・税金など)	各種イベント・スポーツのお知らせ	福祉に関する講演会や検診のお知らせ	子育てに関するお知らせ	施設からのお知らせ(地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザなどの催しの案内)	その他	無回答
全体		792	382	367	233	198	425	292	152	402	1	15
		—	48.2	46.3	29.4	25.0	53.7	36.9	19.2	50.8	0.1	1.9
F 1 性別	男性	270	53.7	46.7	29.3	28.5	52.2	29.3	11.9	44.1	0.4	1.9
	女性	501	44.9	46.1	29.1	22.6	53.9	40.3	23.8	54.1	0.0	2.0
	無回答	21	57.1	47.6	38.1	38.1	66.7	52.4	4.8	57.1	0.0	0.0
F 2 年齢	20代	59	42.4	47.5	11.9	16.9	32.2	28.8	33.9	42.4	0.0	8.5
	30代	142	34.5	42.3	19.0	21.1	51.4	28.9	53.5	45.1	0.0	0.0
	40代	121	44.6	57.9	28.9	21.5	58.7	28.1	20.7	45.5	0.0	1.7
	50代	129	45.0	49.6	27.1	22.5	61.2	34.9	7.8	51.9	0.8	0.8
	60代	167	58.7	47.3	32.9	26.3	61.7	42.5	9.0	56.3	0.0	1.2
	70代以上	158	57.0	36.1	43.7	32.9	43.7	48.7	3.8	55.7	0.0	3.2
	無回答	16	50.0	56.3	31.3	43.8	68.8	43.8	0.0	56.3	0.0	0.0
F 3 居住地域	青木	53	35.8	47.2	32.1	30.2	50.9	32.1	18.9	35.8	0.0	1.9
	大口七島	55	43.6	54.5	27.3	27.3	49.1	32.7	14.5	50.9	0.0	1.8
	片倉三枚	64	57.8	48.4	21.9	10.9	57.8	31.3	15.6	57.8	0.0	3.1
	神奈川幸ヶ谷	83	51.8	50.6	27.7	30.1	51.8	37.3	25.3	47.0	0.0	2.4
	神ノ木西寺尾	53	41.5	45.3	34.0	24.5	66.0	49.1	28.3	66.0	0.0	1.9
	子安入江	69	40.6	49.3	34.8	21.7	52.2	37.7	17.4	44.9	0.0	2.9
	白幡浦島丘	45	42.2	40.0	37.8	24.4	51.1	40.0	22.2	51.1	0.0	6.7
	神西神北	56	50.0	46.4	37.5	25.0	51.8	42.9	10.7	53.6	0.0	0.0
	神大寺	47	53.2	55.3	19.1	23.4	55.3	34.0	14.9	46.8	2.1	0.0
	菅田	64	54.7	45.3	28.1	18.8	51.6	43.8	25.0	54.7	0.0	3.1
	羽沢	53	52.8	37.7	22.6	22.6	49.1	37.7	17.0	43.4	0.0	0.0
	松見	40	57.5	32.5	22.5	32.5	52.5	27.5	32.5	60.0	0.0	0.0
	三ツ沢	49	42.9	44.9	38.8	24.5	55.1	26.5	18.4	46.9	0.0	0.0
	六角橋	45	51.1	40.0	28.9	37.8	55.6	40.0	13.3	57.8	0.0	2.2
	無回答	16	43.8	56.3	25.0	31.3	62.5	37.5	0.0	43.8	0.0	0.0

問 17 問 14 で「4 読んでいない」、問 15 で「2 役にたっていない」と答えた方におたずねします。読んでいない、あるいは役にたっていない理由は何ですか。(〇は1つ)

- ・ 最も多いのは「区役所や地域の情報に関心はあるが、欲しい情報が載っていない」の 31.4% となっており、次いで「広報よこはま神奈川区版の存在を知らなかった」が 27.7% と、広報を知らない人が 3 割弱となっている。以下、「区役所や地域の情報に関心がない」が 19.5%、「その他」が 10.3%、「ホームページや他の方法で区の情報を得ているので読む必要がない」が 5.8% の順となっている。
- ・ 「その他」10.3% のうち、38 件の具体的な記述が挙げられた。内容は「配布されていない」「役に立てようと思わない」「読む時間がない」がそれぞれ 6 件ずつと最も多く、次いで「配布されていることを知らなかった」が 3 件などとなっている。

図 読んでいない、あるいは役にたっていない理由

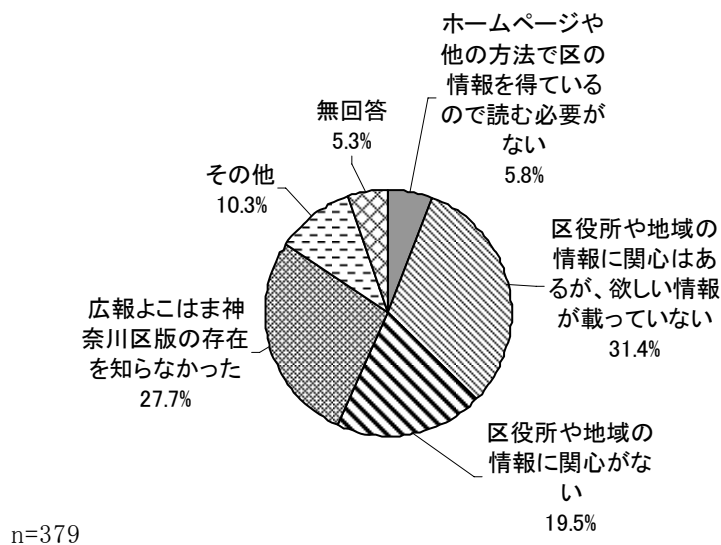


図 「その他」意見内容

意見内容	件数	意見内容	件数
配布されていない	6	自分の手元にこない	1
役に立てようと思わない	6	視力が弱いため	1
読む時間がない	6	取ってくるのを忘れる	1
配布されていることを知らなかった	3	流し読みなので頭に入らない	1
いつも同じような内容	1	イベントなど参加できない	1
回覧板が回ってくるのが遅い	1	平日の昼間の活動情報は参加できない	1
回覧板が回ってこない	1	他の区の方が近い	1
活用できていない	1	魅力がない	1
関心はあるが見ていない	1	読みにくい	1
看病があり家を出られない	1	レジャーや釣り情報が欲しい	1
高齢者なので用がない	1	計	38

■ 男女・年齢・地域別 読んでいない、あるいは役にたっていない理由（問17× F1, F2, F3）

<男女別>

・男性は「広報よこはま神奈川区版の存在を知らなかった」、女性は「区役所や地域の情報に関心はあるが、欲しい情報が載っていない」がそれぞれ3割超と最も多く、男女の理由は別れた。

<年齢別>

・20代と30代は「広報よこはま神奈川区版の存在を知らなかった」、40代と60代以上は「区役所や地域の情報に関心はあるが、欲しい情報が載っていない」、50代は「区役所や地域の情報に関心がない」が最も多く、年代による理由は違っている。

<地域別>

・地域によって理由は多岐に別れた。また、「六角橋」では「ホームページや他の方法で区の情報を得ているので読む必要がない」が1割超となっており、他の地域と比べて、ホームページを利用する率がやや高くなっていることがうかがわれる。

図 男女・年齢・地域別 読んでいない、あるいは役にたっていない理由

問17 読んでいない、あるいは役にたっていない理由

		全体	ホームページ や他の方法で 区の情報を得 ているので読 む必要がない	区役所や地域 の情報に関心 はあるが、欲 しい情報が 載っていない	区役所や地域 の情報に関心 がない	広報よこはま 神奈川区版の 存在を知らな かった	その他	無回答
全体		379 100.0	22 5.8	119 31.4	74 19.5	105 27.7	39 10.3	20 5.3
F 1 性別	男性	162	5.6	24.7	21.0	34.0	9.3	5.6
	女性	209	6.2	35.9	18.2	23.0	11.5	5.3
	無回答	8	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
F 2 年齢	20代	70	8.6	11.4	17.1	55.7	4.3	2.9
	30代	92	3.3	27.2	18.5	39.1	8.7	3.3
	40代	64	6.3	35.9	20.3	18.8	17.2	1.6
	50代	63	6.3	28.6	30.2	12.7	11.1	11.1
	60代	42	7.1	45.2	19.0	9.5	11.9	7.1
	70代以上	42	4.8	54.8	9.5	9.5	11.9	9.5
	無回答	6	0.0	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0
F 3 居住地域	青木	33	6.1	24.2	27.3	30.3	12.1	0.0
	大口七島	17	5.9	35.3	5.9	23.5	17.6	11.8
	片倉三枚	40	5.0	27.5	25.0	32.5	7.5	2.5
	神奈川幸ヶ谷	49	6.1	40.8	16.3	24.5	8.2	4.1
	神ノ木西寺尾	25	8.0	32.0	16.0	36.0	8.0	0.0
	子安入江	38	0.0	21.1	21.1	34.2	7.9	15.8
	白幡浦島丘	16	6.3	37.5	25.0	12.5	6.3	12.5
	神西神北	22	9.1	18.2	31.8	18.2	13.6	9.1
	神大寺	13	7.7	23.1	30.8	7.7	23.1	7.7
	菅田	22	0.0	27.3	18.2	27.3	27.3	0.0
	羽沢	24	8.3	29.2	20.8	25.0	12.5	4.2
	松見	25	8.0	40.0	4.0	40.0	4.0	4.0
	三ツ沢	32	6.3	40.6	18.8	18.8	9.4	6.3
	六角橋	15	13.3	33.3	13.3	40.0	0.0	0.0
	無回答	8	0.0	50.0	12.5	37.5	0.0	0.0

問18 今後、広報よこはま神奈川区版に掲載して欲しい情報があれば教えてください。(自由記入)

- ・ 「今後、広報よこはま神奈川区版に掲載して欲しい情報」として、133 件の具体的記述があり、計 177 件の意見が挙げられた。
- ・ 最も多い項目は「地域の情報」が 50 件あり、内容としては「イベント情報・講習会・講座」が最も多く 12 件挙げられ、次いで「地域のお店（レストラン・パン屋・商店・老舗）」(8 件)、「地域の穴場スポット（公園・散歩道・サイクリングロード・絶景ポイント・釣り情報）」(6 件)、「区内の施設・貸部屋等詳細情報」「学校の行事や町内会・商店街の行事」「割引券（スーパー、飲食店他）」(各 3 件ずつ)、「JR 羽沢駅の工事の進捗状況」(2 件) などとなっている。
- ・ 次に多かった項目は「行政」の 25 件であり、内容としては「施策」についてが 12 件と最も多く、次いで「サービス」(4 件)、「税金」(3 件)、「ゴミ」(3 件) などとなっている。「施策」の内容としては「行政の方のやる気を見せる記事」「区に対する質問・要望を Q&A の形で記載」がそれぞれ 2 件ずつ挙げられている。
- ・ 「広報のあり方」については 17 件挙げられ、内容としては「広報紙を無くして税金を安くして欲しい」「ほぼ満足」「レイアウトの工夫」がそれぞれ 2 件などとなっている。
- ・ 「子育て」については 15 件意見が挙げられ、「子育てに関する情報」が 10 件、次いで「保育所情報」が 4 件などとなっている。
- ・ 「トピックス」については 14 件の意見があり、最も多かったのが「ペット情報（病院、コミュニティ、里親など）」が 3 件、次いで「生活に役立つ豆知識（楽な掃除の仕方・節約情報等）」「地域で「〇〇名人」と言われている人の紹介」が各 2 件ずつ、「地産地消」「地上デジタル放送の特集」「区内小中高校のスポーツ大会の入賞結果」「美術の掲載」「元気になるような情報」「赤ちゃん紹介」「未就学児の絵など」が各 1 件ずつ挙げられている。
- ・ 「ボランティア」については 12 件の意見が挙げられ、いずれも「各種ボランティアの内容紹介」などによるボランティアへの啓発などとなっている。
- ・ 「防犯・防災」については 11 件の意見があり、「防災」に関しては、「避難場所」「災害時の情報の入手方法」「災害時の住民への伝達方法」「災害ボランティアの記事」「地震対策、方法」「火災情報を載せ、未然の防火策」など、「防犯」に関しては、「不審者出没マップ」「区内交通網や諸事故の対処」「高齢者安全対策」「社会生活情報」などが挙げられた。
- ・ 「医療」については 11 件意見が挙げられ、「健診・人間ドック等補助制度」が最も多く 5 件、次いで「病院の特色の紹介」(3 件)、「夜間、休日の医療機関の情報」(2 件)、「予防接種の情報」(1 件) となっている。
- ・ 他には、「就職情報」(10 件)、「市民の意識向上」(4 件)、「環境」(3 件)、「交通」(3 件)、「食育」(2 件) などが挙げられた。

図 今後、広報よこはま神奈川区版に掲載して欲しい情報（自由記入）

意見内容（大分類）		件数	意見内容（小分類）	件数	
地域の情報	50	イベント情報・講習会・講座	12		
		地域のお店（レストラン・パン屋・商店・老舗）	8		
		地域の穴場スポット（公園・散歩道・サイクリングロード・絶景ポイント・釣り情報）	6		
		区内の施設・貸部屋等詳細情報	3		
		学校の行事や町内会・商店街の行事	3		
		割引券（スーパー、飲食店他）	3		
		JR羽島駅の工事の進捗状況	2		
		地域の祭り（鎮守の神様、神社）情報	1		
		我が町かながわ50選の歩数や時間の目安	1		
		コンビニを手軽な場所に設置	1		
		小中学校の情報	1		
		小中高校の紹介	1		
		神中・浦中コミュニティハウスの毎月1回おはなし会の記事	1		
		地域の民生委員の活動記録	1		
		町別情報	1		
		不動産情報（アパート、マンション等）	1		
		横浜市の昔話や逸話	1		
		変化する町の概要（施設情報）	1		
		交流作りのきっかけになる情報	1		
		地域の外国の方とふれあえるような情報やイベント	1		
		行政の方のやる気を見せる記事	2		
行政	12	区に対する質問・要望をQ&Aの形で記載	2		
		市民への支援制度	1		
		横浜150周年記念開催の結果報告と中田前市長の責任	1		
		横浜市および神奈川区の財政事情	1		
		区の財政状況、既行政改革	1		
		区の主要業務の取組	1		
		区の役割の明確化	1		
		進学査定は学力だけでなく福祉活動を加える	1		
		役所と地域（町会）との交流	1		
		相談窓口の電話番号	1		
		福祉サービス情報	1		
		便利な区（市、国）の行政サービス	1		
福祉センターでの活動状況	1				
サービス	4	税金の解説	2		
		税金を安くする方法	1		
		外国人向けにゴミ出し方法を記載	1		
税金	3	粗大ゴミの捨て方	1		
		横浜G30の変更等は早めに告知	1		
ゴミ	3	区役所の対応が悪い	1		
		迷惑な外人へのメッセージ記事	1		
その他	2	文化、食、社会の動き	1		
		文化、食、社会の動き	1		
広報のあり方	17	広報紙を無くして税金を安くして欲しい	2		
		ほぼ満足	2		
		レイアウトの工夫	2		
		駅に置いてあるのは無駄	1		
		掲示板に情報を貼って欲しい	1		
		全マンションに各戸配布	1		
		羽沢にも広報を置いて欲しい	1		
		必要ない	1		
		毎回同じ内容が多い	1		
		高齢者のページ	1		
		若い世代向け情報	1		
		機能と連絡先の表で十分	1		
		県・市・区だよりを時間差をつけて配布して欲しい	1		
		入手方法を周知	1		
		子育てに関する情報	10		
		トピックス	14	子育てに関する情報	4
				保育園での催し	1
ペット情報（病院、コミュニティ、里親など）	3				
生活に役立つ豆知識（楽な掃除の仕方・節約情報等）	2				
地域で「〇〇名人」と言われている人の紹介	2				
地産地消	1				
地上デジタル放送の特集	1				
区内小中高校のスポーツ大会の入賞結果	1				
美術の掲載	1				
元気になれるような情報	1				
赤ちゃん紹介	1				
未就学児の絵など	1				
各種ボランティアの内容紹介	12				
ボランティア	11			防災関連（避難場所）	2
		防災情報を載せ、未燃の防火策	1		
		高齢者安全対策	1		
		災害時の情報の入手方法	1		
		災害ボランティアの記事	1		
		地震対策、方法	1		
		区内交通網や諸事故の対処	1		
		災害時の住民への伝達方法	1		
		社会生活情報	1		
		不審者出没マップなど	1		
		健康・人間ドック等補助制度	5		
医療	11	病院の特色の紹介	3		
		夜間、休日の医療機関の情報	2		
		予防接種の情報	1		
		就職・求人情報(含市の臨時職員募集・パート等)	10		
就職情報	10	中高生のマナーの悪さを正すコーナー	1		
		マナー違反を掲載し、明るいまちづくりを	1		
		地域のコミュニティ（挨拶をしよう）	1		
		民間企業と協力して労働意欲の向上	1		
市民の意識向上	4	企業の温暖化対策例	1		
		リサイクル情報	1		
		環境への取組	1		
環境	3	バスに関する情報（市バス、臨港バス等）	2		
		市営地下鉄の携帯電話の電源をOFFにのアナウンスは不適當	1		
交通	3	食育関連	2		
		食育関連	2		
食育	2	計	177	計	177

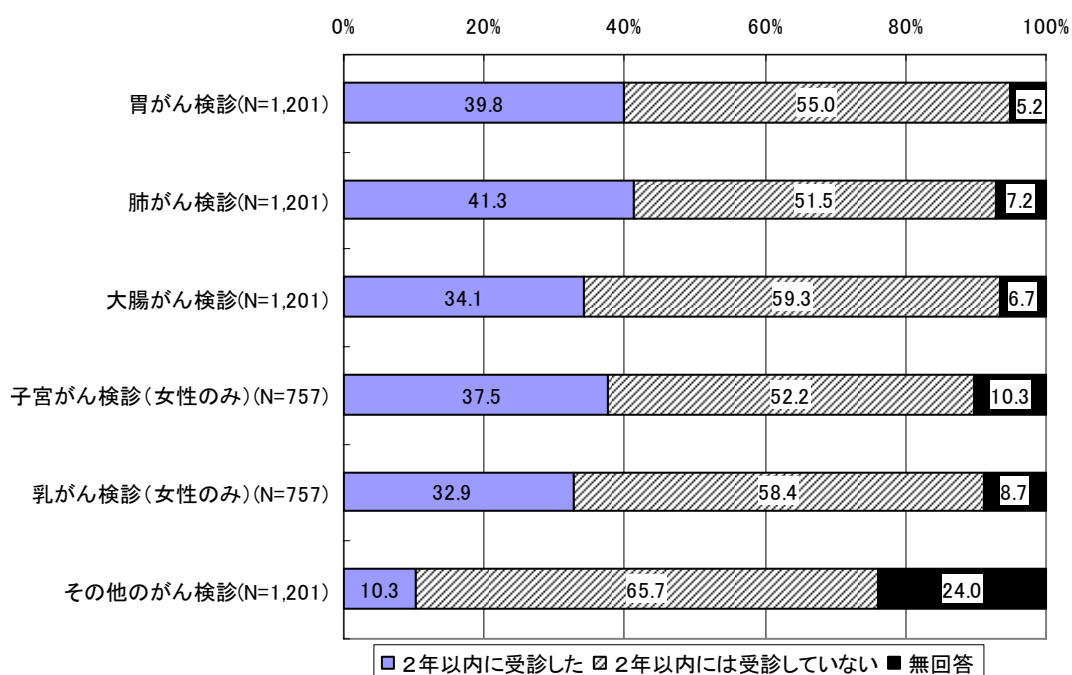
5. がん検診について

問 19 あなたは、がん検診を受診していますか。最近2年以内にそれぞれのがん検診を受診したか否か、また、受診していない場合はその理由をお答えください。(子宮がん検診、乳がん検診については女性のみ)

＜受診の有無＞(○は1つ)

- ・ 「胃がん検診」「肺がん検診」「大腸がん検診」「子宮がん検診」「乳がん検診」、すべてにおいて、約4割の人が受診しているが、5割超の人が受診していない。
- ・ 女性の「乳がん検診」については、「受診した」が32.9%と他に比べて少し受診率が低くなっている。

図 がん検診の受診の有無



■ 男女・年齢・地域別 がん検診の受診の有無（問 19A× F1, F2, F3）

① 胃がん検診（バリウムによるレントゲン検査・内視鏡検査含む）

<男女別>

・男女とも「2年以内には受診していない」が多くなっていったが、男性より女性の方が10.2ポイント数値が高く受診していない人がやや多くなっている。

<年齢別>

・20代から40代は「2年以内には受診していない」が多く、年代が若いほど数値は高くなっている。また、50代以上は「2年以内に受診した」の方が多く、特に50代が他の年代より数値がやや高くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「2年以内には受診していない」がほぼ半数以上を占め多くっており、地域による差は特にみられない。

図 男女・年齢・地域別 がん検診の受診の有無

① 胃がん検診（バリウムによるレントゲン検査・内視鏡検査含む）

問19 がん検診の受診の有無

胃がん検診

		全体	2年以内に受診した	2年以内には受診していない	無回答
全 体		1,201 100.0	478 39.8	661 55.0	62 5.2
F 1 性別	男性	444	45.3	49.3	5.4
	女性	726	35.7	59.5	4.8
	無回答	31	58.1	32.3	9.7
F 2 年齢	20代	130	6.2	93.8	0.0
	30代	236	26.3	72.5	1.3
	40代	186	47.3	52.7	0.0
	50代	199	54.8	40.2	5.0
	60代	211	49.3	47.9	2.8
	70代以上	216	42.6	38.0	19.4
	無回答	23	65.2	30.4	4.3
F 3 居住地域	青木	90	44.4	50.0	5.6
	大口七島	73	42.5	52.1	5.5
	片倉三枚	106	34.9	59.4	5.7
	神奈川幸ヶ谷	136	44.9	50.0	5.1
	神ノ木西寺尾	78	34.6	62.8	2.6
	子安入江	108	35.2	62.0	2.8
	白幡浦島丘	65	38.5	49.2	12.3
	神西神北	79	36.7	59.5	3.8
	神大寺	62	45.2	50.0	4.8
	菅田	86	34.9	60.5	4.7
	羽沢	81	30.9	63.0	6.2
	松見	66	40.9	51.5	7.6
	三ツ沢	84	45.2	50.0	4.8
	六角橋	62	45.2	51.6	3.2
	無回答	25	56.0	40.0	4.0

② 肺がん検診（胸のレントゲン撮影・略痰検査含む）

<男女別>

・男性は「2年以内に受診した」「2年以内には受診していない」がほぼ同率となっている。女性は「2年以内には受診していない」が半数を超え、男性より女性の方が受診していない割合が高くなっている。

<年齢別>

・40代と50代は「2年以内に受診した」が半数を超えているが、それ以外の年代は「2年以内には受診していない」の方が数値が高くなっており、特に20代は数値が高い。70代以上は数値が低いが、「無回答」の数値も他の年代より高くなっている。

<地域別>

・「青木」と「片倉三枚」では「2年以内に受診した」が多く、それ以外の地域では「2年以内には受診していない」がほぼ半数を占め、多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 がん検診の受診の有無

② 肺がん検診（胸のレントゲン撮影・略痰検査含む）

問19 がん検診の受診の有無

肺がん検診

		全体	2年以内に受診した	2年以内には受診していない	無回答
全 体		1,201	496	619	86
		100.0	41.3	51.5	7.2
F 1 性別	男性	444	46.4	46.6	7.0
	女性	726	37.9	55.4	6.7
	無回答	31	48.4	32.3	19.4
F 2 年齢	20代	130	19.2	80.8	0.0
	30代	236	32.6	66.5	0.8
	40代	186	51.6	48.4	0.0
	50代	199	56.8	37.2	6.0
	60代	211	46.4	48.8	4.7
	70代以上	216	33.8	38.4	27.8
	無回答	23	60.9	30.4	8.7
F 3 居住地	青木	90	56.7	37.8	5.6
	大口七島	73	42.5	52.1	5.5
	片倉三枚	106	49.1	44.3	6.6
	神奈川幸ヶ谷	136	43.4	50.7	5.9
	神ノ木西寺尾	78	37.2	57.7	5.1
	子安入江	108	35.2	62.0	2.8
	白幡浦島丘	65	33.8	47.7	18.5
	神西神北	79	39.2	54.4	6.3
	神大寺	62	41.9	51.6	6.5
	菅田	86	31.4	57.0	11.6
	羽沢	81	32.1	60.5	7.4
	松見	66	37.9	53.0	9.1
	三ツ沢	84	44.0	46.4	9.5
	六角橋	62	45.2	51.6	3.2
	無回答	25	56.0	36.0	8.0

③ 大腸がん検診（便潜血反応検査含む）

<男女別>

・男女とも「2年以内には受診していない」が多くなっていて、男性より女性の方が10.7ポイント数値が高く受診していない人がやや多くなっている。

<年齢別>

・50代のみが「2年以内に受診した」が多く、その他の年代は「2年以内には受診していない」が多くなっており、年代が若いほど数値は高くなっている。

<地域別>

・「六角橋」は「2年以内に受診した」「2年以内には受診していない」が同率となっており、その他の地域は「2年以内には受診していない」が半数以上を占めている。

図 男女・年齢・地域別 がん検診の受診の有無

③ 大腸がん検診（便潜血反応検査含む）

問19 がん検診の受診の有無

大腸がん検診

		全体	2年以内に受診した	2年以内には受診していない	無回答
全 体		1,201	409	712	80
		100.0	34.1	59.3	6.7
F 1 性別	男性	444	41.4	52.9	5.6
	女性	726	29.3	63.6	7.0
	無回答	31	38.7	48.4	12.9
F 2 年齢	20代	130	3.8	96.2	0.0
	30代	236	19.5	79.7	0.8
	40代	186	44.6	55.4	0.0
	50代	199	51.3	43.2	5.5
	60代	211	41.2	52.6	6.2
	70代以上	216	35.6	39.8	24.5
	無回答	23	39.1	56.5	4.3
F 3 居住地域	青木	90	37.8	55.6	6.7
	大口七島	73	35.6	56.2	8.2
	片倉三枚	106	35.8	59.4	4.7
	神奈川幸ヶ谷	136	36.0	57.4	6.6
	神ノ木西寺尾	78	28.2	66.7	5.1
	子安入江	108	29.6	67.6	2.8
	白幡浦島丘	65	29.2	55.4	15.4
	神西神北	79	40.5	55.7	3.8
	神大寺	62	35.5	58.1	6.5
	菅田	86	20.9	69.8	9.3
	羽沢	81	28.4	65.4	6.2
	松見	66	31.8	57.6	10.6
	三ツ沢	84	41.7	50.0	8.3
	六角橋	62	48.4	48.4	3.2
	無回答	25	32.0	64.0	4.0

④ 子宮がん検診（女性のみ）

<年齢別>

・30代と40代で「2年以内に受診した」が多く、その他の年代は「2年以内には受診していない」が多くなっており、20代は特に数値は高くなっている。

<地域別>

・「青木」と「神奈川幸ヶ谷」で「2年以内に受診した」が多く、「三ツ沢」では「2年以内に受診した」と「2年以内には受診していない」が同率になっており、その他の地域は「2年以内には受診していない」が多くなっている。

図 年齢・地域別 がん検診の受診の有無

④ 子宮がん検診（女性のみ）

問19 がん検診の受診の有無

子宮がん検診（女性のみ）

		全体	2年以内に受診した	2年以内には受診していない	無回答
全 体		757 100.0	284 37.5	395 52.2	78 10.3
F 2 年齢	20代	82	29.3	69.5	1.2
	30代	167	55.1	43.7	1.2
	40代	118	53.4	46.6	0.0
	50代	121	42.1	52.9	5.0
	60代	122	32.0	59.8	8.2
	70代以上	124	9.7	54.0	36.3
	無回答	23	13.0	26.1	60.9
	F 3 居住地域	青木	54	51.9	40.7
大口七島		44	36.4	54.5	9.1
片倉三枚		62	32.3	59.7	8.1
神奈川幸ヶ谷		91	50.5	44.0	5.5
神ノ木西寺尾		56	42.9	51.8	5.4
子安入江		68	41.2	55.9	2.9
白幡浦島丘		41	26.8	51.2	22.0
神西神北		51	29.4	62.7	7.8
神大寺		37	27.0	62.2	10.8
菅田		53	24.5	60.4	15.1
羽沢		50	38.0	54.0	8.0
松見		33	36.4	54.5	9.1
三ツ沢		56	44.6	44.6	10.7
六角橋		37	40.5	48.6	10.8
無回答		24	8.3	37.5	54.2

⑤ 乳がん検診（女性のみ）

<年齢別>

・いずれの年代でも「2年以内には受診していない」が多くなっているが、40代と50代は「2年以内に受診した」が4割を超え、他の年代より受診率が高くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「2年以内には受診していない」が多くなっており、地域による差は特にみられない。

図 年齢・地域別 がん検診の受診の有無

⑤ 乳がん検診（女性のみ）

問19 がん検診の受診の有無

乳がん検診（女性のみ）

		全体	2年以内に受診した	2年以内には受診していない	無回答
全 体		757 100.0	249 32.9	442 58.4	66 8.7
F 2 年齢	20代	82	14.6	84.1	1.2
	30代	167	37.7	61.1	1.2
	40代	118	43.2	56.8	0.0
	50代	121	45.5	52.1	2.5
	60代	122	36.1	59.8	4.1
	70代以上	124	14.5	51.6	33.9
	無回答	23	26.1	17.4	56.5
	F 3 居住地域	青木	54	40.7	53.7
大口七島		44	34.1	56.8	9.1
片倉三枚		62	35.5	59.7	4.8
神奈川幸ヶ谷		91	44.0	52.7	3.3
神ノ木西寺尾		56	30.4	64.3	5.4
子安入江		68	33.8	63.2	2.9
白幡浦島丘		41	24.4	53.7	22.0
神西神北		51	33.3	62.7	3.9
神大寺		37	35.1	56.8	8.1
菅田		53	13.2	71.7	15.1
羽沢		50	30.0	64.0	6.0
松見		33	33.3	54.5	12.1
三ツ沢		56	32.1	57.1	10.7
六角橋		37	37.8	59.5	2.7
無回答		24	20.8	29.2	50.0

⑥ その他のがん検診

<男女別>

・男女とも「2年以内には受診していない」が多くなっていて、男性より女性の方が12.5ポイント数値が高く、受診していない人が多くなっている。

<年齢別>

・いずれの年代でも「2年以内には受診していない」が多くなっており、年代が若いほど数値は高く受診率は低くなっている。

<地域別>

・いずれの地域でも「2年以内には受診していない」の方が多くなっており、地域による差は特にみられない。

図 男女・年齢・地域別 がん検診の受診の有無

⑥ その他のがん検診

問19 がん検診の受診の有無

その他のがん検診

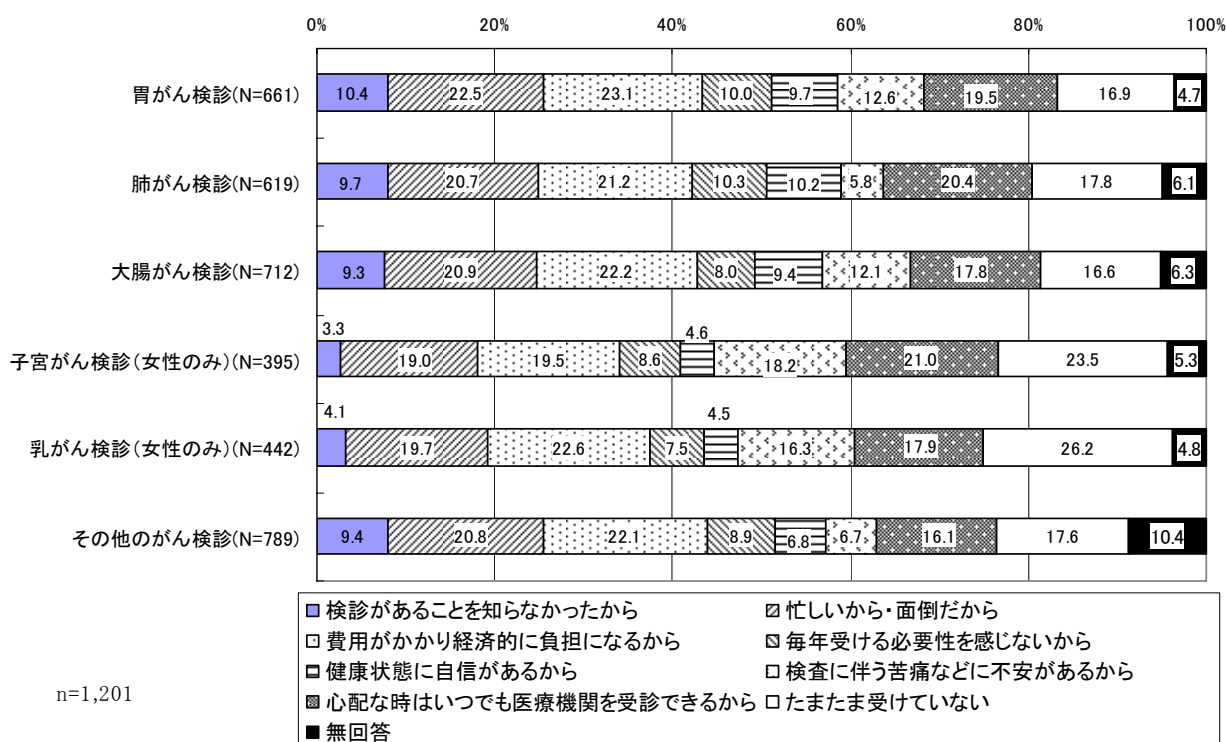
		全体	2年以内を受診した	2年以内には受診していない	無回答
全 体		1,201	124	789	288
		100.0	10.3	65.7	24.0
F 1 性別	男性	444	12.8	58.6	28.6
	女性	726	8.5	71.1	20.4
	無回答	31	16.1	41.9	41.9
F 2 年齢	20代	130	0.8	95.4	3.8
	30代	236	3.8	87.7	8.5
	40代	186	9.1	76.3	14.5
	50代	199	14.6	61.8	23.6
	60代	211	17.1	53.6	29.4
	70代以上	216	13.4	31.9	54.6
	無回答	23	13.0	47.8	39.1
F 3 居住地域	青木	90	17.8	56.7	25.6
	大口七島	73	9.6	58.9	31.5
	片倉三枚	106	12.3	69.8	17.9
	神奈川幸ヶ谷	136	11.0	68.4	20.6
	神ノ木西寺尾	78	9.0	67.9	23.1
	子安入江	108	7.4	70.4	22.2
	白幡浦島丘	65	9.2	60.0	30.8
	神西神北	79	10.1	72.2	17.7
	神大寺	62	12.9	64.5	22.6
	菅田	86	3.5	62.8	33.7
	羽沢	81	4.9	71.6	23.5
	松見	66	15.2	66.7	18.2
	三ツ沢	84	9.5	64.3	26.2
	六角橋	62	12.9	62.9	24.2
	無回答	25	12.0	56.0	32.0

「2年以内には受診していない」と回答した方におたずねします。

＜がん検診を受診していない理由＞（複数回答）

- ・ いずれのがん検診に関しても、「忙しいから・面倒だから」「費用がかかり経済的に負担になるから」「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」「たまたま受けていない」を全体の2割程度の方が理由に挙げている。
- ・ 女性のみのがん検診に関して「たまたま受けていない」と「検査に伴う苦痛などに不安があるから」を理由に挙げる人が、他のがんと比べると多くなっている。
- ・ 「検診があることを知らなかったから」「毎年受ける必要性を感じないから」「健康状態に自信があるから」を挙げた人は、いずれの検診に関しても1割程度となっている。

図 がん検診を受診していない理由



■ 男女・年齢・地域別 「2年以内には受診していない」と回答した方の〈がん検診を受診していない理由〉
(複数回答)(問 19B × F1, F2, F3)

① 胃がん検診 (バリウムによるレントゲン検査・内視鏡検査含む)

〈男女別〉

・男性は「忙しいから・面倒だから」が最も多く、次いで「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」、女性は「費用がかかり経済的に負担になるから」が最も多く、次いで「忙しいから・面倒だから」が多く理由に挙がっている。

〈年齢別〉

・20代と40代と50代は「忙しいから・面倒だから」が最も多く、30代は「費用がかかり経済的に負担になるから」が最も多く、60代以上は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」を最も多く理由に挙げている。

〈地域別〉

・主に「忙しいから・面倒だから」「費用がかかり経済的に負担になるから」「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」を理由に挙げ、地域により数値は分かれた。

図 男女・年齢・地域別 「2年以内には受診していない」と回答した方の〈がん検診を受診していない理由〉

① 胃がん検診 (バリウムによるレントゲン検査・内視鏡検査含む)

問19 がん検診を受診していない理由 (複数回答)

胃がん検診

		全体	検診があることを知らなかったから	忙しいから・面倒だから	費用がかかり経済的に負担になるから	毎年受ける必要性を感じないから	健康状態に自信があるから	検査に伴う苦痛などに不安があるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	たまたま受けていない	無回答
全体		661	69	149	153	66	64	83	129	112	31
		—	10.4	22.5	23.1	10.0	9.7	12.6	19.5	16.9	4.7
F 1 性別	男性	219	14.2	23.7	19.6	13.2	11.0	4.6	20.1	14.6	8.2
	女性	432	8.6	21.8	25.0	8.3	9.0	16.9	18.8	18.1	2.8
	無回答	10	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0	40.0	20.0	10.0
F 2 年齢	20代	122	18.0	25.4	23.0	14.8	10.7	9.8	10.7	16.4	4.1
	30代	171	12.3	18.7	38.0	8.2	10.5	9.9	7.0	15.2	5.3
	40代	98	9.2	34.7	25.5	6.1	7.1	18.4	14.3	13.3	3.1
	50代	80	8.8	32.5	20.0	10.0	12.5	13.8	23.8	15.0	2.5
	60代	101	4.0	18.8	12.9	5.9	10.9	13.9	31.7	23.8	4.0
	70代以上	82	7.3	6.1	6.1	15.9	6.1	13.4	45.1	18.3	8.5
	無回答	7	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6	14.3
F 3 居住地域	青木	45	11.1	26.7	15.6	8.9	6.7	6.7	20.0	13.3	8.9
	大口七島	38	13.2	26.3	26.3	5.3	21.1	10.5	21.1	10.5	2.6
	片倉三枚	63	9.5	17.5	19.0	14.3	9.5	4.8	23.8	20.6	4.8
	神奈川幸ヶ谷	68	20.6	17.6	30.9	11.8	10.3	11.8	11.8	13.2	2.9
	神ノ木西寺尾	49	6.1	30.6	30.6	12.2	4.1	12.2	22.4	12.2	4.1
	子安入江	67	7.5	19.4	25.4	9.0	10.4	19.4	16.4	14.9	4.5
	白幡浦島丘	32	9.4	15.6	12.5	15.6	3.1	15.6	25.0	12.5	9.4
	神西神北	47	2.1	23.4	12.8	14.9	2.1	17.0	27.7	29.8	2.1
	神大寺	31	9.7	19.4	12.9	9.7	12.9	12.9	25.8	22.6	9.7
	菅田	52	5.8	19.2	28.8	3.8	11.5	13.5	15.4	23.1	3.8
	羽沢	51	7.8	29.4	37.3	3.9	17.6	13.7	13.7	17.6	2.0
	松見	34	17.6	23.5	14.7	8.8	2.9	11.8	17.6	17.6	0.0
	三ツ沢	42	11.9	31.0	19.0	16.7	14.3	9.5	14.3	16.7	7.1
	六角橋	32	15.6	15.6	25.0	3.1	9.4	15.6	25.0	9.4	9.4
無回答	10	10.0	30.0	20.0	10.0	0.0	20.0	30.0	20.0	0.0	

② 肺がん検診（胸のレントゲン撮影、略痰検査含む）

<男女別>

・男性は「忙しいから・面倒だから」が最も多く、次いで「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」、女性は「費用がかかり経済的に負担になるから」が最も多く、次いで「たまたま受けていない」が多く理由に挙げられている。

<年齢別>

・20代と40代と50代は「忙しいから・面倒だから」が最も多く、30代は「費用がかかり経済的に負担になるから」が最も多く、60代は「たまたま受けていない」が、70代以上は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」を最も多く理由に挙げた。

<地域別>

・主に「忙しいから・面倒だから」「費用がかかり経済的に負担になるから」「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」「たまたま受けていない」を理由に挙げ、地域により数値は分かれた。

図 男女・年齢・地域別 「2年以内には受診していない」と回答した方の「がん検診を受診していない理由」

② 肺がん検診（胸のレントゲン撮影、略痰検査含む）

問19 がん検診を受診していない理由（複数回答）

肺がん検診

		全体	検診があることを知らなかったから	忙しいから・面倒だから	費用がかかり経済的に負担になるから	毎年受ける必要性を感じないから	健康状態に自信があるから	検査に伴う苦痛などに不安があるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	たまたま受けていない	無回答
全体		619	60	128	131	64	63	36	126	110	38
		—	9.7	20.7	21.2	10.3	10.2	5.8	20.4	17.8	6.1
F 1 性別	男性	207	15.0	22.2	15.9	11.6	10.1	2.4	19.8	11.6	11.6
	女性	402	7.2	19.9	23.9	9.5	10.4	7.7	20.4	21.1	3.2
	無回答	10	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	30.0	10.0	10.0
F 2 年齢	20代	105	18.1	27.6	24.8	13.3	9.5	5.7	12.4	13.3	5.7
	30代	157	12.1	16.6	35.7	8.3	11.5	5.1	7.0	18.5	7.0
	40代	90	7.8	34.4	25.6	7.8	10.0	4.4	14.4	14.4	4.4
	50代	74	6.8	29.7	17.6	14.9	9.5	10.8	24.3	13.5	2.7
	60代	103	3.9	12.6	7.8	8.7	13.6	3.9	29.1	30.1	4.9
	70代以上	83	7.2	6.0	4.8	9.6	6.0	7.2	47.0	14.5	12.0
	無回答	7	0.0	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0
F 3 居住地域	青木	34	2.9	29.4	11.8	5.9	8.8	2.9	17.6	20.6	11.8
	大口七島	38	7.9	21.1	21.1	7.9	18.4	0.0	18.4	10.5	13.2
	片倉三枚	47	10.6	21.3	21.3	14.9	10.6	0.0	29.8	14.9	2.1
	神奈川幸ヶ谷	69	20.3	15.9	29.0	14.5	10.1	10.1	8.7	13.0	2.9
	神ノ木西寺尾	45	11.1	24.4	26.7	8.9	2.2	6.7	20.0	11.1	11.1
	子安入江	67	7.5	17.9	23.9	9.0	10.4	6.0	20.9	16.4	7.5
	白幡浦島丘	31	9.7	12.9	9.7	19.4	6.5	6.5	22.6	22.6	3.2
	神西神北	43	4.7	25.6	11.6	11.6	2.3	7.0	34.9	25.6	2.3
	神大寺	32	12.5	12.5	12.5	9.4	18.8	9.4	18.8	21.9	12.5
	菅田	49	4.1	10.2	22.4	6.1	16.3	4.1	22.4	24.5	4.1
	羽沢	49	8.2	32.7	36.7	6.1	14.3	6.1	14.3	20.4	2.0
	松見	35	17.1	22.9	14.3	8.6	5.7	5.7	22.9	17.1	2.9
	三ツ沢	39	7.7	25.6	17.9	15.4	10.3	7.7	12.8	23.1	7.7
	六角橋	32	9.4	15.6	18.8	6.3	9.4	3.1	25.0	12.5	9.4
無回答	9	0.0	33.3	22.2	11.1	0.0	22.2	33.3	11.1	0.0	

③ 大腸がん検診（便潜血反応検査含む）

<男女別>

・男性は「忙しいから・面倒だから」が最も多く、女性は「費用がかかり経済的に負担になるから」を最も多く理由に挙げている。

<年齢別>

・20代と30代は「費用がかかり経済的に負担になるから」が最も多く、40代と50代は「忙しいから・面倒だから」が最も多く、60代から70代以上は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」を最も多く理由に挙げている。

<地域別>

・主に「忙しいから・面倒だから」「費用がかかり経済的に負担になるから」「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」「たまたま受けていない」を理由に挙げ、地域により数値は分かれた。

図 男女・年齢・地域別 「2年以内には受診していない」と回答した方の<がん検診を受診していない理由>

③ 大腸がん検診（便潜血反応検査含む）

問19 がん検診を受診していない理由（複数回答）

大腸がん検診

		全体	検診があることを知らなかったから	忙しいから・面倒だから	費用がかかり経済的に負担になるから	毎年受ける必要性を感じないから	健康状態に自信があるから	検査に伴う苦痛などに不安があるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	たまたま受けていない	無回答
全 体		712	66	149	158	57	67	86	127	118	45
		—	9.3	20.9	22.2	8.0	9.4	12.1	17.8	16.6	6.3
F 1 性別	男性	235	14.5	22.6	19.6	8.1	11.1	4.7	18.7	12.8	10.2
	女性	462	6.9	20.1	23.6	8.0	8.9	15.8	17.3	18.4	4.3
	無回答	15	0.0	20.0	20.0	6.7	0.0	13.3	20.0	20.0	6.7
F 2 年齢	20代	125	16.0	24.8	25.6	11.2	8.8	8.0	9.6	15.2	4.8
	30代	188	11.7	17.6	34.6	8.5	9.6	8.0	8.5	16.5	6.4
	40代	103	8.7	32.0	27.2	5.8	7.8	15.5	12.6	15.5	4.9
	50代	86	8.1	32.6	16.3	10.5	7.0	18.6	19.8	12.8	1.2
	60代	111	4.5	14.4	11.7	3.6	13.5	18.0	30.6	18.9	6.3
	70代以上	86	3.5	5.8	4.7	8.1	10.5	8.1	37.2	19.8	16.3
無回答	13	0.0	23.1	15.4	7.7	0.0	15.4	23.1	23.1	0.0	
F 3 居住地域	青木	50	8.0	26.0	16.0	14.0	6.0	8.0	12.0	14.0	12.0
	大口七島	41	9.8	22.0	19.5	4.9	17.1	4.9	24.4	12.2	4.9
	片倉三枚	63	7.9	15.9	19.0	9.5	11.1	6.3	27.0	19.0	6.3
	神奈川幸ヶ谷	78	17.9	20.5	30.8	11.5	7.7	15.4	10.3	11.5	3.8
	神ノ木西寺尾	52	7.7	23.1	28.8	5.8	3.8	17.3	19.2	11.5	7.7
	子安入江	73	2.7	19.2	20.5	6.8	13.7	11.0	16.4	19.2	5.5
	白幡浦島丘	36	11.1	11.1	13.9	16.7	5.6	8.3	19.4	19.4	8.3
	神西神北	44	4.5	29.5	11.4	11.4	2.3	20.5	20.5	25.0	4.5
	神大寺	36	11.1	16.7	11.1	5.6	11.1	13.9	19.4	19.4	16.7
	菅田	60	1.7	15.0	30.0	3.3	11.7	13.3	16.7	16.7	5.0
	羽沢	53	7.5	28.3	37.7	3.8	17.0	9.4	15.1	17.0	1.9
	松見	38	15.8	21.1	15.8	7.9	2.6	10.5	21.1	21.1	0.0
	三ツ沢	42	14.3	21.4	16.7	7.1	11.9	11.9	14.3	16.7	11.9
	六角橋	30	16.7	23.3	26.7	3.3	10.0	13.3	20.0	10.0	6.7
無回答	16	6.3	25.0	18.8	6.3	0.0	25.0	18.8	18.8	0.0	

④ 子宮がん検診（女性のみ）

<年齢別>

・20代と30代は「費用がかかり経済的に負担になるから」が最も多く、40代は「忙しいから・面倒だから」と「検査に伴う苦痛などに不安があるから」を同率で挙げ、50代と60代は「たまたま受けていない」が最も多く、70代以上は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」を最も多く理由に挙げている。

<地域別>

・主に「忙しいから・面倒だから」「費用がかかり経済的に負担になるから」「検査に伴う苦痛などに不安があるから」「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」「たまたま受けていない」を理由に挙げ、地域により数値は分かれた。

図 年齢・地域別「2年以内には受診していない」と回答した方の<がん検診を受診していない理由>

④ 子宮がん検診（女性のみ）

問19 がん検診を受診していない理由（複数回答）

子宮がん検診（女性のみ）

		全体	検診があることを知らなかったから	忙しいから・面倒だから	費用がかかり経済的に負担になるから	毎年受ける必要性を感じないから	健康状態に自信があるから	検査に伴う苦痛などに不安があるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	たまたま受けていない	無回答
全体		395	13	75	77	34	18	72	83	93	21
		—	3.3	19.0	19.5	8.6	4.6	18.2	21.0	23.5	5.3
F 2 年齢	20代	57	5.3	17.5	24.6	12.3	5.3	14.0	10.5	22.8	3.5
	30代	73	5.5	15.1	43.8	2.7	4.1	24.7	6.8	17.8	2.7
	40代	55	3.6	34.5	21.8	7.3	7.3	34.5	7.3	16.4	3.6
	50代	64	1.6	23.4	17.2	10.9	0.0	20.3	25.0	26.6	1.6
	60代	73	0.0	20.5	5.5	6.8	6.8	12.3	28.8	34.2	5.5
	70代以上	67	4.5	4.5	6.0	11.9	4.5	7.5	44.8	22.4	11.9
	無回答	6	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3
F 3 居住地域	青木	22	4.5	18.2	13.6	9.1	0.0	13.6	18.2	18.2	13.6
	大口七島	24	8.3	25.0	20.8	4.2	8.3	12.5	20.8	8.3	4.2
	片倉三枚	37	2.7	24.3	21.6	5.4	5.4	8.1	29.7	18.9	5.4
	神奈川幸ヶ谷	40	10.0	22.5	30.0	17.5	5.0	27.5	7.5	22.5	2.5
	神ノ木西寺尾	29	0.0	27.6	24.1	10.3	0.0	27.6	27.6	20.7	0.0
	子安入江	38	2.6	13.2	18.4	10.5	5.3	15.8	34.2	18.4	0.0
	白幡浦島丘	21	4.8	4.8	4.8	9.5	0.0	14.3	14.3	47.6	9.5
	神西神北	32	0.0	25.0	6.3	3.1	0.0	21.9	21.9	37.5	6.3
	神大寺	23	4.3	8.7	13.0	4.3	8.7	30.4	17.4	30.4	8.7
	菅田	32	0.0	12.5	31.3	6.3	9.4	18.8	12.5	25.0	6.3
	羽沢	27	3.7	22.2	25.9	0.0	7.4	14.8	14.8	40.7	3.7
	松見	18	0.0	11.1	16.7	5.6	5.6	11.1	27.8	22.2	5.6
	三ツ沢	25	0.0	32.0	16.0	20.0	8.0	20.0	8.0	20.0	8.0
	六角橋	18	5.6	5.6	22.2	11.1	0.0	16.7	44.4	0.0	0.0
	無回答	9	0.0	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2	11.1	22.2

⑤ 乳がん検診（女性のみ）

<年代別>

・20代と30代は「費用がかかり経済的に負担になるから」が最も多く、40代は「忙しいから・面倒だから」、50代は「忙しいから・面倒だから」と「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」、60代は「たまたま受けていない」、70代以上は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」を最も多く理由に挙げている。

<地域別>

・主に「忙しいから・面倒だから」「費用がかかり経済的に負担になるから」「検査に伴う苦痛などに不安があるから」「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」「たまたま受けていない」を理由に挙げ、地域により数値は分かれた。

図 年齢・地域別「2年以内には受診していない」と回答した方の＜がん検診を受診していない理由＞

⑤ 乳がん検診（女性のみ）

問19 がん検診を受診していない理由（複数回答）

問19 が

乳がん検診（女性のみ）

その他のi

		全体	検診があることを知らなかったから	忙しいから・面倒だから	費用がかかり経済的に負担になるから	毎年受ける必要性を感じないから	健康状態に自信があるから	検査に伴う苦痛などに不安があるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	たまたま受けていない	無回答	全体
全体		442	18	87	100	33	20	72	79	116	21	789
		—	4.1	19.7	22.6	7.5	4.5	16.3	17.9	26.2	4.8	—
F 2 年齢	20代	69	5.8	15.9	31.9	11.6	4.3	13.0	8.7	21.7	2.9	124
	30代	102	2.9	18.6	42.2	2.9	2.9	17.6	7.8	25.5	3.9	207
	40代	67	4.5	32.8	22.4	7.5	6.0	26.9	7.5	22.4	3.0	142
	50代	63	3.2	25.4	19.0	7.9	1.6	19.0	25.4	22.2	3.2	123
	60代	73	4.1	19.2	5.5	4.1	8.2	15.1	17.8	41.1	5.5	113
	70代以上	64	4.7	4.7	6.3	12.5	4.7	6.3	46.9	23.4	10.9	69
	無回答	4	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	11
F 3 居住地域	青木	29	6.9	13.8	17.2	6.9	0.0	6.9	13.8	37.9	6.9	51
	大口七島	25	16.0	28.0	20.0	0.0	8.0	16.0	16.0	8.0	4.0	43
	片倉三枚	37	0.0	24.3	24.3	5.4	8.1	8.1	27.0	18.9	5.4	74
	神奈川幸ヶ谷	48	8.3	25.0	35.4	10.4	6.3	22.9	12.5	16.7	2.1	93
	神ノ木西寺尾	36	2.8	22.2	27.8	13.9	0.0	16.7	22.2	19.4	5.6	53
	子安入江	43	2.3	16.3	23.3	7.0	7.0	20.9	25.6	18.6	0.0	76
	白幡浦島丘	22	4.5	9.1	9.1	13.6	0.0	4.5	18.2	45.5	9.1	39
	神西神北	32	0.0	21.9	6.3	3.1	0.0	25.0	21.9	37.5	3.1	57
	神大寺	21	9.5	14.3	14.3	0.0	4.8	33.3	9.5	33.3	9.5	40
	菅田	38	0.0	13.2	36.8	7.9	5.3	18.4	13.2	28.9	5.3	54
	羽沢	32	6.3	28.1	34.4	0.0	6.3	9.4	9.4	40.6	3.1	58
	松見	18	0.0	16.7	16.7	5.6	5.6	5.6	22.2	22.2	11.1	44
	三ツ沢	32	0.0	21.9	12.5	15.6	6.3	15.6	9.4	37.5	9.4	54
	六角橋	22	4.5	9.1	18.2	9.1	4.5	18.2	27.3	13.6	0.0	39
無回答	7	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	14	

⑥ その他のがん検診

<男女別>

・男性は「忙しいから・面倒だから」が最も多く、女性は「費用がかかり経済的に負担になるから」を最も多く理由に挙げている。

<年齢別>

・20代と30代は「費用がかかり経済的に負担になるから」が最も多く、40代と50代は「忙しいから・面倒だから」が最も多く、60代は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」と「たまたま受けていない」が同率で挙げられ、70代以上は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」を最も多く理由に挙げた。

<地域別>

・主に「忙しいから・面倒だから」「費用がかかり経済的に負担になるから」「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」「たまたま受けていない」を理由に挙げ、地域により数値は分かれた。

図 男女・年齢・地域別 「2年以内には受診していない」と回答した方の<がん検診を受診していない理由>

⑥ その他のがん検診

問19 がん検診を受診していない理由（複数回答）

その他のがん検診

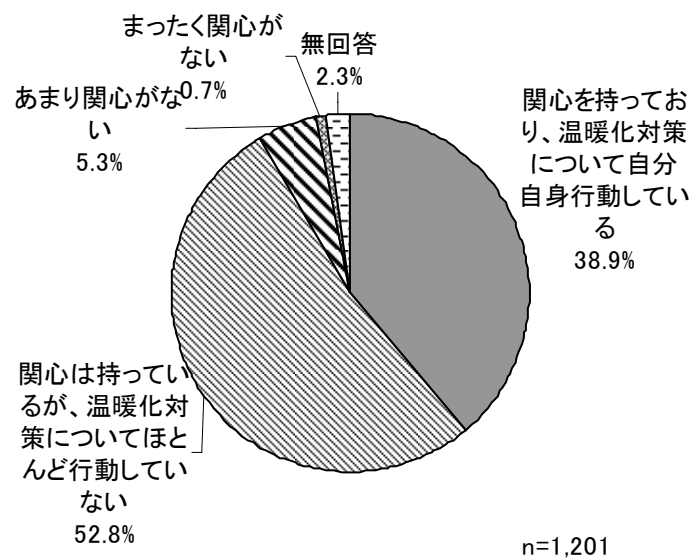
		全体	検診があることを知らなかったから	忙しいから・面倒だから	費用がかかり経済的に負担になるから	毎年受ける必要性を感じないから	健康状態に自信があるから	検査に伴う苦痛などに不安があるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	たまたま受けていない	無回答
全体		789	74	164	174	70	54	53	127	139	82
		—	9.4	20.8	22.1	8.9	6.8	6.7	16.1	17.6	10.4
F 1 性別	男性	260	13.5	23.1	21.9	8.8	10.0	2.7	15.4	14.2	13.1
	女性	516	7.2	19.6	22.1	8.9	5.4	8.7	16.3	19.6	9.1
	無回答	13	15.4	23.1	23.1	7.7	0.0	7.7	23.1	7.7	7.7
F 2 年齢	20代	124	12.9	24.2	26.6	12.9	7.3	4.8	9.7	18.5	7.3
	30代	207	11.1	15.9	32.4	8.2	7.2	7.7	7.7	16.9	9.7
	40代	142	10.6	30.3	21.8	9.2	5.6	5.6	11.3	15.5	12.0
	50代	123	8.1	31.7	16.3	9.8	4.1	8.1	17.9	13.8	8.9
	60代	113	5.3	12.4	12.4	2.7	9.7	5.3	24.8	24.8	15.9
	70代以上	69	2.9	2.9	10.1	11.6	8.7	8.7	43.5	18.8	10.1
	無回答	11	18.2	27.3	18.2	9.1	0.0	9.1	27.3	9.1	0.0
F 3 居住地域	青木	51	5.9	25.5	25.5	11.8	3.9	5.9	11.8	11.8	17.6
	大口七島	43	14.0	27.9	18.6	7.0	14.0	7.0	14.0	11.6	9.3
	片倉三枚	74	6.8	21.6	27.0	9.5	6.8	0.0	24.3	12.2	9.5
	神奈川幸ヶ谷	93	17.2	16.1	28.0	8.6	5.4	8.6	8.6	14.0	8.6
	神ノ木西寺尾	53	5.7	24.5	26.4	9.4	3.8	7.5	18.9	20.8	3.8
	子安入江	76	3.9	19.7	22.4	7.9	9.2	5.3	21.1	18.4	7.9
	白幡浦島丘	39	12.8	12.8	12.8	12.8	5.1	5.1	17.9	20.5	7.7
	神西神北	57	7.0	24.6	12.3	7.0	1.8	10.5	14.0	29.8	14.0
	神大寺	40	10.0	15.0	7.5	2.5	10.0	10.0	22.5	20.0	17.5
	菅田	54	1.9	11.1	25.9	5.6	11.1	9.3	14.8	20.4	11.1
	羽沢	58	6.9	27.6	32.8	3.4	13.8	5.2	12.1	20.7	12.1
	松見	44	11.4	22.7	15.9	15.9	2.3	6.8	13.6	20.5	6.8
	三ツ沢	54	5.6	22.2	18.5	14.8	5.6	5.6	13.0	20.4	16.7
	六角橋	39	25.6	17.9	17.9	10.3	5.1	5.1	20.5	10.3	7.7
無回答	14	14.3	28.6	28.6	7.1	0.0	21.4	21.4	7.1	0.0	

6. 環境行動について

問 20 あなたは、「地球温暖化問題」に関心を持っていますか。(○は1つ)

- ・ 「関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない」が 52.8%と最も多く、「関心を持っており、温暖化対策について自分自身行動している」は 38.9%となっている。
- ・ 「あまり関心がない」は 5.3%、「まったく関心がない」は 0.7%と、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」の2つを合わせても全体の6%とごく少数で、関心の高さがうかがわれる。

図 地球温暖化問題への関心の有無



■ 男女・年齢・地域別 地球温暖化問題への関心の有無（問 20× F1, F2, F3）

<男女別>

・男女とも「関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない」が最も多く、男性は女性より 8.3 ポイント高くなっている。一方、女性は「関心を持っており、温暖化対策について自分自身行動している」が 4 割を超え、男性より 10.4 ポイント高くなっている。

<年齢別>

・いずれの年代でも「関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない」が半数を超え最も多いが、「関心を持っており、温暖化対策について自分自身行動している」も 20 代で低いものの、その他の年代では 4 割前後となっており、年齢による大きな差はみられない。

<地域別>

・いずれの地域でも「関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない」が半数を超え最も多く、地域による差は特にみられない。

図 男女・年齢・地域別 地球温暖化問題への関心の有無

問20 地球温暖化問題への関心の有無

		全体	関心を持っており、温暖化対策について自分自身行動している	関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
全 体		1,201 100.0	467 38.9	634 52.8	64 5.3	8 0.7	28 2.3
F 1 性別	男性	444	33.1	59.0	5.6	1.4	0.9
	女性	726	43.5	50.7	5.0	0.3	0.6
	無回答	31	12.9	12.9	9.7	0.0	64.5
F 2 年齢	20代	130	31.5	58.5	7.7	2.3	0.0
	30代	236	42.4	50.4	5.5	1.7	0.0
	40代	186	39.2	58.1	2.7	0.0	0.0
	50代	199	42.2	51.3	5.5	0.0	1.0
	60代	211	42.7	51.2	5.2	0.0	0.9
	70代以上	216	36.1	55.6	6.0	0.5	1.9
	無回答	23	4.3	4.3	4.3	0.0	87.0
F 3 居住地域	青木	90	38.9	51.1	6.7	1.1	2.2
	大口七島	73	38.4	52.1	9.6	0.0	0.0
	片倉三枚	106	35.8	57.5	6.6	0.0	0.0
	神奈川幸ヶ谷	136	39.0	54.4	5.1	0.7	0.7
	神ノ木西寺尾	78	44.9	51.3	2.6	1.3	0.0
	子安入江	108	37.0	54.6	6.5	0.9	0.9
	白幡浦島丘	65	40.0	53.8	4.6	1.5	0.0
	神西神北	79	40.5	55.7	2.5	0.0	1.3
	神大寺	62	32.3	59.7	6.5	0.0	1.6
	菅田	86	44.2	52.3	2.3	1.2	0.0
	羽沢	81	30.9	58.0	7.4	1.2	2.5
	松見	66	42.4	51.5	6.1	0.0	0.0
	三ツ沢	84	42.9	48.8	7.1	1.2	0.0
	六角橋	62	48.4	51.6	0.0	0.0	0.0
	無回答	25	12.0	4.0	4.0	0.0	80.0

問 21 問 20 で「2 .関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない」と答えた方におたずねします。あなたがそうお答えになった理由は何ですか。(〇は1つ)

- ・ 「行動したいが何をしたらいいのかわからない」が40.1%と4割の人が挙げている。次いで「行動しても、どれくらいのCO₂が削減されたのかが実感できない(見えない)」(34.7%)、「個人レベルでの取り組みは効果に疑問がある」(16.2%)、「その他」(4.4%)、「行動しても、自分にメリットがない」(1.9%)の順となっている。
- ・ 「その他」4.4%のうち、具体的な記述は26件挙げられた。最も多いのは「本当に温暖化対策が必要なのか疑問」が10件、次いで「自分なりに行動している」(7件)、「行動したいが余裕がない」(3件)、「高齢のため行動できない」「面倒くさい」(各2件ずつ)などとなっている。

図 関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない理由

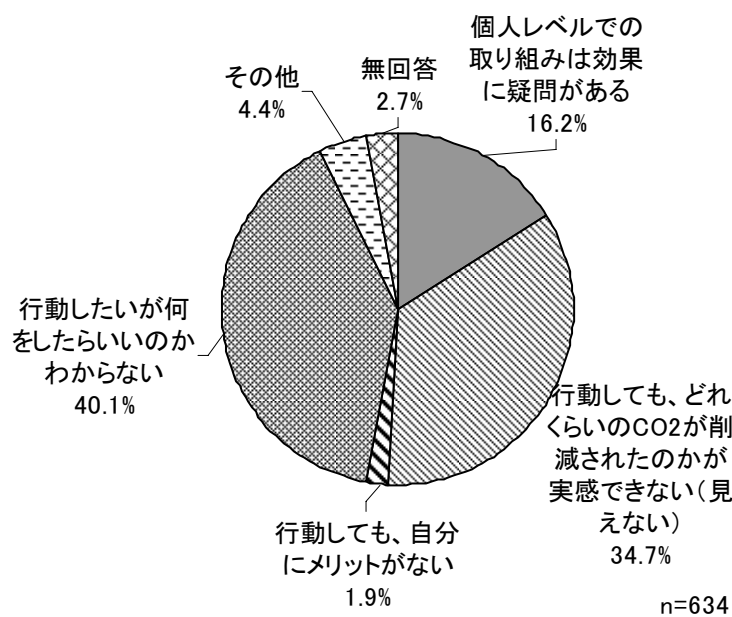


図 「その他」意見内容

意見内容	件数
本当に温暖化対策が必要なのか疑問	10
自分なりに行動している	7
行動したいが余裕がない	3
高齢のため行動できない	2
面倒くさい	2
生活レベルを変えられない	1
誰かと一緒にやりたい	1
計	26

■ 男女・年齢・地域別 関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない理由

(問 21 × F1, F2, F3)

<男女別>

・男性は「行動しても、どれくらいの CO₂ が削減されたのかが実感できない (見えない)」が最も多く、女性は「行動したいが何をしたらいいのかわからない」が最も多い理由となっている。

<年齢別>

・40代で「行動しても、どれくらいの CO₂ が削減されたのかが実感できない (見えない)」が最も多く、その他の年代では、「行動したいが何をしたらいいのかわからない」が最も多い理由となっている。

<地域別>

・多くの地域で「行動しても、どれくらいの CO₂ が削減されたのかが実感できない (見えない)」が最も高い数値となっている。「神ノ木西寺尾」、「神北神西」、「神大寺」では、「行動したいが何をしたらいいのかわからない」が最も高く、「青木」と「子安入江」ではこの2項目が同率で最も高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない理由

問21 関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない理由

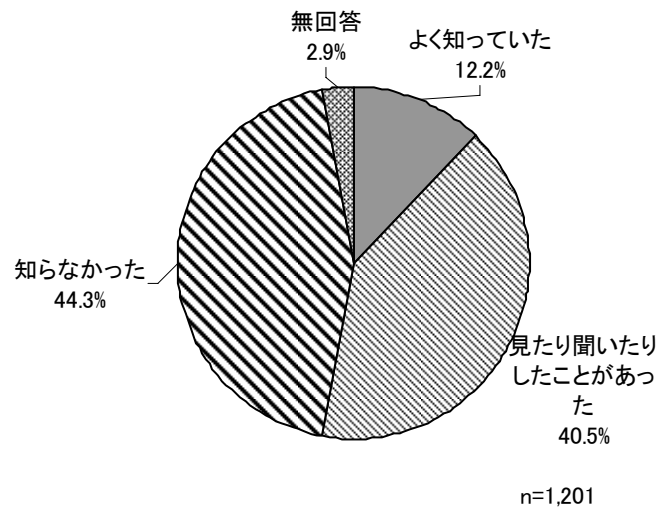
		全体	個人レベルでの取り組みは効果に疑問がある	行動しても、どれくらいのCO2が削減されたのかが実感できない(見えない)	行動しても、自分にメリットがない	行動したいが何をしたらいいのかわからない	その他	無回答
全 体		634	103	220	12	254	28	17
		100.0	16.2	34.7	1.9	40.1	4.4	2.7
F 1 性別	男性	262	22.5	35.9	2.7	30.2	6.5	2.3
	女性	368	11.7	33.7	1.4	47.3	3.0	3.0
	無回答	4	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
F 2 年齢	20代	76	11.8	35.5	3.9	42.1	6.6	0.0
	30代	119	16.0	28.6	2.5	44.5	7.6	0.8
	40代	108	20.4	35.2	3.7	32.4	4.6	3.7
	50代	102	15.7	37.3	2.0	39.2	2.9	2.9
	60代	108	16.7	37.0	0.0	42.6	1.9	1.9
	70代以上	120	15.8	35.0	0.0	40.0	3.3	5.8
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
F 3 居住地域	青木	46	19.6	37.0	2.2	37.0	4.3	0.0
	大口七島	38	10.5	36.8	0.0	47.4	2.6	2.6
	片倉三枚	61	19.7	36.1	3.3	37.7	3.3	0.0
	神奈川幸ヶ谷	74	16.2	28.4	5.4	40.5	4.1	5.4
	神ノ木西寺尾	40	12.5	45.0	2.5	32.5	2.5	5.0
	子安入江	59	18.6	37.3	1.7	37.3	3.4	1.7
	白幡浦島丘	35	17.1	31.4	0.0	40.0	5.7	5.7
	神西神北	44	25.0	38.6	2.3	25.0	4.5	4.5
	神大寺	37	10.8	51.4	0.0	35.1	2.7	0.0
	菅田	45	13.3	22.2	0.0	48.9	13.3	2.2
	羽沢	47	8.5	31.9	2.1	51.1	2.1	4.3
	松見	34	14.7	41.2	0.0	44.1	0.0	0.0
	三ツ沢	41	17.1	22.0	2.4	43.9	9.8	4.9
	六角橋	32	21.9	34.4	0.0	40.6	3.1	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

7. 魅力あるスポットの情報発信について

問 22 区役所では、区内の魅力あるスポットを情報発信する取り組み(下記参照)を行っています。これらの取り組みについてご存じでしたか。(〇は1つ)

- ・ 「見たり聞いたりしたことがあった」が40.5%と「よく知っていた」が12.2%と5割強の人が認知している。

図 区内の魅力あるスポットを情報発信する取り組みの認知



■ 男女・年齢・地域別 区内の魅力あるスポットを情報発信する取り組みの認知（問 22× F1, F2, F3）

<男女別>

・男性は「知らなかった」がほぼ半数と最も多くなっている。女性は「見たり聞いたりしたことがあった」が最も多いが、「知らなかった」とほぼ同じくらいの数値になっている。また、「よく知っていた」は男女とも1割超となっているが、男性が女性よりやや数値が高くなっている。

<年齢別>

・20代から40代で「知らなかった」が最も多く、50代以上では「見たり聞いたりしたことがあった」が最も多くなっている。また、「よく知っている」と「見たり聞いたりしたことがあった」は年代があがるほど数値は高くなり、「知らなかった」は若い年代ほど数値は高くなっている。

<地域別>

・「知らなかった」の数値が最も高い地域が9つで最も多かった。「見たり聞いたりしたことがあった」の数値が最も高い地域は5つあり、「神大寺」と「六角橋」で「よく知っていた」の数値が他に比べやや高かった。

図 男女・年齢・地域別 区内の魅力あるスポットを情報発信する取り組みの認知

問22 区内の魅力あるスポットを情報発信する取り組みの認知

		全体	よく知っていた	見たり聞いたりしたことがあった	知らなかった	無回答
全 体		1,201	147	487	532	35
		100.0	12.2	40.5	44.3	2.9
F 1 性別	男性	444	13.5	36.9	48.4	1.1
	女性	726	11.7	44.1	43.0	1.2
	無回答	31	6.5	9.7	16.1	67.7
F 2 年齢	20代	130	3.8	26.9	69.2	0.0
	30代	236	6.4	39.8	53.8	0.0
	40代	186	8.1	41.4	50.5	0.0
	50代	199	14.1	43.7	41.2	1.0
	60代	211	18.0	45.5	36.0	0.5
	70代以上	216	20.4	45.4	29.2	5.1
	無回答	23	8.7	0.0	0.0	91.3
F 3 居住地域	青木	90	10.0	48.9	38.9	2.2
	大口七島	73	16.4	43.8	38.4	1.4
	片倉三枚	106	5.7	37.7	55.7	0.9
	神奈川幸ヶ谷	136	14.7	38.2	46.3	0.7
	神ノ木西寺尾	78	11.5	42.3	44.9	1.3
	子安入江	108	9.3	43.5	47.2	0.0
	白幡浦島丘	65	16.9	38.5	43.1	1.5
	神西神北	79	11.4	49.4	38.0	1.3
	神大寺	62	24.2	32.3	41.9	1.6
	菅田	86	10.5	36.0	51.2	2.3
	羽沢	81	12.3	37.0	48.1	2.5
	松見	66	9.1	33.3	56.1	1.5
	三ツ沢	84	9.5	47.6	42.9	0.0
	六角橋	62	19.4	48.4	30.6	1.6
	無回答	25	4.0	8.0	8.0	80.0

調査票

平成21年度 横浜市神奈川区 区民意識調査

～アンケート調査ご協力のお願い～

秋冷の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より区政の運営にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

神奈川区役所では、少子・高齢化の進展や、地震・風水害の頻発など、社会の変化から生まれた区民のみなさまの多様なニーズに対応したさまざまな取り組みを行っております。

このたび、今後の区政を進める際の基礎資料とするため、「神奈川区区民意識調査」を実施させていただきたいと思っております。

この調査は、住民基本台帳と外国人登録原票から、区内にお住まいの20歳以上の方々3,000人を無作為に選ばせていただいております。今年度は、あなたに調査へのご協力をお願いすることになりましたので、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

このアンケート票に直接ご記入の上、同封の封筒にてご返信ください。

アンケートの回答につきましては、統計的に処理し、アンケート票そのものを公表することは一切ありませんので、個人にご迷惑をおかけすることはございません。(アンケート票や返信用封筒に、ご住所やお名前をご記入いただく必要はありません)

なお、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で100名の方に図書カード(500円分)を差し上げます。ご希望の方は同封の応募カードにご住所・お名前をご記入の上、アンケート票と一緒にご返信ください。応募カードは回答の集計前に抜き取ってアンケート票とは別に取り扱い、抽選及び図書カードの発送以外の目的には一切使用いたしませんのでご安心ください。

【調査項目】

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 中学生・高校生について感じていること | 2 防災について |
| 3 住宅用火災警報機の設置義務化について | 4 広報よこはま神奈川区版について |
| 5 がん検診について | 6 環境行動について |
| 7 魅力あるスポットの情報発信について | 8 最後にあなたご自身について |

◎アンケート調査のご記入方法について◎

(1)各設問の回答は、該当する番号に○印を付けていただく形式になっています。

(2)番号に○印を付けていただく形式では、該当する番号1つに○をつけていただく場合と、複数の番号に○をつけていただく場合があります。質問文の指示に従ってご回答ください。「その他」に当てはまる場合には、その番号に○をつけて()内に具体的な内容をご記入ください。

(3)ご記入いただきましたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、**11月12日(木)**までにポストにご投函ください。(切手は不要です)

(4)アンケート調査に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

担当:横浜市神奈川区役所 区政推進課 企画調整係

貝田・白井

電話:045-411-7026 FAX:045-314-8890

Eメール:kg-kusei@city.yokohama.jp

平成 21 年度神奈川区区民意識調査(調査票)

中学生・高校生について感じていることをおたずねします

問1 お住まいの地域の中学生・高校生について、あなたはどのように感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

		そう 思う	そう 思わ ない	わ か ら な い	関 心 が な い
①	最近の中学生・高校生は元気があると思う	1	2	3	4
②	最近の中学生・高校生は部活、塾、習い事が多く余裕がないように思う	1	2	3	4
③	最近の中学生・高校生は自然と触れ合う機会が少ないと思う	1	2	3	4
④	最近の中学生・高校生はマナーが守れていると思う	1	2	3	4
⑤	最近の中学生・高校生は挨拶ができていると思う	1	2	3	4
⑥	最近の中学生・高校生はボランティアなど地域の活動に参加していると思う	1	2	3	4

問2 中学生・高校生を取り巻く有害な環境のうち、あなたが身近な問題と感じていることは何ですか。(○はいくつでも)

1 薬物汚染	2 パソコン・ケータイサイトの有害情報(出会い系等)
3 デートDV	4 ひきこもり・不登校
5 いじめ	6 ゲーム依存
7 コンビニ等でのたむろ	8 騒音(オートバイ、公園等で騒ぐ等)
9 喫煙・飲酒	10 その他(具体的に)

※ デートDV…婚姻関係にない男女間での体、言葉、態度による暴力のこと

問3 問2の社会問題のなかで、あなたが特に対策が必要だと思うものはどれですか
(問2の番号の中から二つまで記入)

--	--

問4 お住まいの地域の中学生・高校生に対する、あなたの関わり方についておたずねします。該当する欄の番号に○をつけてください。(それぞれに○は1つ)

	項 目	している	したい	するつも りはない
①	顔を知っている子に挨拶する	1	2	3
②	よくないことをしているときに注意する	1	2	3
③	中学生・高校生が参加する地域のイベント・行事(まつりなど)に関わる	1	2	3
④	勉強、文化的活動、スポーツなどの指導に関わる	1	2	3
⑤	中学生・高校生を犯罪などから守る取り組みに関わる	1	2	3

問5 中学生・高校生の育成を支援するための取り組みのうち、あなたが重要だと思うものはどれですか。また、その取り組みはどこが中心となって進めるべきだと思いますか。それぞれの取り組みごとに重要だと思うか重要でないと思うか、また進めるとすればどこが主体となって進めるべきだと思うか、選んで番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	重要度		実施主体							
	重要	重要でない	家庭が進める	学校が進める	地域が進める	学校・地域・家庭の協働	区役所が進める	区役所と地域の協働	民間企業やNPOが進める	
記入例	魅力ある学校づくり	①	2	1	②	3	4	5	6	7
①	魅力ある学校づくり	1	2	1	2	3	4	5	6	7
②	社会体験の機会づくり(職業体験、ボランティア体験など)	1	2	1	2	3	4	5	6	7
③	中学生・高校生と地域の交流を増やす	1	2	1	2	3	4	5	6	7
④	家庭で子どもの自立をうながす	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑤	放課後気軽に集まれる場所の確保	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑥	大人が模範意識を向上させる	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑦	地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる	1	2	1	2	3	4	5	6	7

問6 問5の③「中学生・高校生と地域の交流」についておたずねします。中学生・高校生に、地域で担って欲しいと思う役割や行って欲しいことは何ですか。(○はいくつでも)

1 まつりなど地域の行事	2 公園の清掃等の美化活動
3 災害時のボランティア	4 防犯活動(防犯パトロールなど)
5 福祉ボランティア(高齢者のためのごみ出しなど)	6 高齢者との交流
7 小学生・未就学児との交流	8 障害児者との交流
9 その他(具体的に:)

問7 問5の⑦「地域に中学生・高校生の相談を受けたり、一緒に遊ぶ役割の人がいる」についておたずねします。地域でこうした役割を担う人は、どのように中学生・高校生に関わるのが望ましいと思いますか。(○はいくつでも)

1 まつりなど地域の行事と一緒に参加する
2 遊びや活動のリーダーとして関わる
3 青少年指導員や体育指導員として関わる
4 通学時のほか日常生活の中での見守りや積極的な声かけを行う
5 その他(具体的に:
)

防災についておたずねします

問8 あなたの家庭では、地震災害に対してどのような備えを行っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 家具の転倒防止のための器具等を設置している
- 2 ガラスに飛散防止フィルムを貼っている
- 3 消火器を設置している
- 4 水・食料を備蓄している
- 5 医薬品を備蓄している
- 6 ラジオ、懐中電灯等の防災グッズを備蓄している
- 7 自宅を耐震化している、または耐震構造の住宅に住んでいる
- 8 通勤・通学先からの帰宅ルートを確認している
- 9 家族等の間で集合場所を決めている
- 10 指定されている地域防災拠点(※)を確認している
- 11 家族等の間で安否確認の方法を決めている
- 12 災害時に助け合えるような近所との関係をつくっている
- 13 特に備えは行っていない
- 14 その他(具体的に: _____)

※地震による家の倒壊などで住む場所がなくなったときに避難する場所(区内小中学校 22 か所)

問9 区役所が取り組む防災対策で、特に重点的に実施すべきと考えられるのは何ですか。(〇は2つまで)

- 1 広報紙等による防災関連情報の周知
- 2 地域の要望に応じて行う出前講座
- 3 地域で行う防災訓練への支援
- 4 地域のリーダー役の育成
- 5 地域へ緊急情報を伝達する屋外スピーカーの設置
- 6 地域の要援護者(お年寄りや障害のある方等)を救う仕組みづくり
- 7 災害時にも機能する医療体制の整備
- 8 区役所の初動体制の強化
- 9 その他(具体的に: _____)

問10 災害が起きたときにあなたが特に心配なことは何ですか。(〇は2つまで)

- 1 家屋の倒壊
- 2 火災
- 3 食料・水の確保
- 4 トイレ
- 5 怪我・病気の治療
- 6 要援護者(お年寄りや障害のある方等)の避難
- 7 避難場所での生活
- 8 その他(具体的に: _____)

住宅用火災警報器(※1)の設置義務化(※2)についておたずねします

※1 住宅用火災警報器とは、火災により発生する煙や熱を自動的に感知し、音や音声により、火災の発生を早期に知らせるものです。

※2 消防法等により平成23年6月1日になるまでに全ての住宅(戸建・店舗併用及び共同住宅)に住宅用火災警報器の設置が義務づけられました。

問 11 あなたは、消防法等により、平成 23 年6月1日までに全ての住宅(戸建・店舗併用及び共同住宅)に住宅用火災警報器の設置が必要となることを知っていましたか。(○は1つ)

1 知っていた

2 知らなかった

問 12 あなたのお住まいには住宅用火災警報器や自動火災報知設備など、火災を自動的に感知する設備が設置されていますか。(○は1つ)

1 設置している

2 設置していない → 問 13 へ

問 13 問 12 で「2 設置していない」と回答された方におたずねします。あなたのお住まいに住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 設置義務を知らなかったから

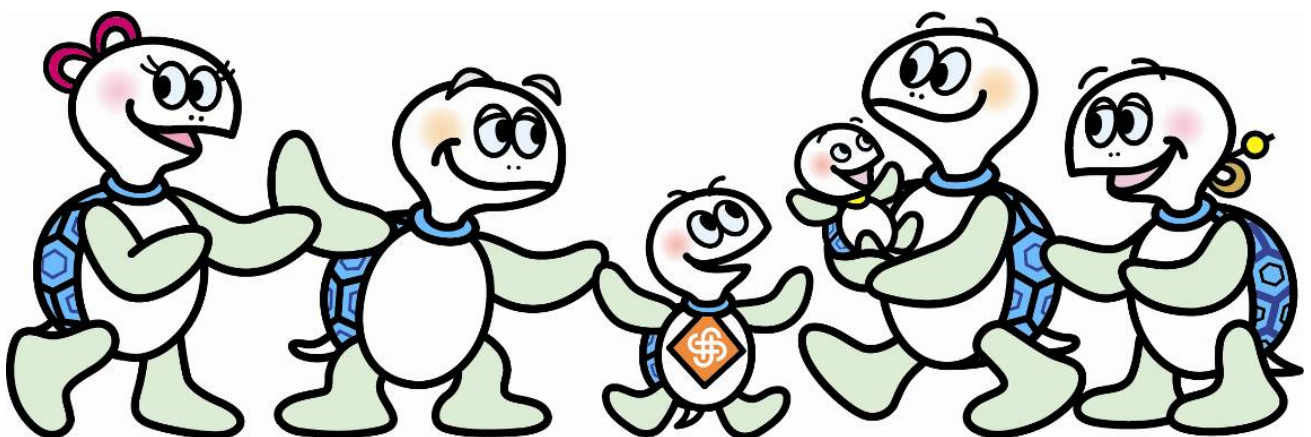
2 賃貸住宅の家主が設置していないから

3 設置期限までに時間があるから

4 まだ安くなると思うから

5 設置するつもりはない

6 その他(具体的に)



広報よこはま神奈川区版についておたずねします

問 14 あなたは、広報よこはま神奈川区版を読んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|-----------------|
| 1 必ず読む | 2 ときどき読む |
| 3 たまに読む | 4 読んでいない○問 17 へ |

問 15 広報よこはま神奈川区版はあなたのお役にたっていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1 役にたっている | 2 役にたっていない○問 17 へ |
|-----------|-------------------|

問 16 広報よこはま神奈川区版で、あなたが主に読むのはどこですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 特集(区役所の事業や関連した取り組みの紹介)【1～3面】 |
| 2 トピックス(タイムリーなイベントなどの情報)【1面】 |
| 3 かめ太郎フラッシュ(「わが町かながわ とっておき」や防犯などの地域の身近な情報)【4～5面】 |
| 4 連載(防災・税金など)【4～5面】 |
| 5 各種イベント・スポーツのお知らせ【4面～5面】 |
| 6 福祉に関する講演会や検診のお知らせ【6面】 |
| 7 子育てに関するお知らせ【7面】 |
| 8 施設からのお知らせ(地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザなどの催しの案内)【8面】 |
| 9 その他(具体的に) |

問 17 問 14 で「4 読んでいない」、問 15 で「2 役にたっていない」と答えた方におたずねします。読んでいない、あるいは役にたっていない理由は何ですか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 ホームページや他の方法で区の情報を得ているので読む必要がない |
| 2 区役所や地域の情報に関心はあるが、欲しい情報が載っていない |
| 3 区役所や地域の情報に関心がない |
| 4 広報よこはま神奈川区版の存在を知らなかった |
| 5 その他(具体的に) |

問 18 今後、広報よこはま神奈川区版に掲載して欲しい情報があれば教えてください。(自由記入)

--

がん検診についておたずねします

問 19 あなたは、がん検診を受診していますか。最近2年以内に、それぞれのがん検診を受診したか否か、また、受診していない場合はその理由をお答えください。

	受診の有無 (○はひとつ)		2年以内にごがん検診を受けていない理由 (○はいくつでも)								
	2年以内に受診した	2年以内には受診していない	検診があることを知らなかったから	忙しいから・面倒だから	費用がかかり経済的に負担になるから	毎年受ける必要性を感じないから	健康状態に自信があるから	検査に伴う苦痛などに不安があるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	たまたま受けていない	
記入例	胃がん検診(バリウムによるレントゲン検査・内視鏡検査含む)	1	②	①	2	3	④	5	6	7	8
①	胃がん検診(バリウムによるレントゲン検査・内視鏡検査含む)	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
②	肺がん検診(胸のレントゲン撮影、喀痰検査含む)	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
③	大腸がん検診(便潜血反応検査含む)	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
④	子宮がん検診(女性のみ)	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤	乳がん検診(女性のみ)	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
⑥	その他のがん検診	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8

環境行動についておたずねします

問 20 あなたは、「地球温暖化問題」に関心を持っていますか。(○は1つ)

- 1 関心を持っており、温暖化対策について自分自身行動している
- 2 関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない

問 21 問 20 で「2 .関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない」と答えた方におたずねします。
あなたがそうお答えになった理由は何ですか。(○は1つ)

- 1 個人レベルでの取り組みは効果に疑問がある
- 2 行動しても、どれくらいの CO2 が削減されたのかが実感できない(見えない)
- 3 行動しても、自分にメリットがない
- 4 行動したいが何をしたらいいのかわからない
- 5 その他(具体的に)

魅力あるスポットの情報発信についておたずねします

問 22 区役所では、区内の魅力あるスポットを情報発信する取り組み(下記参照)を行っています。これらの取り組みについてご存じでしたか。(○は1つ)

1. よく知っていた
2. 見たり聞いたりしたことがあった
3. 知らなかった

区役所では区内の名所旧跡などを「わが町 かながわ とっておき」として81件選定し、その各ポイントを8つの散歩道で紹介する「わが町 かながわ とっておき」散歩ガイドを発行しています。

また、散歩道ルート沿いで、休憩スペースや道案内などのご協力をいただける施設を紹介した「おたすけかめの助マップ」の発行や、散歩道のルートに沿ってまち歩きを行う「わが町 かながわ 小旅行」など、さまざまな取り組みを行っています。

まちの魅力アップの取り組み

区内の魅力スポットに案内サインを整備し、まち歩きを楽しんでいただけるようにしています。また、区内の名物名品の発掘や、町の情報収集・発信について区民のみならずと協働して取り組むことで、区内の地域資源に関する情報共有と、さらなる魅力アップを図ります。

「わが町 かながわ とっておき」散歩ガイド



区内の各所に設置している案内サイン



最後にあなた自身についておたずねします

F1 性別をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F2 年齢をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1 20～24 歳 | 2 25～29 歳 | 3 30～34 歳 |
| 4 35～39 歳 | 5 40～44 歳 | 6 45～49 歳 |
| 7 50～54 歳 | 8 55～59 歳 | 9 60～64 歳 |
| 10 65～69 歳 | 11 70～74 歳 | 12 75 歳以上 |

F3 現在お住まいの町をお答えください。(○は1つ)

- | | | | | |
|----|--------------|-------------|-------------|--------------|
| ア行 | 1 青木町 | 2 旭ヶ丘 | 3 出田町 | 4 泉町 |
| | 5 入江1～2丁目 | 6 浦島丘 | 7 浦島町 | 8 恵比須町 |
| | 9 大口通 | 10 大口仲町 | 11 大野町 | |
| カ行 | 12 片倉1～5丁目 | 13 神奈川1～2丁目 | 14 神奈川本町 | 15 上反町 |
| | 16 神之木台 | 17 神之木町 | 18 亀住町 | 19 神大寺1～4丁目 |
| | 20 桐畑 | 21 金港町 | 22 栗田谷 | 23 幸ヶ谷 |
| | 24 子安台1～2丁目 | 25 子安通1丁目 | 26 子安通2～3丁目 | |
| サ行 | 27 斉藤分町 | 28 栄町 | 29 沢渡 | 30 三枚町 |
| | 31 白幡上町 | 32 白幡仲町 | 33 白幡東町 | 34 白幡西町 |
| | 35 白幡南町 | 36 白幡向町 | 37 白幡町 | 38 新浦島町 |
| | 39 新子安1～2丁目 | 40 新町 | 41 菅田町 | 42 鈴繁町 |
| タ行 | 43 台町 | 44 高島台 | 45 宝町 | 46 立町 |
| | 47 反町1～4丁目 | 48 千若町1～3丁目 | 49 鶴屋町1～3丁目 | 50 富家町 |
| | 51 鳥越 | | | |
| ナ行 | 52 中丸 | 53 七島町 | 54 西大口 | 55 西神奈川1～3丁目 |
| | 56 西寺尾1～4丁目 | 57 二本榎 | | |
| ハ行 | 58 白楽 | 59 羽沢町 | 60 羽沢南1～4丁目 | 61 橋本町1～3丁目 |
| | 62 東神奈川1～2丁目 | 63 平川町 | 64 広台太田町 | |
| | 65 二ツ谷町 | 66 星野町 | | |
| マ行 | 67 松ヶ丘 | 68 松見町1～4丁目 | 69 松本町1～6丁目 | 70 瑞穂町 |
| | 71 三ツ沢上町 | 72 三ツ沢中町 | 73 三ツ沢下町 | 74 三ツ沢東町 |
| | 75 三ツ沢西町 | 76 三ツ沢南町 | 77 守屋町1～4丁目 | |
| ヤ行 | 78 山内町 | | | |
| ラ行 | 79 六角橋1～6丁目 | | | |

F4 あなたのご家族(同居されている方)の構成をお答えください(○は1つ)

- | | | |
|----------------|----------|------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦のみ | 3 親と子(2世代) |
| 4 祖父母と親と子(3世代) | 5 その他() | |

F5 あなたにお子様はいらっしゃいますか。

1 いる ⇨F6へ

2 いない ⇨F7へ

F6 お子様は次のどの段階にあたりますか。全員について、お答えください。(○はいくつでも)

1 小学校入学前

2 小学校在学中

3 中学校在学中

4 高校在学中

5 各種学校、専修・専門学校在学中

6 短大・大学・大学院在学中

7 学校教育終了—未婚—同居

8 学校教育終了—未婚—別居

9 学校教育終了—既婚—同居

10 学校教育終了—既婚—別居

11 その他(具体的に_____)

F7 同居されているご家族(回答者ご本人を含む)の人数をお答えください。(○は1つ)

1 1人

2 2人

3 3人

4 4人

5 5人

6 6人以上

F8 同居されているご家族(回答者ご本人を含めない)で65歳以上の方がいらっしゃいますか。(○は1つ)

1 いる

2 いない

F9 現在のお住まいでの居住年数をお答えください。(○は1つ)

1 3年未満

2 3～5年未満

3 5～10年未満

4 10～20年未満

5 20年以上

F10 就労状況についてお答えください。(○は1つ)

1 自営業

2 会社員・公務員・団体職員

3 学生

4 パート・アルバイト等

5 就労していない

6 その他

F11 居住形態についてお答えください。(○は1つ)

1 持家(一戸建て)

2 持家(マンション・共同住宅)

3 借家(一戸建て)

4 借家(県営・市営の共同住宅)

5 借家(都市再生機構・公社の共同住宅)

6 社宅、公務員住宅

7 民間アパート、民間賃貸マンション

8 その他(具体的に_____)

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

アンケート用紙や返信用の封筒に、ご住所やお名前等を記入していただく必要はありません。

そのままアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、**11月12日(木)**までにポストにご投函ください。

図書カード(抽選)を希望される方のみ、応募券にご住所・お名前をご記入の上、同封してください。

神奈川県区民意識調査報告書

平成21年1月

【調査実施 平成21年11月】

発行：神奈川県役所 区政推進課
〒221-8240
横浜市神奈川区広台太田町3-8
電話 045(411)7026
Fax 045(314)8890

◆調査実施機関：株式会社 地域環境計画